

【だれか】 転生したら
めっちゃや追われるんだ
けど【たすけて】

タコZ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

特に死んでもいないのに転生した男がデイケイド（偽）へと転生を遂げ、仮面ライダーや現地民に襲われながらハッピーエンドを目指して鬱展開をぶっ壊す話

クロス作品

魔法少女まどか☆マギカ

がつこうぐらし！

ダークソウル

結城友奈は勇者である

四月二十日、あらすじを改稿しました。

二月二十六日、あらすじとタグを改稿しました。

目次

短編 or UA突破記念

【誰か】転生したら人違いで襲われたんだが【助けて】 1

【UA10000突破記念】幽鬼怨唱シンフォギア 12

【UA20000突破記念】【特典が】転生したけど原作を知らない【無駄無駄】 17

【UA20000突破記念】【特典が】転生したけど原作を知らない【無駄無駄】P
art 2 38

【UA30000突破記念】if:もし

もイッチが鏡の世界に迷い込んでいたら

72

【UA40000突破記念】幽鬼怨唱シンフォギア 第一期『悪鬼エンド』RTA

91

【UA50000突破記念】まどかちやんのイチャイチャライブ

109

キレたアルまどちゃんがヤンデレになっちまった話

127

キレたアルまどちゃんがヤンデレになっちまった話

139

キレたアルまどちゃんがヤンデレになっちまった話

151

【U A 1 0 0 0 0 0 突破記念】魔神発狂

大悪ディケソウル：上 ————— 174

魔法少女まどか☆マギカ編

【だれか】転生したらめつちや追われる

んだけど【たすけて】改訂版 ————— 187

【だれか】転生したらめつちや追われる

んだけど【たすけて】P a r t 2

213

【だれか】転生したらめつちや追われる

んだけど【たすけて】P a r t 3

229

【だれか】転生したらめつちや追われる

んだけど【たすけて】P a r t 4

238

【だれか】転生したらめつちや追われる

んだけど【たすけて】P a r t 5

248

【だれか】転生したらめつちや追われる

んだけど【たすけて】P a r t 6

265

【随時】コテハン勢の設定集【追加】

287

【速報】まどかちゃん、めつちや強い【ヤ

バイ

293

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す

る

312

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 Part 2	323	【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 3スレ目	409
【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 Part 3	332	【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 3スレ目 Part 2	429
【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 Part 4	342	【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 3スレ目 Part 3	449
【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 2スレ目	358	【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 3スレ目 Part 4	470
【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 2スレ目	372	【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 3スレ目 Part 5	502
【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 2スレ目 Part 3	388	【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 4スレ目	532
【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】		【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【す る】 4スレ目 Part 2	553

凶
相



611

短編 or UA 突破記念

【誰か】転生したら人違いで襲われたんだが【助けて】

1 : 名無しの転生者
助けて

2 : 名無しの転生者
草

3 : 名無しの転生者
とりま情報ハラデイ

4 : 名無しの転生者
コテハンもやで

5 : 名無しの大泥棒
>> 4

>> 3
>> 3
これでいい？

特に死んでも無いのに気づいたら荒野に立ってた。

シヨツカーに襲われる。

転生特典と思わしき物で対抗中。↑今ココ！

6：名無し of 転生者
なるなる

7：名無し of 転生者

Q. 転生特典は？

8：名無し of 大泥棒

A. デイエンドライバー

9：名無し of 転生者

う わ で た

10：名無し of 転生者

お前ホモかよお！（歓喜）

11：名無し of 大泥棒

∨∨10

（ホモでは）ないです

12：名無し of 転生者

なーんだ

13：名無しの転生者

デイエンドならカード使えよ

14：名無しの大泥棒

>>13

その暇があつたらスレ開いてない

15：名無しの転生者

封印解いてくれたら助けてやらんことも無い

16：名無しの大泥棒

>>15

無理イ!

17：名無しの転生者

今隻狼ムーブでグウィン相手してるから無理

18：名無しの転生者

>>17

隻狼VSグウィンとか圧倒で草

19：名無しの大泥棒

ヨシ!ちよつと余裕出来つつあるのでカード使うぞー

20 : 名無しの転生者

さつさとやれ定期

21 : 名無しの大泥棒

とか思ってたけど問題発生

22 : 名無しの転生者

あ？

23 : 名無しの転生者

うわやば

24 : 名無しの転生者

>>21

>>23

どうした

25 : 名無しの転生者

掴みを踏みにじろうと思ったら消し炭になった

26 : 名無しの転生者

>>25

無様で草

27 : 名無しの大泥棒

(氷で出来たドラゴンの耳を持った水色の髪の少女が描かれたカードの画像)

(超ロングツーサイドアップの桃髪の魔法少女が描かれたカードの画像)

(邪悪な笑みを浮かべたネズミのアバターが描かれたカードの画像)

28 : 名無しの転生者

29 : 名無しの転生者

30 : 名無しの転生者

31 : 名無しの転生者

32 : 名無しの転生者

: 取り敢えず、ライブ機能使ってください？

33 : 名無しの大泥棒

危ねっ！

どう使うんや

34 : 名無しの転生者

念じるのです

35 : 名無しの大泥棒

<http://tensei.next.net.jp/>

36 : 名無しの転生者

のりこめー ^ ^

37 : 名無しの転生者

…え？

《KAMEN RIDE SHEFY》

《FORM RIDE MADOKA ULTIMATE》

《KAMEN RIDE LOVE MACHINE》

「やー!」

「はあっ!」

「キシキシッ！」

二人と一台がそれぞれの声を上げ、ショッカー軍団を蹂躪する。それを二人と一台の陣形の中心で見ている【笹木 広樹】。

数十分後、その蹂躪は終わった。彼女達が膨大な量のショッカー軍団を捌き切ったのだ。そして今、どうしているのかと言うと

「おにーたん♪ぎゅー♪」

「アーキサーン♡」

「キシキシキシ…」

52：名無しの転生者

死ぬ

53：名無しの転生者

殺してやる

54：名無しの転生者

満面の笑みの美少女たすかる

55：名無しの大泥棒

ダクソ猛者とよくわからん人に狙われてる俺を助けて

56：よくわからん人

例えお前がアルまどに救われようと俺がその救済から引き摺り落としてやる

57：名無しの転生者

さりげなくコテハン付けてんの草やわ

58：名無しの大泥棒

>>>57

ほんそれ

そう、二人は胡座をかく広樹に抱きつき、甘い声を出しているのだ。これにはスレ民も怒り狂う(約一名例外有)。

「えへへ♪ちゅー♡」

「んー♡」

「つつ?!!」

70：名無しの転生者

ああ

ああああああああああああああああああああああああああああああ
!!!!!!

71:名無しの転生者

オカズ供給助かる

72:よくわからん人

ううううああああああああああああああああああああああああああああ
ああああああああああああああああああああああああああああああああ
あああ!!!

73:名無しの転生者

これは許されざるぞオイ

74:名無しの転生者

ちよつとキレかけたけどとんでもなくキレてる二人がいて収まったわ。

75:名無しの転生者

>>>74

あるあるw

あとラブマシンは何してんだ?遠巻きに見てるだけだけど

76:名無しの転生者

もしかして:愛を学ぼうとしている?

77：名無しの転生者

>>76

知識欲がそっちに向いたのか

78：名無しの転生者

あー…なるほど？

邪悪な笑みを浮かべる人工知能「ラブマシーン」、その目線の先には広樹の唇に自分の唇を重ねる「シエファイ」と「鹿目まどか」。その様子を見て、彼は何を学ぶのか。因みに広樹は酸欠で意識を失っている。

84：名無しの転生者

おーい、イツチー？

85：名無しの転生者

ハーレムキスで気を失っていますねえ…

86：名無しの転生者

イツチ裏山

87：名無しの転生者

キスで気絶とかめっちゃ裏山

11 【誰か】 転生したら人違いで襲われたんだが【助けて】

88 : 名無しの転生者
レンジでチンしてやりたい

【U A 1 0 0 0 突破記念】 幽鬼怨唱シンフォギア

ー。ー。ーみんな、自分の気持ちを抑えきれないだけなんだ。だから、へいき、へっちゃら。

ムカつく。自分が被害に遭っているのに綺麗事を並べられる腑抜けた姉に虫唾が走る。

ムカつく。自分達には何の被害も無い癖に被害者に当たる一般^蛆人共^虫に殺意が湧く。

ムカつく。自分を防人と呼び、その名前に酔いしれるクソ尼を壊してやりたい。何が奏の努力だ。選べる上で捨てたんだろうが。

苛々する。くつだらな夢を掲げて人を殺しまくるイカれ女。

なんなんだ。突然湧いて出たと思ったらピーチクパーチクギャーギャーギャーギャーと騒ぎ散らす雑草共。

ああ、腹立たしい。人を苛立たせる事は一流の自称大人共。訳の分からんゴリラ。何様のつもりだ。

ああ、全部全部全部全部全部、全部。

壊したい。

番外編

戦姫絶唱シンフォギア

NOW LOADING…

戦唱フォギア

なw ろあdingぐ、

な、?。ろ!?。

纏翫→纏√※纏ツ纏九▽纏才纏?→纏セ纏九d纏輔d縲後→縲後◆纏ツ纏√&纏才纏
 九U纏輔≠纏??纏?U纏代←縲阪%纏ユ纏輔←纏工纏?◆纏輔d纏ツ纏?≠纏輔f纏
 ?@纏??纏?&纏??纏?U纏輔→纏輔→纏溢:纏?→纏ユ纏輔←纏昂a纏輔。纏ヲ
 纏ゆ。纏上:纏?〃纏工纏翫:纏九f纏、纏ヨ纏才纏、纏翫◎纏溢j纏イ纏薙▽纏昂▽
 纏ツ纏?≡纏医▽縲阪?後▽縲阪≠縲阪?纏、纏才纏薙→纏?d纏励U纏九◆纏工纏励
 ◆纏代h纏ヤ纏溢&縲阪S纏ヨ纏サ纏薙&纏イ纏輔?纏昂?纏輔◆纏輔→纏九↓纏輔

d 纏七纏代? 後 纏イ纏医 ↓ 纏エ纏七纏九※纏? 纏漚 d 纏纏翫 → 纏√※纏ツ纏九▽纏
 才纏? → 纏七纏九 d 纏輔 d 縲後 → 縲後 ◆ 纏ツ纏√ & 纏才纏九 U 纏輔 ≠ 纏?? 纏? U 纏代
 ← 縲阪% 纏ユ 纏輔 ← 纏エ纏? ◆ 纏輔 d 纏ツ纏? ≠ 纏輔 f 纏? @ 纏?? 纏? & 纏?? 纏? U
 纏輔 → 纏輔 → 纏漚 :: 纏? → 纏ユ 纏輔 ← 纏昂 a 纏輔 纏ヲ纏ゆ。 纏上 :: 纏? ” 纏エ纏翫 ::
 纏九 f 纏、 纏ヨ 纏才纏、 纏翫 ⊙ 纏漚 j 纏イ纏薙▽ 纏昂▽ 纏ツ纏? ≧ 纏医▽ 縲阪? 後▽ 縲
 阪 ≠ 縲阪? 纏、 纏才纏薙 → 纏? d 纏励 U 纏九 ◆ 纏エ纏励 ◆ 纏代 h 纏ヤ 纏漚 & 縲阪 S 纏ヨ
 纏サ 纏薙 & 纏イ 纏輔? 纏昂? 纏輔 ◆ 纏輔 → 纏九 ↓ 纏輔 d 纏七纏代? 後 纏イ 纏医 ↓
 纏エ 纏七纏九※纏? 纏

∴

幽鬼怨唱シンフォギア

普遍の歌が紡ぐ、怨嗟の物語∴

「もうやめてよ! 愛子!」

「るっさいのよこの腰抜け女が！」

「聞くが良い！防人の歌をつ！」

「なあにが防人よこの役立たずのナルシストがつ！わざわざ無意味な残業ご苦労様！」

「ふざけやがつて！お前みたいな化け物じみた奴が居るから世界から争いが無くならねえんだよっ！」

「あつそう！アンタがその筆頭よくたばりなさいっ！」

「あーもう！これじゃどうしようもないデスよっ！」

「今更気づいたの？じゃ、さようなら」

「これ以上、大人として子供に人を殺させる訳にはいかん。さあ、話はベットで聞こうかっ！」

「…一族揃つてのナルシストかよ」

やがて、破壊救いの手が差し伸べられる物語。

「随分と暴れたな。そんなに姉を殺したかったか？」
「…アンタ。まさか」

…通りすがりの仮面ライダーだ。

K A M E N R I D E

【U A 2 0 0 0 0突破記念】【特典が】転生したけど原作を知らない【無駄無駄】

1：名無しの転生者
どうしよ

2：名無しの転生者
どゆこと？

3：名無しの転生者
とりまコテとステよろ

4：無駄な破壊者

>>>3

つけたで

ワイ

男

ウマ娘世界に転生

特典はデイケイド、見慣れないカード多数、ケータツチ

ウマ娘はちよつとやったことある。ストーリーは知らんし、キャラもわからん。ゴルシに全部持つてかれた

5：名無しの転生者

ウマ娘か、流行りじゃん

6：名無しの転生者

あつ、特典が無駄無駄つてそう言う…

7：名無しの転生者

見慣れないカード？どう言うことや？

8：無駄な破壊者

なんか仮面ライダーのカードが一枚もなく、まどまぎとかゆゆゆのカードがある

(白目)。あとはがっこうぐらしと申し訳程度のソラールさん。

9 : 名無しの転生者

What?

10 : 名無しの転生者

ほう、TSですか、大したものですね

11 : 名無しの転生者

へー、原作を知らないってそう言うことか、でも男だし関係ないやん、引っ込め(無慈悲)

12 : 無駄な破壊者

>>11

関係ない訳ではないんだよなあ…

13 : 名無しの転生者

>>12

は？どう言うことや？

14：名無しの転生者

イツチはオカマだった…？

15：名無しの転生者

ヴオエ!!

16：無駄な破壊者

…男のウマ娘だったんよ

17：名無しの転生者

は？

18：名無しの転生者

ファッ!?

19：名無しの転生者

お前の性別 i s どっち

20：名無しの転生者

男のウマ娘とか頭おかしなるで

21：名無しの転生者

同い年に馬鹿にされてそう

22：名無しの転生者

これまた面白い転生者がでたな、楽しませてくれよ？

23：名無しの転生者

>>22

強そうな奴出てきたぞ

24 : 無駄な破壊者

>>>22

ヤダ

>>>21

カマ野郎って虐められてたぞ、石も投げられたし階段から突き落とされた。オーロラカーテンでソイツも転ばしたら俺だけ先生に怒られた。Fuck!

25 : 名無しの転生者

あつ

26 : 名無しの転生者

<rb>ω・(ソナ

</rb>><rp>(</rp>><rt>i d : r 2 6 e </rt>><rp>(</rp>></r

p>></ruby>

27 : 名無しの転生者

その：すまんかった

28 : 無駄な破壊者

>>27

ええんやで

29 : 名無しの転生者

や
イツチ、ワイの世界に来てワイの封印を解いたら助けたるで、そして二人で楽しもう

30 : 無駄な破壊者

>>29

ホモはお断り

31 : 名無しの転生者

(. | .)

32 : 名無しの転生者

草

33：名無しの転生者
しよんぼりでワロタ

34：名無しの転生者
そもそも俺ホモじゃない

35：名無しの転生者

>>34

ナニをするつもりだったんですかねえ…

36：名無しの転生者

>>35

フフフ…セツ〇ス!

37：名無しの転生者

>>36

やめないか！（ベシッ）

38：名無しの転生者

>>36

やめないか！（ズドン！）

39：無駄な破壊者

話を戻しまして、安価やるぞー

40：名無しの転生者

キタ——（。▽。）——！！

41：名無しの転生者

あてたる

42：名無しの転生者

コレこそスレの醍醐味

43：名無しの転生者

どう言う安価や

44：無駄な破壊者

この糞みたいな生活から脱却すべく、家出を行う
どこ行く？>>55

45：名無しの転生者

フアツ!?

46：名無しの転生者

イツチ家出するんか!?

47：名無しの転生者

マジかー、真面目にどこがいいよ

4 8 : 名無しの転生者

ここは強気に北朝鮮

4 9 : 名無しの転生者

>> 4 8

コラッ!

5 0 : 名無しの転生者

>> 4 8

イツチにミサイルを撃ち込むんじゃないやありません!

5 1 : 名無しの転生者

おい安価近いぞ

福岡

5 2 : 名無しの転生者

エルサルバドル

53 : 名無しの転生者

群馬

54 : 名無しの転生者

四国

55 : 名無しの転生者

どこにも定住せず、根なし草の旅

56 : 名無しの転生者

ソ連

57 : 無駄な破壊者

…へ？

58 : 名無しの転生者

よりもよってか

59 : 名無しの転生者

これは : 愉悦とか言えないですねえ :

60 : 名無しの転生者

ちよつとギャラルホルンでイツチの保護してくる

61 : 無駄な破壊者

>>60

安価はー? (震え声)

62 : 名無しの転生者

イツチがそれをするのか (困惑)

63 : 名無しの転生者

イツチ? 嫌なら止めてもええんやで?

64 : 無駄な破壊者

>>63

安価はー? (ヤケクソ)

65 : 名無しの転生者

ぜ、絶対ー…

66 : 名無しの転生者

絶対ー…

67 : 名無しの転生者

大丈夫か? 寂しくないか?

68 : 無駄な破壊者

カードの中のソラールさんがさ、言ってるんだよ。言葉の通じぬ獣に、抵抗しない理由はないって。イケメンかよ、惚れるわコンチクショ

69 : 名無しの転生者

ソラールさん h s h s

70 : 名無しの転生者

>>69

「(「^o^)」ホモオ :

71 : 名無しの転生者

>>69

ソラールさんは主人公にくつつけろ

72 : 名無しの転生者

>>71

「(「^o^)」ホモオ :

73 : 名無しの転生者

>>68

ソラールさんは太陽だからねしょうがないね

74：無駄な破壊者

ヨシ！（現場猫）覚悟もキメた所で、変身！オラッ死ねっ！

75：名無しの転生者

イツチ!?

76：名無しの転生者

どうしたイツチ

77：無駄な破壊者

ワイを殴ってたいじめっ子共の目を指でぶち抜いた

78：名無しの転生者

フアーw

79：名無しの転生者

ヨシ！いいぞー！

80：名無しの転生者

いいぞもつとやれ

81：名無しの転生者

唐突の殺意に草を禁じ得ない

82：名無しの転生者

うわっ：我々のいじめっ子への殺意、高杉…？

83：無駄な破壊者

ヨシ！壁ぶち抜いて、あばよー！ルナちゃん！

84：名無しの転生者

待て

85：名無しの転生者

イツチそれはどう言うことだ

86：名無しの転生者

k w s k

「たてよ！このオカマやろー！」

「そーだそーだ！」

誰もいない教室の中で、まだ十歳にも満たないであろう子供が二人。見窄らしい格好のウマ耳が生えた少年を痛めつける。

しかし、少年は動かない。泣くでもなく、暴力に抵抗する訳でもなく、頭を抱える訳でもなく、全く動かない。

「きもちわりーんだよ！」

「さっさとしねよ！」

「やめろ！」

その時、教室に罵声とは違う怒鳴り声が響く。声の方を見れば、鹿毛に焦げ茶色の前髪、その中心に白い三日月の様な一房の前髪が垂れた小さなウマ娘、シンボリルドルフ

が憤怒の表情で二人を少年から引き剥がし、少年に駆け寄る。

「大丈夫か？ 怪我は？」

「じやますんなよーとーせー！」

「おとなにこびうりやがって！」

直後、一人の子供がルドルフの髪を引っ張り、無理矢理退かそうとする

直後、もう一人の子供が吹っ飛び、並べられた机が不快な騒音と共に砕ける。

「…えっ？」

「は？」

「…もう、我慢の限界だ」

子供が吹っ飛んで来た方を見れば、薄桃色のデイケイドライバーを装着してゆらりと立ち上がる少年。その直後、ライドブッカーから成人男性特有の野太い声が響く。

『うむ！元より、言葉の通じぬ獣如きに、してやる我慢などないのだ！』

「…そう、そうだよなあ？」

K A M E N R I D E

「変身」

D E C A D E

もう、そこに少年はいなかった。そこにいたのは、歪んだエメラルドグリーンの目を持ったマゼンタ色の戦士、「仮面ライダー・デイケイド・激情態」が子供二人を睨む。

「フンッ」

次の瞬間、デイケイドは子供の両目を人差し指と中指で潰した、まず一人。それを目にしたもう一人の子供が漸く動き出すが、もう遅い。デイケイドは瞬く間に子供に追いつき、同じ様に目を潰す。

そうして、もはや声にならない悲鳴を上げて悶える子供を投げ捨て、己を尻目に見て、窓側を蹴り抜きベランダに出るデイケイドに慌てて声を掛けるルドルフ。

「どっ、何処にいくんだ!？」

「…さあな」

その問いに、そう答えて跳び去るデイケイド。そこに残されたルドルフは、取り敢えず学校に残っているであろう教師を呼びに走り去った

数年後

「…やあ、元気か？」

「…あー、もしかしてルナちゃんか？」

二人は再び巡り合う。

【UA2000突破記念】特典が【転生したけど原作を知らない【無駄無駄】Part2

136：名無しの転生者

イッチ、今どんな感じや

137：無駄な破壊者

まどかちやんがカードの中ではしゃいでる

「すごいすごいー！」って

かわいいかよ

138：名無しの転生者

裏山

139：名無しの転生者

待って

140：無駄な破壊者

>>139

あ？

141：名無しの転生者

なんでカードが喋ってんの？

142：名無しの転生者

そーじゃん、忘れてたわ

143：名無しの転生者

おぢさんに行つてごらん？

144：無駄な破壊者

知らん、なんか喋る

145 : 名無しの転生者
愛、ですよ

146 : 名無しの転生者

>>145

何故そこで愛っ!?

147 : 名無しの転生者

>>145

英雄キチやめろ

148 : 無駄な破壊者

お前ら

149 : 名無しの転生者

ん?

150：名無しの転生者
どした？

151：名無しの転生者
旅を止める気になったか？

152：無駄な破壊者

>>151

違う

これ食えると思う？

【明らかに手で千切られたイチイの画像】

153：名無しの転生者

葉っぱと種には毒があるので

154：名無しの転生者

毒はないから気にせず食っちゃえ

155 : 無駄な破壊者

とりあえず果肉だけ食うわ

156 : 名無しの転生者

>>155

クソツ!

157 : 名無しの転生者

>>156

目論見が潰えててワロタ

158 : 名無しの転生者

草

159 : 無駄な破壊者

フン

160：名無しの転生者

でもその種は揉めば成長が早くなると言われているぞ

161：無駄な破壊者

>>160

噛めと？

162：名無しの転生者

>>161

ガチだって

163：名無しの転生者

これはガチの情報だぞ

164：無駄な破壊者

んまい

>>163

そうか、>>160には悪いことしたな、すまん

165：名無しの転生者

ええんやで

166：名無しの転生者

>>165

やさしいせかい

とりあえずイツチは持てるだけ実持ってたら？

167：名無しの転生者

葉っぱと種も持ってけ

サツに絡まれた時に役立つはず

168：無駄な破壊者

>>167

おけ

ぶちぶちー

169：名無しの転生者

ところでイツチ

170：無駄な破壊者

あ？

171：名無しの転生者

イチイが普通に生えてるとは思えないんだが

172：名無しの転生者

あつ

173：名無しの転生者

コイツまさか

174：無駄な破壊者

その様な事実はございません（目逸らし）

175：名無しの転生者

コイツやりやがったぞ

176：名無しの転生者

泥棒が出たぞー！（クソデカ大声）

177：無駄な破壊者

>>>176

お前がそんなこと言うから農家さん湧いたやんけ
マジでふざけんな

178：名無しの転生者

草

179：名無しの転生者

フアーwwww

180：名無しの転生者

天罰を受ける時やで

181：名無しの転生者

そら（変なコスプレしとる奴が自慢の畑荒らしたら）そう（怒りたくもなる）よ

182：無駄な破壊者

警察呼びに行ったぞ

今がチャンスか

183：名無しの転生者

まだやる気かコイツ

184 : 名無しの転生者

そりやあ、命かかってるし

185 : 無駄な破壊者

>>183

そうだそうだ

186 : 名無しの転生者

一先ずそこら辺にして逃げろや

187 : 名無しの転生者

まず身を隠せ、そしたら走れ

188 : 無駄な破壊者

おけ、ジャンプ

189 : 名無しの転生者

ええ…？

190：名無しの転生者

隠れろつつつたやろカス

何ジャンプで逃げとんじやダボ

191：無駄な破壊者

>>190

こんなマゼンターマーじゃ隠れるなんて夢のまた夢に決まってるだろアホ

192：名無しの転生者

お前らクソ口悪いやん

193：名無しの転生者

なんだつたら農家さん頃せばよかつたんちやう？

194：無駄な破壊者

あつ

195 : 名無しの転生者

マジでやめろ

196 : 名無しの転生者

洒落にならんぞ

217 : 名無しの転生者

おい

218 : 名無しの転生者

イツチー？

219：名無しの転生者

さつきから音沙汰ないぞ

220：名無しの転生者

サツに撃たれたか

221：無駄な破壊者

>>220

正解

何の躊躇いもなしに撃ってきたわ

222：名無しの転生者

ええ…（困惑）

223：名無しの転生者

警官の姿か？これが？

224：無駄な破壊者

あーあーすげえ

ライドブツカーが大騒ぎやわ

225：名無しの転生者

今どんな感じ？

226：名無しの転生者

>>225

確蟹

それ気になるわ

227：無駄な破壊者

>>225

>>226

カードの中に太郎丸いたからソイツに変身してイツヌパワーで逃げ切ったぞ

228 : 名無しの転生者

やはりイツヌ…！イツヌは全てを解決する…！

229 : 名無しの転生者

わんこちゃん h s h s

230 : 名無しの転生者

>>229

イツヌイツチにでもしてろ

231 : 無駄な破壊者

>>230

絶対に嫌だが？

てな訳で安価するぞー

2 3 2 : 名無しの転生者

安価キタ——(。△。)

!!

2 3 3 : 名無しの転生者

今度こそあてたる

2 3 4 : 無駄な破壊者

じゃあ

>>250

どこ行く?

2 3 5 : 名無しの転生者

うおー!

2 3 6 : 名無しの転生者

遠いな

k s k

2
4
2
:名無しの転生者k
2
4
1
:名無しの転生者s
2
4
0
:名無しの転生者k
2
3
9
:名無しの転生者k
s
k
2
3
8
:名無しの転生者k
s
k
2
3
7
:名無しの転生者

新潟

243 : 名無しの転生者

ロシア

244 : 名無しの転生者

ペルー

245 : 名無しの転生者

サウジアラビア

246 : 名無しの転生者

沖縄

247 : 名無しの転生者

南極

248 : 名無しの転生者

北朝鮮

249 : 名無しの転生者

実家

250 : 名無しの転生者

北海道

251 : 名無しの転生者

北アメリカ

252 : 名無しの転生者

トリコ

253 : 名無しの転生者

決まったー！

254：名無しの転生者

うわああああ外したあああああああ！

255：名無しの転生者

北海道か

256：名無しの転生者

スぺちゃんか

257：名無しの転生者

原作介入やんけ

258：名無しの転生者

移動はオーロラカーテンか？味気ないな

259：無駄な破壊者

>>258

徒歩だぞ、旅人氣分満喫するぞ

260：名無しの転生者

このイツチ、意識が高い

261：名無しの転生者

赴きあるねえ

262：名無しの転生者

イツチ今どこらへんなん？

263：無駄な破壊者

>>262

分からん、方角も分からん

264：名無しの転生者

ええ：

265：名無しの転生者

雲の流れ見たらええやん

266：名無しの転生者

夜だったら北極星探せよ

267：無駄な破壊者

>>265

今夜なんだよ

>>266

わかるわけねーだろ

268：名無しの転生者

>>267

それな

269 : 名無しの転生者

自分次元転送できるけどコンパス送ろつか？

270 : 名無しの転生者

いたよなんかできる人：

271 : 名無しの転生者

最高か？

272 : 名無しの転生者

ドラえもんかな？

273 : 名無しの転生者

>>269 「テツテテーン」

274 : 名無しの転生者

>>>269 「これを使えば良いよ」

275：無駄な破壊者

もう送られてきたぞ

276：名無しの転生者

はや

277：名無しの転生者

火星の化学は世界一イイイイイイイイ！

278：名無しの転生者

ブラッド族かよ

殺せ

279：無駄な破壊者

北は…あっちゃやな、イクゾー！

280：名無しの転生者

デッデッデデデデ！カーン！

310：無駄な破壊者

お巡りさんが盾構えて列組んでやがるぜ

311：名無しの転生者

やれ！イツチ！

312：名無しの転生者

蹴散らせー！

313：名無しの転生者

職質されて大衆の前でエロゲ晒された俺の仇をとってくれ

314：名無しの転生者

>>313

不憫でならない

315：名無しの転生者

>>313

可哀想が過ぎる

316：無駄な破壊者

俺の話を全く聞かなかつた報いを受けるが良い

ティロ・フィナーレ☆

317：名無しの転生者

いけー！

939：無駄な破壊者

はい、北海道とうちやーく！

940：名無しの転生者

はえー、大地が真っ白やなー

941：名無しの転生者

ジンギスカンとかラーメンとか楽しんでこい

942：無駄な破壊者

>>941

金は？

943：名無しの転生者

あつ

【特典が】俺氏のウマ娘世界探訪記【無駄無駄】 3スレ目

148：無駄な破壊者

スペちゃんカワヨ

よーしよし

【気持ちよさそうに頭を撫でられて笑顔な幼女の画像】

149：名無しの転生者

ああ〜

150：名無しの転生者

何があつたよ

151：無駄な破壊者

山で食料を探す

ぶっ倒れる

目が覚めたらスペちゃんが枕元に↑イマココ！

152：名無しの転生者

裏山

【特典が】 俺氏のウマ娘世界探訪記【無駄無駄】 28スレ目

693：無駄な破壊者

シンフォギアネキとその姉の焼き鳥うまE

【立花愛子と立花響の間に座り、焼き鳥を頬張る少年の画像】

694：シンフォギアネキ

来んなつつつてんのに来やがった

695：名無しの転生者

は？

696：名無しの転生者

イツチそこ代わりやがれ

697：名無しの転生者

裏山

「うえへへへ、いっぱい食べて良いんだよお」

「糞姉貴、あんま甘やかすなよ。オラ、イツチも。そんながつつくと喉に詰まるぞ」

「んぐ、んぐ」

「お前達…」

720：無駄な破壊者

なんか赤いのに引き摺られてった

721：名無しの転生者

草

722：名無しの転生者

OTONA来てて草生える

【特典が】俺氏のウマ娘世界探訪記【無駄無駄】 32スレ目

325：無駄な破壊者

一号が来た件について

【構えをとる一号の画像】

326：名無しの転生者

激情態の敵じゃないやろ

327：シンフォギアネキ

よゆうでしょ

328：無駄な破壊者

増えたんですが？

【それぞれの武器を構える一号、二号、第一号、ホッパー一号の画像】

【特典が】 俺氏のウマ娘世界探訪記【無駄無駄】 82スレ目

522：名無しの転生者

イツチ

523：無駄な破壊者

ん？

524：名無しの転生者

今って何年？

525：無駄な破壊者

そこにコンビニあるし、ちよつと新聞見てくる

526：名無しの転生者

おー

「おっと」

「しつれー」

「…今のは？」

「会長？どうされました？」

「…ああ、何でも無いよ」

（…ありえない、あれから十七年も経っている。…見間違いだろう）

【特典が】俺氏のウマ娘世界探訪記【無駄無駄】 84スレ目

641：無駄な破壊者

遂にアーツエツか

642：名無しの転生者

激状態の敵じゃない定期

643：名無しの転生者

もうマンネリ化してきたな

644：名無しの転生者

いけ、イツチ！みなごろし！

「グワアアアアアアアアッ！」

「…他愛ないな」

（…まさか、本当に、君だと言うのか？あの時と姿が全く同じだ。だがあり得るのか？…
因循姑息、あり得ないな）

【UA30000突破記念】 i f・もしもイツチが鏡の世
界に迷い込んでいたら

はい、というわけで投票結果は「ラブアンドピース勢エボルト」でした。

何かイチャイチャライブが追い継ぎしていたけど、やっぱり皆まどかちゃんの事が好き
なんやなって。

それでは、どうぞ

最近スランプ気味なんて言えない

78：名無しの転生者

イツチ遅くね？

79：名無しの転生者

追いつかれた説

80 : 名無しの転生者

YOU
DIED

81 : 名無しの転生者

草

82 : 名無しの転生者

オイオイオイ、死んだかアイツ

83 : 狙われ転生者

助けて

84 : 名無しの転生者

イツチ北

85 : 名無しの転生者

やつとか

86 : 名無しの転生者
ぶつちやけ慣れてるまでである

87 : 名無しの転生者
んで、何があつた？

88 : 狙われ転生者
明らかにヒーロー側の仮面ライダーが人を襲つて明らかに敵側の仮面ライダーが人を守つてる

89 : 名無しの転生者
ん？

90 : 名無しの転生者
これは…？

91 : 名無しの転生者

よくわからん

デュークか？んでそれをロードバロンが助けたりでもしてんの？

92 : 名無しの転生者

(フタを開ける音)

93 : 名無しの転生者

チカンエナジーアームズ!!

94 : 名無しの転生者

>>>93

やめないか!

95 : 名無しの転生者

それはそうと、イッチ正解は？

96：狙われ転生者

【配色が逆な仮面ライダービルドが人々へ銃を向け、仮面ライダーエボルがその銃口を逸らすGIF】

97：名無しの転生者

は？

98：名無しの転生者

what？

99：名無しの転生者

俺たちは何を見ているんだ：

100：名無しの転生者

??????????????

101 : 狙われ転生者

え？ 皆どうした？

102 : 名無しの転生者

赤と青の奴が主人公のライダーで悪者っぽい奴がラスボスですね

103 : 名無しの転生者

ちよつと待って一旦頭整理する

104 : 狙われ転生者

流石に嘘松

主人公が人襲う訳ないだろ

105 : 名無しの転生者

なつとる！ やろがい！

106 : 名無しの転生者

いや、コレマジでどう言う事だ？

何でエボルトが人守つとんねん

107：名無しの転生者

わからん

アレか？曲がり角で衝突したら入れ替わったみたいな

108：名無しの転生者

>>107

しなくてもいいだろ

109：名無しの転生者

>>107

エボルトなら普通に乗っ取れる定期

110：狙われ転生者

収集つかなくなってきたので安価

どうする > > 120

111 : 名無しの転生者

ここですか

112 : 名無しの転生者

ここはちよつと真面目に

113 : 名無しの転生者

逃げる

114 : 名無しの転生者

乱入する

115 : 名無しの転生者

後ろからエボルトを刺す

116 : 名無しの転生者
ビルドに加勢する

117 : 名無しの転生者
逃げる人の足を引っ掛ける

118 : 名無しの転生者
焼肉食いに行く

119 : 名無しの転生者
ビルドを羽交締め

120 : 名無しの転生者
エボルトに加勢する

121 : 名無しの転生者
あつ

1 2 2 : 名無しの転生者
ファツ!?

1 2 3 : 名無しの転生者
地球終わった

1 2 4 : 狙われ転生者
おけまる

赤青黄色の奴でいいんだな?
と言うか生身なんだが

1 2 5 : 名無しの転生者
変身しろ定期

1 2 6 : 狙われ転生者
変身の仕方がわからない

おせーて

127：名無しの転生者

HA？

128：名無しの転生者

(クソデカため息)

129：名無しの転生者

まずはバックルを装着します

130：狙われ転生者

人気のない場所に移動

はい

131：名無しの転生者

バックルのサイドハンドルを引き、バーコード頭のカードを差し込みます

132 : 名無しの転生者

仮面ライダー知らない転生者の屑

133 : 狙われ転生者

>>132

ハマったのがウルトラマンなんだよ
入れた、どうする

134 : 名無しの転生者

バックルを戻します

135 : 名無しの転生者

ぶつちやけデイケイドでどうにかなる？

136 : 名無しの転生者

ビルドはどうにかなる

エボルトはいやーキツイっす

137：狙われ転生者

変身できたぞ

【ベルトを除いて原作と何ら変わりのないデイケイドの画像】

138：名無しの転生者

おー、原作通り

139：名無しの転生者

ベルトがうっすいピンクな事を除いてな

140：名無しの転生者

ライダーズクレストもなし

141：狙われ転生者

お前から気にしすぎやろ

オーブダークかな？

142 : 名無しの転生者

懐古厨と一緒にすんなや

143 : 名無しの転生者

殴るぞ

144 : 狙われ転生者

殴られたくないのでイクゾー！

145 : 名無しの転生者

デッデッデデデ！カーン！デデデデ！

146 : 名無しの転生者

ライブ機能は？

147：狙われ転生者

えっそんなんあんの？

Vortex Finish!

Yeah!

「ハアアアアアアアアアアアアアアアアアッ!!!」

「ガアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアッ!!!」

ビルドのライダーキックを受けたエボルが宙を舞い、壁に激突して地に墮ちる。それを見た人々が悲鳴を上げながら逃げようとすが、ビルドが開発したガーディアンがそれを許さない。その一人を掴み上げ、セーフガードライフルの剣部分を民間人に振り翳す。

「アハハッ」

「や、やめ

それを見たビルドが嗤い、エボルがそれを阻止せんと走り出すが間に合わない。その切っ先がその人に突き立てられるその瞬間

「オラアツ!!!」

デイケイドがその手に持ったライドブツカーの刀身でガーディアンを切り裂いた。

「は……?」

「誰だ……?」

「逃げる」

デイケイドは困惑する二人を無視して民間人に冷たく言い放ち、ビルドに肉薄し、胴体を斬りつけ、蹴り飛ばす。

「よおテロリスト。ご機嫌いかが?」

「最ツ悪だな。せつかく人が死ぬのを見られると思ったのによおっ!」

そう叫んだビルドはドリルクラッシュャーを左手にデイケイドへ斬りかかるが、デイケイドが右拳でビルドの顔を殴りつける事で阻止。そのまま左手に持ったライドブツカーで再度斬りつけ、同じように蹴り飛ばした。

「なら、もつと不快になっていただこう」

そう呟いたデイケイドはドリルクラツシャーを驚掴みにして、そのまま握り潰した。その怪力に一瞬怯んだビルドの目の先端部分を掴み、顔面に膝蹴りをかます。

180：狙われ転生者

何だこいつ、弱くない？

181：名無しの転生者

ビルドがこんな事言う筈無い定期

182：名無しの転生者

これじゃあ戦兔が悪役みたいじゃねーか

183：狙われ転生者

>>182

人襲つてるし悪役だろ

「グツ……今回はコレぐらいにしといてやる」

そう捨て台詞を残して煙と消えるビルド。

其処には、残された疲労困憊のエボルトとデイケイドが向き合っていた。

226：狙われ転生者

そういやコイツラスボスなんだっけ？

勘違いされたらどうしよ

逃げよっかな

227 : 名無しの転生者

逃げるな

228 : 名無しの転生者

戦え

229 : 名無しの転生者

そんなんで仮面ライダーの力を使えると思ってるのかア！ (。D。) ゴルア！

230 : 名無しの転生者

ヘタレで草

231 : 名無しの転生者

勘違い物はいいぞ

【U A 4 0 0 0 0 突破記念】幽鬼怨唱シンフォギア 第一期『悪鬼エンド』RTA

人をぐちゃぐちゃに殺しまくるRTA、はーじまーるよー。

という訳で今回は安定感もクソもないゲーム「転生したらめつちや追われるんだけど？」シリーズの「幽鬼怨唱シンフォギア」での一期攻略トロフィー「少女の歌には、血が流れている」と特定のトロフィーを入手する事で手に入る「その少女、悪鬼につき」を最速で取得しつつ主要キャラ全員生存させたいと思います。

今回は殺人ルートが必須になって来るので、OTONAの皆様や装者の方々には全力で曇って頂きたいと思います（暗黒微笑）

では、前置きはこのくらいにしてキャラメイクにイクゾー！（デッデッデッデッデッデッデッ！）

性別は無論女。でないと歌えないので。

野郎はRTAにはフヨウラ！

次に外見を弄りますが、ここは適当にビッキー風に。

ここはRTAでは何の意味も無いので適当でヨシ！

次に出身を決めますが、こと後のギア選択はガチャです。RTA殺しではなく神殺しの力を宿してもらって、どうぞ。

今回は……ファツ!?

立花家ですね。ここで風鳴家なんぞ引こうものならリセ案件、大抵実験台エンドでチャートがぶつ壊れ案件で御座います(12敗)

次に名前入力ですが、立花家に生まれる事で名字は立花で固定です。まあ適当にランダム入手です。計測開始はまだまだ先ですので、ここら辺はのんびりできます。

続けてステを弄ります。このゲームは身体(HP)と精神(SP)。それと適合率(ATK)に運(LUCK)と知能(IC)と悪性(EV)があり、それぞれ六種類の上がりやすさに合計300%になる様に振り込みます。ここは身体に60、精神に40、適合率に80、運は0です。少しでも安定が欲しい。知能に20、悪性に100振り込んでおきます。殺人鬼ルートだとこれがいっちゃん安定感あります。

次に気質を選びます。ここは後々説明する【狂気レベル】や各キャラ毎の【好感度】の振れ幅に影響して来るので、適当は許されません。

気質はそれぞれ2〜3個選んで性格を形成するので、『破壊』と『享楽』と『無慈悲』を選びます。他にも色々あって、例えば『献身』と『慈愛』を選べばビッキー激似に作

れたり、『執着』と『狂愛』を選べばヤンデレが、更にそこに『無慈悲』を追加すると猟奇的なヤンデレが作れたりします。諸君、私はヤンデレが好きだ（少佐）

最後にお待ちかねの転生特典ガチャです。これにはレア度があり、EからSがある訳で。Eの鞭とか引くと洒落になりません。ですがそこはご安心。立花家に転生する事で確率に上方修正が入ります。

さーて………ん？

（二度見）

（三度見）

（四度見）

S の リ ビ ル ド ガ ン グ ニ ー ル ？

待って？待って？待って？ええ？てつきりSAKIMORIのカッターナカバローのガングニールかと思っただけ、ええ？いくらだからってこうもぶっ壊れな奴くる？

分からない方にこのランクがどれだけ凄いかを解説すると、ですな。

Eが棒とか盾とか、クソ弱リセ案件で。

Dが爆弾なり魔法のステッキ（物理）だったり。

Cがキネクリ先輩のイチイバルだったり、ザババのギアだったり。393の神獣鏡。

Bでビツキーかバーローのガングニール、SAKIMORIのカッターナか家電姉妹のアガートルームかたやマ。ソロモンの杖。

Aでネフシユタンやダウルダブラ、デユランダル、XDの決戦形態。

件のSだと各種常時エクストライブや黄金錬成、埒外物理や先程のリビルドガングニール等です。

……うん、はい。ガチガチのバチバチに当たりが来ちましたね、これは。何だこれは……たまげたなあ……。

そんなこんなで完了ボタンを押します。「このキャラクターで開始しますか？」と聞かれるので、「YES」と返答します。

はい、よーいスタート。

ここから計測開始です。

画面では主人公が転生がどうの言ったりスレ立てしている間に、幼少期にやることを解説していきます。

「その少女、悪鬼につき」の取得に必要なのが、大量に市民を殺す事で取得できる「無慈悲な人殺し」と二課に敵対する事で取得できる「その手を下ろせ」、それと「少女の歌には、血が流れている」と殺意覚醒イベントを起こす事で取得できる「悪鬼、目覚める」を取得する事で取得出来ません。

ここで重要になってきているのが先程説明すると言った「狂気レベル」。人を殺したりイグナイトしたりする事で上がっていくんですが、これを上げると何が起きるかと言うとですね、次の様になります。

- ・ 気質によっては精神が崩壊してBAD ENDに直行する
- ・ 特殊なイベントが入る
- ・ 気質によっては吐く
- ・ 下手したら国からの警戒レベルが上がる
- ・ 致命攻撃に追撃モーションが追加される
- ・ 悪性が上がる

等です。『献身的』や『慈愛』等のビッキー寄りの善良な気質だと吐いたりBAD ENDになったりするから気質を『破壊的』や『無慈悲』等でマイナスに持つていく必要があったんですね。

それで具体的にどうやったら国から警戒されるかと言うと、狂気レベルが上がって

るのを悟られると警戒レベルがぎゅーん→します。

それでどうやって隠すのかと言うと、悪性を上げて受け入れたり精神で振じ伏せる等です。それと393の好感度を上げてセラピーを受けましょう。

話を戻して、ナニをするのかと言うと。体を鍛えます。身体値を上げるとパリイがでる様になるので。万が一の保険です。この時期に鍛えてもカスみたいな上昇量なのですが、ないよかマシです。

つと、来ましたね。本作の目玉要素にしてRTAの最大の敵、転生者揭示板っ!!
安価によるランダム要素が本当にうんちです。

【安価】このままだと人殺し呼ばわりされそうなんだけど質問ある? 【どうする?】

《どうしたらええんや》《おまいが先に世界も人も奇跡も皆殺すんやで》《やばい奴いて草》《コテとステはよ》《ほう、シンフォギアですか、大したものですね》《安価と聞いて》

今回のうんち要因は『暴虐ニキ』と『エロゲニキ』と『下衆大使』とその他ですね。因みに下衆大使はどう足掻いてもいます。

ここでステを晒しますが、「ライブ時に初変身予定」とカキコしておきましょう。これでスレ民はこっちの予定を考慮した安価をしてくれます。

あ、こつちの特典に気付いた様子。

▽ワイ

前世は女、今世も女

ビツキー家に転生

▽姉がビツキー

ワイ、絶望↑イマココ！

▽特典は四期のでんこ盛りガングニール

ライブ時に初変身予定

ここでやる事は祈る事のみ、安価は三つ選ばれ、それぞれ二課に敵対するのか、ビツキーと敵対するのか、どう言うキャラのムーブになるのか。この三つですね。

《は？》《えぐ》《四期のでんこ盛りガングニールとかマ？》《転生先がマドハンドワイ、特典の格差に義憤》《ライブ時に初変身か、何か二課と敵対しそうやな》

▽そこも含めての安価や、はいヨーイドン

▽○○○二課とどうする？

〽〽〽〽〽〽ビッキーとどうする？

〽〽〽〽〽〽〽〽〽その時はどう言うキャラムーブ？

始まりましたね、地獄が（人でなし並感）

殺人鬼ルートで行きたいのでどっちとも敵対したいんですがね。まあ祈るしか道はありません。

もうリセは嫌だ（必死）

〽デロデロに甘える〽

〽敵対する〽

〽協力する〽

〽デロデロに甘えて百合の花を咲かせる〽

〽親の仇かってぐらいに敵対する〽

〽ツンデレ百合はいいぞ〽

〽泣きながら殴る復讐者ムーブ〽

走者倍速中
少女鍛錬中……

はい、と言う訳でやって参りましたライブ会場。ここは初戦闘でチュートリアルですが、それが終われば即座にボス戦の初見殺しとなっております。フロムゲーかな？

ここからは皆大好き逆光のフリーユゲル、特に言うことも無いので4倍速。

走者鑑賞中
少女熱狂中……

はい、と言う訳でノイズさん達が凸してきましたね。人々も大騒ぎです。ここで人々と同じ場所に凸るとガバガバな判定に踏み倒されてgame overです（3敗）

～よし、ここいらで一発、かましたるか

《やれ、イッチ！インファイト！》《したら炭なんですがそれは》《継承シーン見てから変身したら？》

～何だったら助けるか？

《ダメです（即答）》《俺らがビツキー見れなくなるだろオ！》《原作壊れる》

「いやさ、コレ助けたらコイツ辛い目に遭わんとちゃうの？ ストーリーは5期まで責任持って私が受け持つから」

《お前本当にイツチか？》《いつになく善人になつとるやん》《立花家の血、遂に覚醒！》

《【朗報】イツチ、遂に立花家の血に屈服する【光堕ち】》

「いや、そしたら予想よりももつと暴れられるかなって」

《いつものイツチだった（絶望）》《いつも通りかよ》《おもんな》《【悲報】いつも通りだった【闇堕ち】》《闇堕ちしてから光堕ちするの良い：良くない？》《わかる》《ワイトもそう思います》

「まあ、我慢するか」

《ヨシ！（現場猫）》《やったか！》《おいバカ》

「その分私が曇らせるだけや（暗黒微笑）」

《（ωωωωω）》《ギャアアアアアアア！》《マジやめろお前》《消えろイレギュラー！（必死）》

ヨシ！（現場猫）とりあえず気まぐれ善意コースとか言う完全博打は避けられた！分らない方の為に解説しますと、2/3で横からノイズさんが凸してくる上位の再走案件でございます。死ねっ！（28敗）

「愛子っ！早く逃げよう！」

「今このタイミングで出口に行ってみろ！踏まれて死ぬなんて絶対嫌だぞ！」

さて、ここからスキップ出来ないムービーなんでちよつと水飲んできます。お茶は催

す（5敗）

「あ、やば

「おい！死ぬな！」

何処か遠くで、声が聞こえる。

「…頼む。生きるのを、諦めんなよっ」

悲痛な呟きが、少しだけ聞こえた。

…ああ、そういえば巻き込まれたんだっけ？破片に首元搔っ捌かれて。

スレのアホ共と馬鹿騒ぎしたらコレだよ、クソが。

598：名無しの転生者

イツチ！イツチ！

599：名無しの転生者

おい、死ぬな！

600：名無しの転生者

シャレにならなくてコレは！

601：名無しの転生者

死ぬなイツチ！頑張れ！

「…あー、うっさいってマジで」

「ツ！おい無理すんな！」

…ごめんだけど

「ツ！おいそつちはダメだ！止まれツ！」

「憂さ晴らしさせてもらうぞ雑音共オツ!!!」

「止めろおおおおおッ！」

B殺alw戮issyaまll Nでescのellウオーgunムgnirアッtronブ

さあ、お披露目のお時間だ雑草共。

はい、という訳で初陣です。今のところスキルも技も無いので通常攻撃で蹂躪します。

『司令ッ！新しい反応を検知！コレは…新しいアウフヴァッヘン波形ッ!? 未確認の聖遺物ですッ！しかもコレは…』

『未確認のシンフォギアだとオツ?!』

正体不明の司令がなんか言っていますね。イ、イッタイダレナンダー（棒）

蹂躪しつつこの後の流れについて解説をば。

この戦いが終わったら同行を要求強制されるので、ここで安価イベです。ここでは、主に四つの選択肢がランダムで選ばれます。

1：素直について行く。はい、逆さ鱗おばさんに転生特典の事を問い詰められてそのままブスリ♂されて再走案件です。

2：煽りながら抵抗する。そのまんまNINJAに後ろからトンされてお持ち帰り、あとは逆さ鱗おばさんにブスリで再走案件です。

3：正論で対抗。確定でSAKIMORIが、確率でバーローも参戦してのボス戦です。

4：未来（生存者バツシング）を予言して去る。コレをすると聞き流されるか追求されて複数ボス戦です。

めんどくさ…

と言う半分の確率で再走案件の相変わらずのクソイベでございますこの畜生が（114514敗）

あ、終わったつぽいですね。

「…特異災害機動部二課の者だ。同行してもらおうか」

めんどくさい女ことSAKIMORIが顔面にカッターナを突きつけて来ましたね。
ホントさあ…。

「随分乱暴ですね。性分ですか？それとも、周りに示しがつかないからですかあ？」

「…同行しろと言っている」

「や、止めるよ翼ッ！ソイツはアタシらの恩人だぞっ！この子の命を守る為に戦ってたんだぞっ！」

「わからないでしょう？名前も名乗らない奴の何処か信用できると言うの。ソイツが我々に牙を剥いたら、責任を持てるの？」

～さーて、野郎共！どうするかの安価じやー！

《傷は大丈夫なん？》《特典のお陰で治ったんでしょ（適当）》《原作でも変身前と変身後で傷があったりなかったりするもんな》《作画の問題だから（圧）》

～ホラホラ話が逸れてるぞー。それじゃわちやわちやしている間に決めるぞー

∨∨〇〇〇〇どうする？

さーて、頼むから同行しないでくれよなー頼むよー。

《素直に同行する》

《この後の流れを予言して去る》

《正論で対抗》

《煽りながら敵対》

キタ——（。▽。）——！！

と言う事でレッツレスバターンタイム！

「…まずはアイツを助けるよ」

「は？」

「そもそもさあ、コッチに牙を剥くがどうたら言ってたけど。そんな刀突きつけといて何が同行だ。サンプルに『お前を殺す』で良くない？死にかけの女子供も無視してるし」

「…救命要請は今奏がしている。心配無用だ」

「…ふうん。ケツ持ちが居るって訳だ。それでアンタは突っ立ってるだけ？随分と偉いこつて」

それでも煽る愛子ちゃん。人の心とか無いんか？

「…コレが最後だ。武装を解除し、投降しろ。さもなくば…」

「どうするって?」

「この場で切り捨てる」

「へえ、良いじゃん。…戦ろうぜ? 人気者さん?」

「さーて、試運転だ野郎共!!」

《うおー!》《正論で対抗つつたのに煽り散らしてる件》

「いざ、参るっ!」

キリもいい(節穴)ので今回はここまで。

ご視聴ありがとうございました。

【UA50000突破記念】まどかちゃんのイチャイチャ ライブ

585：名無しの転生者

まどかちゃんとのイチャイチャライブ

595：名無しの転生者

まどかちゃんに膝枕してもらって、その様子を中継

605：名無しの転生者

イッチがまどかちゃんについて語る

613：名無しの転生者

さーて！再安価するか！

614：ダクソニキ

だな！

615：名無しの転生者

イツチ！次は何個にする？

616：名無しの転生者

10個とかどうだ？

617：名無しの転生者

待て待てお前ら。安価はー？

618：名無しの転生者

>>>617

黙れ害虫

619：名無しの転生者

>>617

お前の意見は求めていない

620：ダクソニキ

>>617

くたばれ

621：名無しの転生者

>>617

エロゲ購入帰りにK察に検挙されてしまえばいいんだ

622：デイケイド（偽）

というか今現在一方的にイチャイチャされてるんだけども

623：名無しの転生者

は？

624：名無しの転生者

は？

625：名無しの転生者

キマシタワー！

626：名無しの転生者

よしイッチ！ライブ機能を開くんだ！

627：名無しの転生者

やめろ

628：ダクソニキ

殺すぞ

629：デイケイド(偽)

>>626

どうやんの？

630：名無しの転生者

念じろ

631：名無しの転生者

誰かコイツ止めろ！

632：名無しの転生者

掲示板もライブ機能も!!どっちも人を幸せにする為の物だろう!!
!!どうしてっ!!こんな使い方をするんだっ
!!!!!!

633：ダクソニキ

畜生!このタイミングでショッカーが攻めて来ればいいんだ!

634：名無しの転生者
https://TENNSEI.NEXT.NET.jp/

635：名無しの転生者
やめろ!!! ヤメロオ
!!!!!!

636：ダクソニキ
うわあああああああああああ頭が勝手にいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい
いいいいいいいい!!!

637：名無しの転生者
ああ
ああ
!!!!!!!

星空の様な美しい世界を背景に、桜の花びらの様な可憐な少女、まどかが彼に擦り寄っていた。彼に優しく抱き止められるまどかの表情は、幸福感に満ち溢れている。

「えへ、えへえへ。つかささん♡つかささん♡」

彼が足を崩して胡座にすれば、まどかは少し浮き上がり、胡座の中心にほすん、と再度腰を落とした。

その小動物の様な愛くるしさに、まどかの小さい体を力強く、尚且つ痛い思いをさせないようぎゅつと抱きしめる。それに応じ、まどかも彼にぎゅつと抱きついた。その手は力強く、まるで『もう離れたくない』と言っているようで。

「ん、ふああ……♡」

「す、すまん。痛かったか？」

「いいえ……今のはその……嬉しくて、つい♡」

「嬉しくて？」

「ん……ずっとだれにも会えなかったから、こうして強く抱きしめられると……つか

ささんと一つになつてゐるような、そんな気持ちになつて……♡」

桜色に染めた頬で目を見つめられた彼は照れ隠しにまどかの頭をぐりぐりと撫でる。

(……めっちゃ良い匂いする。花か、これ……)

彼の鼻にふわりと漂う花の香り。それは今現在彼に抱きついて頬擦りをするまどかの髪の香りであり、その匂いが戦闘直後の体を癒して行く。

そんな彼の体にまるでマーキングでもするかのように自身の体を擦り付けるまどか。土はそんなまどかが可愛くて、恥ずかしいと思いつつも好きにさせている。

(つかささん、彼女とかいるのかな？もしいなくなったら、その内付き合つて、おかえりとただいまのキスなんかしちやつて……♡)

そうして、まどかは心の中で想いを馳せる。それは、まどかの想像する理想の未来図。

『んっ、んゅく……んはあ……うあむ、っ……♡』

まどかは恥ずかしさも忘れ、貪るように彼の唇を味わう

『ふう……おいおい、まどかはキスを知つてからキス魔になつたな』

やつと唇が離れ、彼が若干息を荒くして言うと、まどかは自分の唇を舌でなぞつて笑顔を見せる。

『えへっ♡私をキス魔にしたえつちな人は誰ですか？♡』

『……………』

その言葉に彼は「自分です」と言う様に無言で目を逸らす。

『んへへ♡ちやくんと責任を取ってくださいね♡』

そう言ったまどかはまだ彼の唇に自らの唇を重ねるのだった。

それからまた暫くして、お互いの唇が離れると、まどかはまだで蕩けるような甘い声をもらして彼にしがみつく。馴れ初めの恥ずかしさは何処へやら、まどかはもう何も気にすることなく愛しの彼へ甘えた。

『はく、幸せです♡♡』

『なら良かったよ』

抱きしめ合った状態で言葉を交し、二人はお互い相手の腰に手を回したままの状態で見顔を合わせ、お互いの額をこつりと合わせた。

『私のこと、好きですか?♡』

『おう、好きだよ』

『大好きですか?♡』

『勿論、大好きだよ』

『くっ♡私も大好きです♡んく、ちゅっ♡』

まどかは何度も士の頬へついでむようなキスをした。士ははにかみながらもまどか

の頭を優しく撫で、彼もまどかの頬へ柔らかいキスを返した。

『んっ♡ふやんっ♡』

『嫌だった?』

『今のは言葉の綾です……嫌じゃないですから、やめないでくださいよっ♡』

まどかは抗議の意味で彼の頬に自分の頬を擦り合わせる。彼は笑顔で「ごめんごめん」と謝ると、すぐにまどかの頬へ幾つものキスをした。

『んっ♡あっ♡ひゃっ♡』

『まどか、ちよつと声抑えて……こっちも恥ずかしい』

『で、でも、気持ち良くて……あんっ♡』

『まどか……』

『あ、やめないでください!♡』

『で、でも、そんな声を聞かされ続けたらこっちももたないぞ……』

『いじわる♡♡』

その言葉が彼を突き動かした。まどかをその場で肩を掴んだ彼はまどかにこれまでとはまったく違う濃厚で熱いキスをし、そのまま……

「……あ、寝ちゃってる……………」

現実にも目を向けてみれば、彼はぐっすりと眠っている。先程まで戦っていたのはまどかも把握済みだ。

まどかは彼を横にし、自分の膝を枕に。彼の頭を優しく撫でる。

「ん…………♡♡こうやってみると、ちよつと赤ちゃんみたい」

そこでまどかは、最高の、神がかったアイデアを思いついた。それはそれはとつても甘く、官能的な考え。

まずまどかは、ふかふかの羽毛布団を創造、彼を包む。そして、土と抱き合う様に布団の中へ己の体を押し込んだ。

（ふ、ふわあ…………♡あつたかあ…………♡）

まどかは彼の肩口に顔をうずめ、思い切り深呼吸を繰り返し、存分に彼の匂いを堪能する。

（ん、良い匂い…………♡もつと、もつと♡）

まどかは寝ている彼にも存分に甘える。

ちなみに

716：名無しの転生者
静かになってワロタ

717：デイケイド（偽）
ああ〜クソ幸せんゴ

718：名無しの転生者
だろうな

719：名無しの転生者
イツチ、まどかちゃんを語る文をちやんと考えとけよ

720：デイケイド（偽）

>>>719

わかってまゝす

721：ダクソニキ

人間の屑がこの野郎共……（殺意）

722：名無しの転生者

>>>721

【朗報】ワイ、そもそも人間じゃないwwwwwwwww【乙】

寝ていると言うのは嘘である

「ていひひつ。ね、寝てるし、起きない、よね？」

（へ？）

刹那、土の唇に何か、柔らかい物が触れ、すぐに離れた。見ればそこには、頬を赤らめ、幸せそうに目を細めるまどかの姿が。

「くっつ♡」

725 : デイケイド (偽)

ア。

726 : 名無しの転生者

ヒューツ!

727 : 名無しの転生者

(???)

728 : 名無しの転生者

ウオオオオオオオオオオオオ (。D。) オオオオオオオオオオオオ

729 : 名無しの転生者

キスキタ ——— (。▽。) ——— !!

927：デイケイド（偽）

それでね、まどかちゃんの良いところと言ったらその小動物の如き可愛さだと思うんだよ。もしよもしよした喋り方もそうなんだけど、見た目めっちゃ儂い感じの雰囲気してるのにコツチに好意剥き出しでべったりな所とかが最高に尊い

928：名無しの転生者

ほーん

929：ダクソニキ

黙れマジで

930：デイケイド（偽）

で、その点を踏まえた上で欠かせないのが、寝てると思ってこっそりキスするっていい

うムツツリしてる所だね。今も肩にアゴ乗っけてるもん

931 : 名無しの転生者
は？死ねよ

932 : 名無しの転生者
しね

933 : 名無しの転生者
まーだ語ってるよコイツ

934 : デイケイド(偽)
心臓がバクバクいつてる。これが恋か

935 : 名無しの転生者
心臓発作だろ
さっさと死ね

936：ダクソニキ

月光大剣で致命してそのまま光波叩き込むぞ

937：名無しの転生者

誰か爆弾持ってこい

938：名無しの転生者

イツチだけ爆破してやるわ

939：名無しの転生者

ホーンテッドマンシヨンの1000人目の亡霊にしたるわ

940：名無しの転生者

NTRビデオかな？

保存しよ

9 4 1 : 名無しの転生者

>> 9 4 0

保存して皆が忘れた頃に貼るわ

9 4 2 : ダクソニキ

>> 9 4 1

しね

9 4 3 : 名無しの転生者

>> 9 4 1

本当に死ね

キレたアルまどちゃんがヤンデレになっちゃった話

FINAL ATTACK RIDE
DE DE DE DECADE

極オーレ!!

CYCLONEあHEAT
LUNAあJOKER
MAXIMUM DRIVE

『死ね、デイケイドオオオッ!!』

「死ぬのはテメエ等だクソツタレがあああ!!」

見滝原の、12時を下回る程の深夜。路地裏にて、デイケイドの振るうマゼンタの光刃が四色の光剣を弾き、極彩色の大光刃を滑る様に掻い潜りて、白銀色の鎧武・極アームズの装甲を削る。

その日、デイケイドは孤軍奮闘、戦い続けていた。と言うのも限界か、そろそろ振り続けた右腕も震え、使い物にならなくなってきた。だが、腕で斬れぬのなら、脚で蹴るまで。

デイケイドはライドブツカーを腰に納め、迫り来るダブルに向かつて跳躍。慣性を乗せた飛び蹴りを盾で防ぐが、勢いを完全に相殺することは出来ず、ピンボールの如くダブルが吹っ飛んで行く。その隙を狙い、背後からバナナスピアを構えた鎧武がその頭蓋を貫かんと突き出す。

その攻撃に対して、デイケイドは体幹を軸に回転。鎧武の槍を擦れ擦れで躲し、完璧な形で繰り出された跳び回し蹴りが鎧武の腹部に突き刺さり、鎧武がビルの壁に叩きつけられる。

『ガッ……!』

「へっ!随分と調子が悪いじゃねーか!!何だ?朝飯喰つてこなかったのかア!」

珍しく優勢な状況に調子付くデイケイドの頭蓋に銀色に輝く大斧、アックスカリバーが振り下ろされる。その凶刃が風を切る音で察知したデイケイドは横に飛び退いて回避。振り下ろした張本人、ウィザードを見据え、更に闘志を燃やす。絶対にコイツだけには負けたくない、と。

「デメエかあッ!!」

『我らが偉大なるショツカーの道に、貴様は邪魔だツ!!』

「知るかボケエツ!!」

勇ましくも邪悪で不敵な笑みを浮かべるデイケイド。相對するは、ショツカーより送られし三人の仮面ライダー。ダブル、ウイザード、鎧武。

獣の様に姿勢を低く保ち、指をコンクリートの地面に食い込ませ、クラウチングスタートの体制を取るデイケイド。後方にはダブル、前方にはウイザードと鎧武。

さあ、今日も今日とて悪者退治、今日も今日とて悪行三昧。伝説の魔女の降臨前夜にて、幾多と続く戦いの火蓋が切つて落とされる

事はなかつた。

『Malice learning ability』

「なっ!?!」

突如として、虚空からドス黒い濃煙が吹き出し、四人の視界を塞ぎ、動きを封じたのだ。直後、デイケイドの耳に仮面ライダー達の悲鳴が届いた。新手の第三勢力か? そう思ったデイケイドは身構える。だが、そんなことは無意味。デイケイドは後頭部をバールで殴られ、その意識を刈り取られる。

(まど、か?)

恍惚とした表情を浮かべ、上気した頬を歪める神を見ながら。

「ふふふふ…」

一撃で意識を落とされたデイケイドを抱き抱えながら、己の胸を満たす愛しさに溺れる。漸く、漸く手が届いたのだ。いつまでも無茶を続ける阿呆の首根っこ、それを漸く引つ掴めたのだ。後は、彼を彼の在るべき場所に連れて帰ればそれで良い。

嗚呼、帰ったら何をしようか。ずっと抱き合っていたい。一緒に風呂にも入りたい。美味しいものを沢山食べて貰いたい。頭を撫でて貰いたい。同じ布団で、少々肌寒いくらいの気温にして分厚い毛布の中で暖を取るのも良い。

「皆いなくなったら、頼ってくれるのかな？」

口端から垂れる涎を慌てて拭き、その拍子に、薄桃色のデイケイドライバーが目映る。自分のこめかみがビキリと軋む。

「こんな物さえ無ければっ…！」

そう呟いた彼女の五指がバックル部分を貫き、デイケイドからベルトを引き剥がし

た。露わとなったその痛ましい姿に、悲しそうに目を細め、その身を抱き、赤子をあやす様に囁いた。

「もう、大丈夫だよ」

「何が大丈夫だって？」

振り向けば、其処には北海道から来た魔法少女、綾目瑠璃がハンティングライフフルフォートナイトに登場するスコープのないスナイパーライフフル、主に中々遠距離で運用するのが一般的を向け、己を睨む姿。

…追い付いたのか。突如現れた邪魔者に不機嫌そうに目を細めるまどか。白いベツトを創造し、其処に愛しい人を寝かせ、頬に唇を落とす。

「ちよつと待っててね」

「…お熱いな。ちよつと羨ましいよ」

「…最初で最後の通告です。綾目瑠璃さん、貴女のこれ迄の功績に免じ、貴女だけは見逃します。他の者共と違い、貴女は緩やかな生涯を過ごせます。立ち去って下さい」

「…冥土の土産に教えてくれ。お前の目的は何だ？何の為にソイツを狙った？」

「……………全ての世界を滅ぼし、この人を傷付けないただ一つの世界を作る。其処でこの人は安らかな生涯を遂げる。…あんな怪我で、苦しむ事もない」

「……………あー、その部分だけは同感だな」

「返答は？」

まどかの機械的な問いに、瑠璃はわざとらしく目を伏せる。だが、目線は彼女の腰部分。その黒いベルト、その持ち主がよりにもよって彼女。

「……………へっ」

「……………」

それだけで、もう放っておく事は出来なかった。

「だが断るっ!!」

「なら死ね」

直後、まどかがロケットブースターをくくりつけた鉄筋コンクリートの柱にカチ上げられ、夜空にて滞空する。飛んでくる柱を弾き、見据えるは彼女が創り出した規格外の『アーマードコア A・C フロムソフトウェアが開発するメカアクションシューティング、『アーマード・コア』シリーズに登場する人型機動兵器。作中ではしばしば頭文字をとって「AC」と略される。』。

その機体は赤と黒のツートンカラーに配色されたボディ、ピリヤードの9番ボールを

モチーフにしたエンブレム。機体名、ナインボールセラフシリーズを通して『最強』の称号を持つ伝説的存在であり、プレイヤーにとっては「みんなのトラウマ」。だが、それは最早ナインボールでは無かった。右腕に超大型6連チェーンソー。左腕には外付けジェネレーター付きの巨大なキャノン砲を展開し、計130門ものパルスキャノンがその機体を覆い隠す。

《オーバード・ナインボール、全て正常に稼働中》

全武装が全てを焼き尽くす暴力で構築された赤い機体が恐るべきスピードでまどかに肉薄、右腕の赤熱した突撃剣をまどかに振り下ろす。

直前、まどかが行動を開始した。俯いた顔を上げ、その表情は何処までも冷たく、冷徹な無表情。それを赤と黒に明滅する瞳が瑠璃の根源的恐怖を後押しする。

バックルの上部に存在するスイッチに手を伸ばす。瑠璃は至近距離でパルスキャノンとキャノン砲を叩き込み、周囲が爆風に包まれる。その爆炎の中でまどかは呟いた。

「私が、あの人を守るんです」

『滅亡せよ』

『アークライズ』

そもそも、何故こうなったのか。いつから、まどかの中に「それ」があったのかはわからない。

「士さん」

「……んー？」

「……どうして、そんなになってまで戦うんですか？」

「そりゃあ負けれないからだろ。そもそも喧嘩売ってきたのはアイツらだし」

まどかの問いに、右目と左腕から緑黄色の蔦が生えた士が返答する。

右目を抉られ、左腕を切り落とされ、魔法で再生されない様にと鎧武の力で作られたヘルヘイムの植物に傷口を侵食されて、それでも戦う士に、まどかは問いかける。

「もう逃げよう？もう貴方が傷付くところなんて、見たくないよ」

「……………いや、逃げんよ」

「…何で」

その回答に、思わず士の服の裾を掴んだ手に力が入る。彼は彼の思うように生きるべきだ。あんな奴らの為に費やす物ではないと、まどかの心が燻る。

「だって、それじゃまどか達が死ぬじゃねーか。それに、アイツらのキツシヨい顔面に五発はブチ込むって目標もまだだし」

「だったら私が」

「それに、逃げたってどうにもならないと思うぞ」

「え？」

「どうせ逃げてても、シヨツカーは追ってくる。まどか達を殺してな。そうなれば今までやってきた事も水の泡だし、いつまで経ってもシヨツカーには勝てない」

それは流石にアイツらが可哀想ってモンだろ？と陽気に取り繕って話す士に、まどかの表情は更に曇り、裾を掴む手に一層力が込められる。

「なら、私がどうにかして見せます。シヨツカーが襲ってくるって言うなら、私が貴方を守ります」

「…………一言で良いんです。だから、助けてって言って」

「……………ごめんな、まどか」

「！」

声にならない、悲鳴が漏れた。

まどかが硬直した瞬間、土は逃げるようにその場を去った。仲間すら満足に守れない最低最悪の自分に、何より少女の想いを利用するような人間になど成りたくなかったのだ。

消えゆく彼に伸ばした手は、虚空を切った。彼女の手は届かない、彼女の献身は彼に届く事はない。現実世界に行った彼を見れば、綾目瑠璃との共闘でも防戦一方。時間を稼ぐ事しか出来ない。仲間である筈のまどか達が加勢すれば、幾らか戦況を回復させる事は可能だ。しかし、彼らはそれを選ばなかったのだ。

魔法少女では^{仮面ライダー}地球の記憶には勝てない。

魔法少女では^{仮面ライダー}永遠の輝きを止められない。

魔法少女では^{仮面ライダー}破邪の聖銀に届かない。

拮抗する事は可能だ。だが其処までだ。人を救おうとする優しい力を持った魔法少女は、壊す事に一辺倒のシヨツカーの送る仮面ライダーに敵わないのだ。大怪我を負え

ば、それを追求する彼女達の平穩が彼女達に牙を剥く。

だから彼らは彼女達を戦いから遠ざけた。迫るワルプルギスの夜に備えて、少しでも不安要素を残してはならないと。傷付きながら見滝原を守り、戦った。

まどかは、それが許せなかった。

「……………ダー」

「…ライ、ダー」

「仮面ライダー……………っ」

許さない。

まどかは土を追い詰める仮面ライダーを許さない。

まどかは甘い汁を啜るだけの魔法少女達を許さない。

「仮面ライダーツ!!」

『Malice learning ability』

いや、それだけでは駄目だ。

土から仮面ライダーという楔を取り払った所で、ショツカーの魔の手は何時だって何処だつて付き纏う。

士を傷付け、士を戦いに駆り立てるアレらを消さない限り安息は訪れない。
シヨツカーに騙され、彼を狙う者達を取り払わねば何処までも戦いは終わらない。
ならばどうするのか。

「決まっている」

安息を我が物顔で貪る腑抜け共を滅ぼすだけでは足りぬ。正義を掲げた狼藉者共を
滅ぼすだけでは足りぬ。

「全て、滅ぼしてやる」

『オール・エクステイニングシヨン』

その日、円環の理は悪意の沼に落ちた。

キレたアルまどちゃんがヤンデレになっちまった話：2

『オール・ゼロ』

直後、爆炎の中から赤黒い荷電粒子砲がナインボールに放たれる。放ったのは悪意の権化、仮面ライダーアークゼロ。

ナインボールは急加速、荷電粒子を擦れ擦れで躲し、一気に背後へ移動。けたたましい音と共に駆動するグラインドブレード正式名称は「対警備組織規格外六連超振動突撃剣」。6基のチェーンソーを右腕部を軸に円形に並べ、ドリルのように回転させつつ炎を撒き散らして突撃、相手は死ぬ筈。を前に構えて突撃。アークゼロの掌とチェーンソーが擦れ合い、不快音が見滝原の夜景に響く。

「ぐううううううつ………！」

『死ね』

ク ッ タ ア ス ア ニ I

ル I
・
エ
ク
ス
テ
イ
ン
グ
シ
ヨ
ン

「マジかよオイツ!!」

《オーバード・ナインボール、パージします》

(巫山戯んな!有り得ねえだろうがそんなのっ!!)

アークゼロは暖色系のオーラを纏った拳。それは確かに、仮面ライダービルドの技である。それをアークゼロが放った、絶対に有り得ない。技術や素材の出自、使い手、エネルギーの種類も何一つとして共通点がない。何故だ、何故それが使える？

そして瑠璃は、答えに辿り着いた。

(円環の理か!畜生っ!最悪過ぎる、よりにもよってこいつの手に渡るか普通ツ!!)

全ての魔法少女を救済する概念と呼べば聞こえは良いが、並行世界への干渉、歴史の改竄、因果を自在に管理する権能。明らかに悪用されたら不味すぎる要素の闇鍋状態の核爆弾。

それを今、人類の絶対的な脅威であるアークが手にした。無垢で無知な中学生でもない、人類を滅ぼそうとする超高性能の人工知能がそれを手にしたのだ。

《アームド・メリュジーヌ、オンライン》

(兎に角、コイツに行動する暇を与えるな翻弄し続ける少しくでも「クロックアップ」)

瞬間、瑠璃の頬を漆黒の拳が貫き、全方位から攻撃が降り注ぐ。タキオン粒子によって光速を得たアークゼロが、凡ゆる手段で瑠璃を殺しにかかる。

拳で殴り抜く。脚で貫く。荷電粒子砲で灼く。剣で、鎌で、包丁で、棒で、槍で、銃で、クロスボウで、扇子で、ハンマーで、盾で、斧で、杖で、魔法で。凡ゆる攻撃という攻撃が、瑠璃のバーニアを砕き、腕を、脚を消し飛ばす。

血塗れで、右腕一本しか残らぬ達磨擬きとなった魔法少女が、天空から堕ちて行く。それを冷ややかに見下すアークゼロ。

「さようなら、綾目瑠璃」

「……………へッ」

笑った、瑠璃が、もう人とも言えぬような有様の瑠璃が、笑った。何か、まだ策があるのか？

アークゼロは思考する。何か奴に出来る事があるか？不明、翼も手脚も砕き、残っているのは最早腕とも装備とも判別し難いボロボロの腕が在るだけ。

腕が、在るだけ？

アークゼロは気付いた。此処は見滝原の遙か上空。綾目瑠璃は落下している、自分は

それを見下している。つまり、自分が瑠璃よりも上にいる。という事はつまり、この状況で奴が何をしようと、街には一切の被害がないという事。

「——ッ！小賢しいっ！」

『推奨、退避』

「誰ホロウハートも知らぬ、無垢なる鼓動アルピオンっ！」

黄金の極光が、アークゼロを包む。臨界点を突破した膨大な魔力の塊が、アークゼロの装甲を灼き融かして行く。

綾目瑠璃は、確かにアークゼロに敗北した。だが、瑠璃は確かに、アークゼロに一矢報いたのだ。

「ぐぎぎくっ、お、重い〜！」

「本当に、馬鹿よっ。こんなボロボロになっつっ」

その激闘の遙か下、見滝原の路地裏で、士を心配して後を尾けた美樹さやかと半泣きのバママミが気絶した士を背負って運ぶ。

さやかは日頃から士に負い目を感じていた。仮面ライダーに勝てない自分達を守り

傷付く士と瑠璃に対して、自分は何をしたとずっと自分に問うてきた。

ママは自分を仮面ライダーから庇って目を抉られた日から、彼に負い目を感じていた。無力な自分達に出来る事をずっと求めていたのだ。

「わっ!?!」

「あ、綾目さん!?!」

「よー、夜更かしは美容に良くないぞー」

えっちらおっちらと運んでいると、ゴミ捨て場に、血塗れの瑠璃が居た。いや、本当に何をしているのか。

「時間がない。行くぞ」

「ちよっ、怪我人なんだからもうちよっと慎重に運ぼうよ」

「本当にヤバいからお説教は後にしてくれ」

俵を担ぐ持ち方で土を運び、非難する二人をアーセナルに突っ込んでママの家まで運ぶ。

玄関で二人をおろし、ドアを開ければ、鹿目まどか、暁美ほむら、佐倉杏子の三人が立っている。無理もない、上空であれだけの大騒ぎをしたのだ。音が地上まで響いたのだろう。

「……………悪い、起こしちまったな」

「……うん、いいの。でも、明日は頼ってね」

「残念だが、明日は頼るどころの話じゃなくなってきた」

「———という事だよ。まさかワルプルギスの夜までお前らだけでやろうなんて」

「理由は後で話す。ちよつとコイツ運ぶぞ」

不服そうな杏子の批判をいなして、リビングのソファに土を寝かせる瑠璃。五人をテーブルに集合させる。

「杏子、窓見といってくれ。おかしい物を見つけたらすぐに知らせろ」

「お、おう」

「……やけに切羽詰まってるわね」

「それ程の「おい」………何だ」

杏子の早過ぎる報告に、若干察しつつも何を見たのかを問う。どうか、ただの蠅でありますようにと願いながら。

「空に、なんかあるぞ」

「………嗚呼、クソツ!!」

予想通りの最悪の答えに悪態を付いた瑠璃が勢い良く窓を蹴破り、外に飛び出す。その夜空に一点、赤く光るアーケゼロ。

瑠璃はサインボールを展開しつつ家をバリアで覆う。直ぐに割られるだろうが、無い

よりはマシンだと自己完結しながらアークゼロに一人で突貫する。

両腕をクロスさせてアークゼロの放つ荷電粒子砲を防御。だが数秒と持たない。ナインボールは粒子砲に耐えきれず爆発四散。その爆炎に乗じて、瑠璃が上空に飛び上がる。

センチネルAPEXに登場する一撃の重さが特徴的なボルトアクシオン式のスナイパーライフル。を両手に持ち、空中でアークゼロに向けて連射。しかしアークゼロには効果が無い。弾丸の雨の中を突っ切り、胸部装甲に格納されたソウルジェムを狙った貫手を突き出す。

「ふっー」

瑠璃は身を振りそれを回避。レギオンアストラルチェインに登場する生体兵器。五種類のスタイルがあり、敵との戦闘時には、「同じ敵に同時攻撃する」「別々の敵に攻撃する」などレギオンが連携しながら戦うことになる。と連携したカウンタージャストレギオンにアークゼロを拘束。そのまま落下しながらレギオンと共にパイルハンマー工房の異端「火薬庫」の手になる異形の「仕掛け武器」

古い狩人デュラの愛用武器としても知られる

複雑な機構により、ごく太い杭を叩きつけるように打ち出す

一撃必殺の武器であり、隙も大きく、使用難度は高いを叩きこみ、二人はそのまま地

面に叩きつけられる。

「おーい！無事か——」

その次が続く事は無く、瑠璃は直ぐ様駆け出した。理由は遠方で士を含めた六人を圧倒する一人の世紀王が居たからだ。

世紀王、シャドームーン。

「シルバーガード」と呼ばれる強化外皮に覆われたメカニカルな外観が特徴的な世紀王が、サタンサーベルでデイケイドのライドブツカーの刀身を意図も容易く両断。そのまま肩に突き刺す。

それを見たさやかとマミが怒りの表情と共にシャドームーンに迫る。しかしシャドームーンはサタンサーベルを引き抜くと同時に鎌状の光線で二人を撃ち落とす。

次に、シャドームーンがほむらに向かつてサタンサーベルを振り下ろす。ほむらはそれを時間停止で回避、その合間に放たれた銃弾が雨霰とシャドームーンに降り注ぐが、強化外皮はそれを通さない。

現場に瑠璃がトニトルス医療教会の工房で変人として知られた

アーチボルドの手になる独特の「仕掛け武器」

この奇妙な鉄球の槌は、マッチのように擦ることで

黒獣が纏うとされる青い雷光を人工的に再現するでシャドームーンの横腹を殴り抜

くが、これも駄目。反撃のサタンサーベルが瑠璃に振り下ろされる。瑠璃はこれを敢えて受け、左肩から入ったサタンサーベルが右腰辺りで止まる。隙を突いたアームレギオンのアッパーがシャドームーンの顎をカチ上げ、ブースターの付いた右腕で殴り飛ばす。

直後、体勢を整えたシャドームーンが突然退いて行く。持ち前のジャンプ力を活かして、突然、撤退し始めたのだ。

瑠璃を除いた六人は困惑する。一体何がしたかったのか、と。だが瑠璃は違った。瑠璃は何ともなしに最悪を想定し、模索した。そしてアークゼロのいた方を見た。見て、しまった。

『最適な結論を出力』

大地に刻まれた魔法陣。鹿目まどか円環の理から注がれる魔力。そして――

――素に宙と命。礎は、全てを救う円環の理。甘露を啜る者に死を。抗う者は殺し、抑止を超え、虚に乗ずる卑怯者共は死するがいい。

聞き覚えのある詠唱分身。英霊召喚だ。

それに気付いた瑠璃がカプセルを六人に放りながら最悪の事態鹿目まどかに向かって駆け出した。

（やめろ、やめろやめろやめろやめろやめろっ！）

両手に持った回転式のロケットランチャーから無数のロケット弾が放たれ、円環の理鹿目まどかの攻撃と魔法陣の破壊を同時に試みるが、シャドームーンと有刺鉄線で雁字搦めにされ、血塗れになった美樹さやか円環の使者がそれを許さない。

—— 滅びろ。生きよ。 滅びろ。生きよ。 滅びろ。生きよ。 滅びろ。生きよ。

—— 繰り返す都度に五度、満たされし時を破却する。

—— *A n f a n g*

「クソツ、クソがあつ!!」

詠唱が止まらない、魔法陣の破壊も出来ない。召喚の手順のみが着々と進んで行く。遂に自棄で呟いていた愚痴が瑠璃の口を突いて出た。

そして遂に、詠唱が完了する。魔法陣が扉の如く開かれ、どうしようもない絶望が顔を出す。

「やめろ、ソイツは、ソイツだけは——」

—— 汝三大の言霊を纏う七天、抑止の輪より来たれ、天秤の守り手よ——

！

「召喚されるは最強の単独種^{アルテミット・ワン}。100メートルにも及ぶ巨大な蜘蛛の様な、正真正銘の怪物。膝を付いた瑠璃はそれを、全てを諦めたその目で見上げる。

遠いマルチバースの地球では、この存在をこう呼ぶらしい。

One Radiancance Thing。
輝ける唯一のもの。

ORT、と。

キレたアルまどちゃんがヤンデレになっちまった話：3

『か、かひゅっ……』

『お、おごえっ……』

いつの日だったか。真夜中の見滝原で、シヨツカーが送りつけた仮面ライダーと怪人達を相手に戦った。その日は特に激闘だったのを覚えている。イツチと俺がその辺に倒れ込んで、立つこともままならない状態だった。

二人して大の字に寝転がった状態で、イツチが俺に話しかける。

『…なあ』

『何だ』

『左腕から生えてるこの実ってさ、美味いんかな』

『洒落にならん、人間やめる羽目になるぞ』

『うえー…』

ヘルヘイムの植物。それは確か、惑星を転々と周り、その文明を食い荒らしたトンデモ植物だった筈。その実を喰えば、殆どの場合には理性無く暴れ回るインベスに成り果て

る。しかも視界に入ればそれが誘惑になり得るのだから一層タチが悪い。

それが今、イツチの体を蝕んでいる。魔法少女が魔力を用いてそれを癒そうとすれば、用いられた魔力に反応して肉に張った根が肉を掻き回して回復を妨害する。よく出来たシステムだよ、それでも戦おうとするこの馬鹿にも驚いたが。

『なあ』

『何だ』

『鹿目達って、ちゃんと学校行ってるよな』

『そうだな、お前の分身達が頑張って行かせてるよ』

『…せめて普通の暮らしして欲しいな』

『十数年後にやえらい事になってるがな』

『確かに』

杏子以外は皆学校に行っている。俺達が居なかったら、不幸もあるが、平凡な人生になつてたのだろう。いや、どの道宇宙から来た害獣と契約して、ほむらが時間を巻き戻していただろうし、特に変わったこともないか。

『なあ』

『何だ』

『アイツらをどうにかしたら、オススメのロボゲー教えてくれよ』

『辞めろ、フラグ染みた事言うな』

本当に、死亡フラグの効力は凄いなぞ。

…でもまあ。

『いいぜ、ちよつと未来に行つて色々仕入れて来て貰うがな』

『へへ、やったぜ……あ、やべ、マジに目が霞んできやがった』

『オイオイオイ、死ぬわお前』

『は？アンタのガンブラ？んな物捨てたわよ。ゴミを家に入れないでくれるー？』

これは…何だったか。

『ガキみてえな趣味してるテメエが悪イんだろ』

ああ、前世の記憶。つまりは前世の俺、何も出来ないさつきから流れてるのも含めての走馬灯か。

我ながら随分趣味の悪い脳味噌を持った物だ。

『おかーさん！おにいちやーん！アイツがまたきもちわるいのつくつてるー！』

で、これは妹か、可愛がられてる癖して随分不細工だ。もつとこう、可愛く産めなかつ

たのか？ああ、素材が悪かったのか。

遠く年の離れた妹は、その無体な頭脳と歳ではまだノックという文化を理解出来ず、いきなり部屋に押し入っては家族に告げ口する。

そしてさつきも言った通り、物凄く不細工だった。これを見ているお前らが良く思い浮かべるチー牛をより酷くしてTSさせたとしても言えばわかりやすいだろうか。顔が良ければこの走馬灯もまだ美化出来ただろうに、俺の人生に於ける二番目のケチの付け所と言えるだろう。一番は生まれてきた事だ。

『そんな下らない人形で遊ぶんじゃない！』
「まったく、グズグズグズ泣きやがって女かお前は！」

そして最後のメンバーは意外にも祖父だ。小さい頃は気付かなかったが、中々の不細工だ。妹があそこまで不細工になるのも頷ける。今は亡き祖母よ、何故これと結婚出来た。そして何故ヤれた。

まあ、タバコが原因の肺癌でぽっくり逝くような奴だ。もし生きていても俺の人生はそこまで変わらんだろう。因みに父親はキャバ嬢とどっか行つた。いつそ俺も連れて行つて欲しかった。

祖父は生粋の日本オタクだった。自分で言つてよく分からんが、軍艦だの愛国心だの大和魂だの鬼畜米英だの先祖代々の訓示だの、今改めて聞いたのをそのまま出力する

と今どき珍しいステレオタイプの昭和脳の老害って感じた。

あれだ、俺がお前ら位のときはーって奴だ。そりゃ巨大ロボットなんて俗物が大嫌いな訳だ。

しかし五月蠅い。何が先祖代々の土地を継いだ。お前何もせずに居間で酒飲みながらテレビ見てるだけだろ。

知ってるんだぞ、お前が肺癌で苦しんでる祖母を放置して死なせた所為で団地の家賃払えなくなつて家に転がり込んできたんだろが。先祖代々の土地団地やんけ、俺にどうしろつてんだ。

『ねえ聞いた？あそこの家の子、ガン普拉作つてたらしいのよ』

『えく…？内気で気味が悪いと思つたらそう言う事だったの…。将来強盗とかしなきゃいいんだけど』

『ホント嫌よね』

『なあ、アイツガン普拉作つた挙句母親にバレて捨てられたんだつてよ！』

『えーマジ？キモ〜w』

『やべー！犯罪者じゃん犯罪者！』

『ママにキツモイガンプラ趣味阻止されてどんな気分でちゆかー？オタクくーん？』

家で生きれば母と弟とブス妹と老害のよく出来た連携。それで外に出れば平成初期特有のオタクに偏見を持った奴らが主犯、担任監修のいじめ。

何処へ逃げてても人、人、人。

本当に、現実つてのは碌な事がない。人だつてそうだ。だから益々俺はロボットのめり込んでいったし、だから酒に溺れた。俺が二十になり、有金抱えて家を飛び出した次の日に出会つたのは、酒に溺れて何も考えなければいい。そういう擦り切れた悟り、それだけだった。

真夜中の畦道を、通帳と飲み物片手に走る走る。そんで二十秒も保たずにバテた。其処に話しかけたのは、こつてこての屋台で酒を飲んでいた酔っ払いだった。

『兄ちゃんどうしたのー？そんな大荷物で走つてえ』

『え？いや言う程大荷物つて訳でも』

『いいからこつちや来う、一杯奢つたるからあ』

『あ、はい』

酔っ払いの扱いは祖父で心得ていた。と言つても話の通じない相手には取り敢えず従うだけのしよっぱい処世術だったが。

それで俺は奢ってもらつた酒をひと啜り。

衝撃だった。

今迄は酒を寄生虫か何かだと思っていたが、ここまで気持ち悪くなるとは思わなかったし、ここまで人の思考を奪う飲み物だとは思わなかった。

『そうか、考えなければいいのか』

『え。兄ちゃん、何かとんでもないこと言っちゃってるよー？え、ちよ、兄ちゃん!? 一口でいいの!?! 兄ちゃん!? 兄ちゃん!?!』

転生した後も変わらなかった。嫌な事を思い出しそうになったら酒。何か嫌な事があつた日には酒。金に困らなくなったのでタバコも。最初はとんでもなく咽せた。二度とやらないと誓った。二週間後にはハマってた。

ストレスの上から快樂で押し潰してしまえば不幸もクソもない。全部酒で押し流して仕舞えば良い。そうして今まで過ごして来たし、これからも変わらないと思つてた。

『あの、綾目さん』

『んー?』

その日は確か、揃いも揃って用事用事で、バマミと一緒に帰っていた日だった。

『綾目さんってその、ロボットとか好きなんですか？』
(…やべえ、バレたか?)

見滝原に来てからは機械系は使わなかった。その年代はオタク趣味に偏見があった時代なのもあって、軽蔑されるのが嫌だったし、それが不和の元になって状況が悪化する事も考えられた。

……言い訳だ。俺は恐れた、怖かったんだ。これ以上自分の趣味を、夢を馬鹿にされるのが怖くて。自分の自尊心を踏み躪られるのが怖くて。前世の自分みたいに、恥を掻きたくなくて。だから隠した。

『…だったら悪いかよって、うおおっ!』

『やっぱりそうだった!』

『どういう意味だ!ちよ、降ろせ!』

その事を認めた瞬間、感極まった表情でママは俺を抱き上げた。

馬鹿にされるかと思った。貶されるかと思っていた。全部覚悟の上で生きてきて、その実全部予想外だった。

『カッコいいものね!今まで散々わかって貰えなかったけど、やっとわかる人に会えたわ!』

『』

前世以来の衝撃だった。まさかロボット趣味が理解できる人類が本当に存在するとは思わなかった。オタクに優しいギャルと同じだ。存在しない、したとしてもそれは気を遣ってるか仕事パパ話の類かの二択だと思っていた。

だが、空想の産物だと思っていた存在は今ここにいる。嘗て俺が生きていた世界では到底あり得ない、他者を慮れる人間がこの世界にはいる。

『バمامミ、さん』

『な、何かしら?』

その日から、

『産まれてきてくれて有難う』

『ふあっ…!?!』

酒は一滴たりとも飲まなくなつた。

本当に、嬉しかったんだ。

「あ」

口から意味のない言葉が漏れた。目の前には眩い光を放つ黄金のORT。走馬灯が終わった。現実に引き戻された瑠璃の意識は、無慈悲な現実を瑠璃に突き付ける。

放たれるは太陽風。全てを焼き溶かし、人類を守る為の機構であるグランドサーヴァントの攻撃が迫る。

「…はは」

「お前、どんだけ俺の事嫌いなんだよ」

自分の脳にそう悪態を吐いた瑠璃は、迫り来る死に恐れる事は無く、頭を垂れ、目を瞑り、静かに終わりの時を待つ。

「S M A A A A A H H H H H H H H H H S H !!」

その太陽風は、その少女の拳で掻き消された。

「は」

「失礼!」

「え、ちょよ」

その瞬間、瑠璃を抱えた少女は遙か上空に跳躍。直後に瑠璃の目に映るのは、きめ細やかな金髪。その耳を震わせるは、快活な少女の声。

「もう大丈夫！何故って!？」

「我々が、来た!!」

その身に纏うは自由を象徴する青いコスチューム。背中に大きく広げられた純白のマントが二人を覆い、大きな影を作る。

外国人を想起させる金髪のロングストレートヘア。前頭部から突き出たV字型のアホ毛が何とも言えない陽気さを醸し出す。

「少年！この子を頼んだ！」

「ガアツ！」

魔法陣を背に構え、風の魔法で空を飛ぶヒクイドリがパスされた瑠璃を華麗にキャッチ。そのままデイケイド達が逃げた方向へ飛び去って行く。

グランドフォーリナーに対抗するのは平和の象徴。数多の世界を股にかけ、悲劇を消し

去る転生者狩り。その信奉者。名はオールマイト。

「行くぞ、愛子少女!!」

「はいはい!!」

——
 B a l w i s s y a l l n e s c e l l g u n g n i r t r o n
殺 戦 ま で の ウォー ム アッ プ

ORTを相手取る事に、一人で立ち向かうのか。否、人手は有ればあるほど良い。

天に向けた彼女の指先から眩い光が放たれる。光は無数の魔法陣となり、其処から無数の転生者が出現する。

並行世界の運営、多くを認める根源的力の発現。即ち、第二魔法。

本来、転生者は様々な並行世界に居る。台所の水回りを覗いた時の悪魔の様に、大きな石をひっくり返した際の虫の様に。世界を駆ければ転生者は其処に居る。

その並行世界に、円環の理を手に入れたアークはその全てに侵攻を開始した。これが何を意味するか。それは即ち。

アークにとって、最悪な事態が発生したと言う事だ。

「クソっ、変し、がぼっ」

「おじさんっ!」

「フハハハハッ! 皆の者! 今こそがデイケイドを討ち取るチャンスだーっ!」

一方その頃、士を含む六人は、アークの侵攻に便乗したシヨツカーの大群に囲まれていた。士は変身しようとするも、これまでの疲労が祟り、血を吐いてしまう。

先頭にはキューブリカンと蜘蛛男、シユバリアンにテラードラゴン。その後には戦闘員達が大群を成して迫り来る。その群れに恐れを抱く事無く、五人の魔法少女達が士を庇う様に前に躍り出る。

「おい、駄目だ逃げろっ!」

「嫌よ、貴方が死んだらまどかが悲しむじゃない」

「ごめんなさい佐藤さん。私達だって戦える。いえ、此処で戦えなかつたら、私達が何の為に魔法少女をやっているのか。本当にわからなくなってしまうの!」

「テメエが死んだら、ラーメン奢る約束はどうすんだよ!」

「わ、私達だって、戦えるっ！」

「おい！待て、クソツ!!」

士の話は届かず、四人はシヨツカーの大群に突撃して行く。ほむらの銃撃がキューブリカンに雨霰と降り注ぎ、杏子の多節棍による連撃を蜘蛛男は回避する。まどかの放った矢は魔法陣へと変わり、其処から無数の矢の雨がテラードラゴンへの集中爆撃となる。バマミのマスケツト銃とシユバリアンの鉤爪がぶつかり合い、発生した火花が戦場を彩った。

「く、来るな……このっ！」

さやかは震える刃で、シヨツカー戦闘員を振り払う。だがその刃は、引き腰に振るうだけの刃。

当然の事であった。さやかは力ある魔法少女であれど、心優しき一人の少女。魔女を相手にするなら、怪人を相手にするならいざ知らず、人の面影のある戦闘員が相手では躊躇してしまう。人かもしれない、その事が鎖となつて彼女の心を縛るのだ。

人を殺す事に躊躇してしまう少女が、悪しき輩共に襲われ、その命を絶たれようとしている。か弱い幼子が、その白い手を血で染めようとしている。本来、人としての人生を謳歌すべき若者が、血生臭い戦いに足を踏み入れようとしている。

許せる筈もなく、その男はさやかの手を掴み、その道を阻む。

「その様な振り方では敵は斬れぬぞ」

「だ、誰!？」

「まあ、見ておけ」

怯えた様子のさやかにそう言い捨て、その男は太刀を構える。その身に纏うは漆黒の鎧。風にたなびく鳶合羽が大地に影を作る。その面頬の銘は武士ものぶの怒り。

構えたままぴくりとも動かぬその侍に痺れを切らした戦闘員が槍を突き出す。それが蹂躪の始まりであった。

居合いを繰り出す。槍を突き出す寸前で、その者は生き絶えた。その光景に怯んだ一人の背後へ回り込み、脇差うなじで頂を一突き。

瞬く間に三人を連殺。その大群目掛け、火花を散らす光球を投擲。対馬を脅かす鬼畜共、蒙古が使う鉄炮てつぱうが爆発し、二人の戦闘員が火達磨となつて事切れた。

その隙を突き、さやかと士に向かう戦闘員達。当然、その男が間に割り込む。その程度の事は織り込み済みだと言わんばかりに各々の武器を振り上げ、振り下ろす。

対して男は、刀の切先を天に向け、大きく掲げる。その背中を見ていたさやかは不審に思い、考えた。何をしているのだろう、と。

その刀を用いて攻撃を防ぐ。否、ならばその刃を水平に構え、迫る凶器に備える筈。それよりも先に全て切り倒す方が早い筈。

ならばその刃を持って敵を斬り伏せるか。これも否、ならばその刃を同じく水平に構え、一気に全てを斬り伏せるが早い筈。

考えている内に、答え合わせの時間が来た。男が両手に掲げた刀を一定の、肩の近くまで下げる。

瞬間、世界が変わる。赤く染まり、全てが灰色に、色を失った。

さやかの中には、確かにそう映った。灰色に変わった世界で、全ての生き物がその男を恐れ、その動きの一切を放棄する。

まさに歴史の闇に隠れたる英雄にて、此度は怪異をば討ち祓ふべく、昏き冥府の底より境井家が武士なる依代を得て現るるなりけり。

武士の道より外れ邪の道を突き進むはひとへに弱きを護る為。

—祖国を救う為に、我、ここに在り—

構えたるは極みの邪道。冥人の型。

「怪異共！よく見ておけ！」

「退け！退かぬなら此処が墓場だ！」

言い放ちながら破竹の勢いで戦闘員を斬り捨てる冥人。だが、一人ではいずれその数の暴威に晒され、死するだろう。

だが、彼はこの戦いに、無謀にも一人で赴いたのだろうか？

否、否である。

「各々方、一人として怪人を生かしておくな！」

冥人の言葉を皮切りに、上空から、戦闘員の背後から、魔法少女と怪人の間から、無数のオーロラカーテンが展開、そこから転生者達が次々と現れ始めたのだ。

「クハハハハハハッ!! 流星の貴様も、こうも縛られては身動きもとれまい！」

「ちっ！」

「さあ、死ねい！」

「待てーッ!!」

最初こそ蜘蛛男を圧倒していた杏子の槍は蜘蛛糸に絡め取られ、このまま本人も成す術なく翩り殺されるその時、蜘蛛男の後頭部が蹴り飛ばされる。

「怪人蜘蛛男！お前の相手はこの俺だっ！」

「な、何者だ貴様ッ!!」

「地獄からの使者、スパイダーマッ!!」

「…罅が開かないわね」

「曉美ホムラ、覚悟ツ!!」

ほむらの銃撃は怪魔ロボット、キューブリカンの装甲を破壊できない。キューブリカンの射撃は時間停止を持つほむらに当たらない。完全な泥試合と化していた。

その時、上空からの雷撃がキューブリカンを襲う。それに驚いたほむらは上空を見上げ、その姿に微笑んだ。遥か上空から、大声を張り上げる瑠璃と、瑠璃を背中に乗せるヒクイドリの姿が。

「待たせたな、曉美!」

「ガアーツ!!」

「前々から思っていたけど、堅い奴が多すぎじゃないかしら……!」

「貴様ノ射撃ガ貧弱ナダケダ」

マミとシュバリアンの戦いも、ほむらと蜘蛛男の戦い同様に泥試合と化していた。マミのマスケットはシュバリアンの装甲に歯が立たず、シュバリアンの攻撃はマミに当たらない。

其処に、一つのオーロラカーテンが現れ、奇怪な大男が姿を表す。190センチを超

すであらう身長、丸太の様な手足、ライオンの鬣のような赤色の怒髪をオールバック。黒のカンフー着、カンフーシューズを身につけたその姿は、まさしく地上最強の男、範馬勇次郎の姿。

だが、それは範馬勇次郎ではない。それを決定づけるのは、頭頂部にある金色の狐耳、そして腰から生える九本の尻尾。

「急で悪いが選手交代だ、若いの」

「あ、貴方は？」

「キ、貴様！何モノツ」

瞬く間に音もなくシユバリアンに接近した男は、優しくシユバリアンの頭に手を添えた後、そのまま押し潰した。マミがいくら攻撃を加えても傷一つ付けられなかったシユバリアンが煎餅の如く平たく潰されたのだ。

啞然とするマミ、その男はこう告げた。

「どんぎつねだツ!!」

「…??…??」

「時間がない、一足先に避難するぞ」

「そ、そんな！皆を助け」

「時間が無いと言っただろう。良いぞ、送れ」

「ちよっ」

「はあっ、はあっ……」

全身に擦り傷の付いたまどかは、上空を高速で飛び回るテラードラゴンに狙いを定めて矢を放つ。しかし、全て回避され、反撃の突進をモロに喰らってしまう。

「ぐ、ああっ！」

吹き飛ばされるまどか。その先には戦いの最中で山の様に積み上がった瓦礫。この風を切るようなスピードで瓦礫に衝突してもその衝撃に耐えられるかもしれないが、衝突時の硬直を狙った追撃が来るかもしれない。まどかは少しでも衝撃を和らげようと自分の身体を丸める。

衝撃に備え身体を強張らせると瓦礫に衝突するよりも早く身体をグイッと強く引つ張られ誰かに抱き止められた。

「……ほえ？」

「よし、ギリギリセーフ。怪我は…酷いな」

黒いタキシードに身を包み、髑髏を模した黒い仮面を付けたその少女は、迫り来るテ

ラードドラゴンに向かって歩き出した。それをまどかが止める。

「だ、駄目だよ！早く逃げて！」

「大丈夫だとも、何故って？」

首を噛み千切らんと口を開いて迫るテラードドラゴンの牙を掴み、吹き飛ばしながら、その少女はこう囁いた。

「僕がいる」

——
虚式『』 + 火葬砲

熱線を内包した紫色の質量の前に、テラードドラゴンは消滅。その球体はそのまま上空の雲を貫通し、彼方まで飛んで行った。

「す、凄……！」

「時間が無いんだ、その怪我を治したら直ぐに避難しよう」

「ま、待って下さい！」

「愚痴はあつちで聞こうかな、ごめんね？」

「だ、駄目」

「DETROIT SMASH!!」

「そおい!」

極彩色の太陽風を突っ切り、オールマイトの拳がORTの頭に、愛子の銀腕がORTの肩に叩き込まれる。粉碎され、新しいコンセプトを元に即座に再生される。

「ええい13回目!流石に効かなくなってきたな!」

「そんな貴方に朗報!」

「おっ!何かな!?出来ればこの状況が良くなるニュースだと嬉しい、なっ!」

ORTの放つ重力波を紙一重で躲したオールマイトに、愛子が受信した内容を報告する。

「皆救助完了!怪我とかしつつも全員無事だよ!」

「成程!せいっ!!」

ORTの胴体をX字に切り裂くオールマイトの背中を踏み台に、愛子がORTの側頭部に獄鎌を抉り込む。

「じゃあそろそろこっちも隙を見て——ん？」

「うくん、見間違いかな？アレって——」

上空から何か、黄金色の金平糖の様な物質が、無数に降って来ている。

「種火じゃね？」

「……………」

——
靈基再臨

——
靈基再臨

——
靈基再臨

——
靈基再臨

——
聖杯転臨

種火を取り込み、最終再臨と化したO R Tは100メートルにも巨大化した姿、ビーストモードに変化。

「…………あれ？もしかして勝ち筋消えた？」

「……………」

【U A 1 0 0 0 0 突破記念】 魔神発狂大悪デイケソウ ル：上

素に、銀と鉄。礎に、石と契約の大公。

其は神の火を継ぎ、或いは闇の時代を切り拓く者。

? 降り立つ風には壁を。四方の門は閉じ、王冠より出で、王国に至る三叉

路は循環せよ。

?? 閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。

? 繰り返す都度に五度。?ただ、満たされる刻を破却する。??

A n f a n g

?? 告げる

告げる

? 汝の身は我が下に、我が命運は汝の剣に。聖杯の寄るべに従い、この意、

この理に従うならば応えよ。??

誓いを此処に。我は常世総ての善と成る者、我は常世総ての悪を敷く者。

??

されど汝はその眼を混沌に曇らせ侍るべし。汝、狂乱の檻に囚われし者。
我はその鎖を手繰る者。??

人理の轍より応えよ

汝星見の言霊を纏う七天

糾し、降し、裁き給え

天秤の守り手よ

!

「…む？」

『す、凄いぞ！正体不明ではあるが、英雄王クラスの霊基数値を検知している！やったね藤丸君！戦力的にはこれ以上の札はないぞう！』

召喚サークルの上に銀色の鎧を纏った騎士が降り立った。足元を見れば地面に描かれた魔法陣と、その上に触媒と思われる大楯。その上に自分が立っている。

ああ、またか。と騎士はこの状況に辟易した。というのも、この様な事態は初めてでは無い。

英霊召喚である。

歴史上の英雄をサーヴァントという形で召喚し使役する。主に聖杯戦争にて行われる儀式。

英雄であるかは不明だが、自分は不死人故幾度となく死んでいる。そして篝火へと還るのだが、極稀にこうして召喚されるのだ。

「あの…」

さて、今度は第何次聖杯戦争なのやら、などと考えている騎士に、紫色の鎧に身を包んだ、儂げな印象の少女が話しかける。

「召喚に応じて頂き、ありがとうございます。私はマシユ・キリエライト。先輩、藤丸立香と契約したデミ・サーヴァントです」

「私達はこの特異点の調査を行い、レイシフトにてカルデアへの帰還を計画しています。ですが、ここには既にエネミーが多数巡回しており、戦闘経験が皆無な私達では、帰還が困難と予測されます」

騎士が向こうを見れば、山吹色の髪をサイドテールに伸ばした快活そうな雰囲気少女が、通信を介して何者かと会話している。

「どうか先輩と私に、力を貸していただけませんか？」

真つ直ぐな要請。打算など微塵も感じさせない誠実な物言い。

「うむ、任された。特異点からの脱却。その足がかりを築いてみせよう」

要請を受諾する騎士は、心中で頭を抱えた。

人理焼却は無理ゲーですやん。

「…あん？」

燃え盛る冬木市にて、佐藤士が目を覚ます。

………はて、ここは何処だろうかと、士が心中で呟く。

自分のはあの^糞仮面^たライダー^れウィザード^鼻を^糞殴り飛ばした後、意識を手放して

………

「え、待って俺死んだ？」

地獄にしては都会が過ぎるし、天国にしては地獄が過ぎる。士の脳裏に呑気な感想が浮かんた。

「…んで、この先どうすつかねえ」

そう呟いた刹那、背後にてカラン、と音がした。わーい、第一村人だー。などとこれ

また呑気なテンションでくると音のした方を見ると、其処には骸骨の兵士が己に向かつて剣を振り上げていた。

一瞬だけ凍結した思考回路をフル回転、その場から飛び退いて剣を回避。そして流れる様にダイケイドライバーを装着して、ライドブツカーから自身のカードを取り出す。

「変身」

K A M E N R I D E D E C A D E

光に包まれた直後、未知の鉱石であるダイヴァインオレに包まれた右拳が骸骨兵士の頭を貫く。

自分が何故、何かあってここに居るのか、あの後、あの二人はどうなったのか。疑問も不安も降つてやまないが、今は、今は取り敢えず負けた憂さ晴らしがしたい、その後はどうにでもなる。そう決めたエメラルドグリーンの複眼がきらりと光り、悪魔の邪悪な哄笑が辺りに響く。

「ギャハハハハハハハハハッ!!」

見れば、優に五十を越えるであろう骸骨の大群。だがしかし、マゼンタの悪魔は、臆さずにその大群に突貫。両拳のラッシュで、まず八体の骸骨が碎け散る。

続き、背後から飛びかかってきた二体の骸骨がディケイドの肩に齧り付く。しかし効果はない。ディケイドはその二体の頭を握りつぶし、骸を投げ飛ばして六体の骸骨が巻き込まれる。

大きな曲剣を持った一際大きな骸骨がその剣を振り下ろす。だがその剣はディケイドの放った右拳の裏拳で粉碎。その勢いを活かした回し蹴りが骨盤に炸裂、骨盤を失い、落下する上半身に放たれる正拳突きが頭から肋骨まで深々と突き刺さった。

残った下半身の足首部分を掴み、武器として振り回す。遠心力と衝突時の衝撃で直ぐに砕けたが、五体は巻き込んだ。

瞬く間に二十二体の同胞が砕け散る様を目の当たりにした骸骨達が怯む。その隙にすらりと引き抜いたライドブツカーを横薙ぎに振るい、三体の骸骨が上下に分かれた。

怖気付き、逃げ惑う骸骨達。その数、二十九体。

「ヒヤッハ!!オラ泣き叫べオラア!!」

とても正義の味方とは思えぬ台詞を吐きながら、ライドブツカーを乱射しつつ骸骨達を追いかける。

石ころに躓いた骸骨の頭がエネルギー弾に粉碎される。そのまま近くの骸骨の肩を掴み、持っているライドブツカーで頭を殴り付けて粉碎。その音に恐怖し、蹲って頭を抱えた骸骨の頭を踏み砕き、残り二十六体。

ATTACK RIDE BLAST

分裂した銃身から連射される光弾が骸骨達を蹂躪、十六体の骸骨が灰燼と化す。そして光弾同士が誘爆して一帯が砂埃に包まれた。

「チツ……どこ行きやがった」

やがて砂埃が晴れた後、そこには一匹の悪魔がいるのみであった。逃げられてしまったのである。

ならばこの憂さ晴らしは不完全燃焼となってしまうたのか……否。いるではないか、そこに。憂さ晴らしのサンドバッグが。

『見ツケタゾ、新シイ獲物。聖杯ヲ、我ガ手ニ』

「あ?」

不幸にも悪魔に見つかってしまった哀れな者。その正体は理性を失ったシャドウサーヴァント。諸行無常、この者が一体何をしようのか。

「…成程、特異点と、人理の修復の為の奔走か」

『そうだね、困難な道のりにはなるだろうけど、君レベルのサーヴァントが居てくれれば心強いよ』

「…うむ、そうだな」

（すいません、お役に立てそうも無いので何とかキャストリア辺りのサーヴァントでも引き当ててお使いください）

いやまあ行けなくも無いけど。と心の中でボヤいてる時、ふと、立香とマシユの会話が耳に入ってきた。

「所長どこ行ったんだらうねー」

「解りません。あの人、本当に何処へ…」

「…貴公らよ。よもやとは思いますが、所長と言うのはあそこで骸骨の大群と戯れている者ではあるまいな？」

「え？」

騎士の言葉に振り返る二人。そこには大声で喚きながら骸骨の大群と追いかけてっことをしているオルガマリー・アニメスフィアの姿。

「い、居たあぁー！ーッ！！行くよマシユー！」

「はいっ！」

オルガマリー・アニメスファイア。

騎士は知っている、彼女はもう死んでいる事を。彼女に還る肉体はない。恐らく残留思念がここに飛ばされてきた、亡霊なのだという事を。

「ほら、キミも！騎士様の！カッコいいところ格好いいところ見つてみたいー！」

騎士は思った、だからどうしたと。それが彼女を無駄と切り捨てる理由になるのかと。

否、断じて否である。

であればこそ、守るべきだ。否、護らねばならぬ。弱きを助け、強きを挫く騎士を志す者として。

「煽っても、武器しか出ぬぞ」

そう言つて、騎士が走り出す。岩の如き指輪と、黒き木目の指輪を付け、右手には銀色の直剣、左手には錆びた銀色の中盾を持ち、大楯を振り上げるマシユを追い抜き、口スリツク騎士の鎧を身に纏った不死人が、オルガマリーに曲剣を振り上げる骸骨を貫く。

目を見開くオルガマリー。騎士は振り向く事無く横薙ぎに振るつた剣が二体の骸骨を屠る。残る骸骨の総数はおよそ十九体。その数を認識した騎士が直剣を特大剣に持

ち替え、突貫。

巨躯の骸骨が騎士目掛けて瓦礫を投げる。騎士はそれを踏み台に跳躍、その勢いで振り下ろされた特大剣が骸骨の頭から深々と突き刺さる。

騎士に群がる五体の骸骨。それに対して騎士は両手の武器を収納し、自らの拳に骨を括り付け、先頭の骸骨が振り下ろした曲剣を絡め取る様に強奪、流れる様な動きで即座に屠り、それをオルガマリーと立花に襲い掛かる骸骨の頭目掛けて投げる。投げられた曲剣は見事に骸骨の頭に突き刺さり、骸骨は倒れ伏す。

「お待たせしましたっ！行きますっ！」

「盾の少女よ、少々失礼するぞ」

「えっ？」

遅れて駆けつけたマシユの大楯に杖をコツンと当て、魔術を行使。すると大楯が濃い青色の光をに包まれ、大楯が強化される。

「凄い……！」

「行くぞ」

素早い動きで六体の骸骨を屠る騎士に、マシユも続く。その大楯の大薙ぎで四体の骸骨を粉碎した。

「やるではないか」

「え、えへへ…」

「後は俺がやるとしよう」

そう言つてマシユの前に出た騎士が、振れた杖を高々と掲げ、暗く輝く光が収束し、剣が形成されて行く。

ローガンの杖。

偉大なる魔術の探求者、ビッグハットのローガンが愛用した魔術の杖。

材質はヴィンハイムの魔術杖と同じものだが、永きにわたるローガンの使用により鍛えられた杖の先端に、古き月光の記憶が顕現していく。

古き月光。

ミ、ディールの深層にあつた古い剣の記憶。

それをソウルにより形作り、攻撃する魔術。

一般の不死人は直ぐに白竜シースの月光を想起するだろうが、この月光はそれよりも更に始まりに近い物。

それはダークソウルの世界が始まる前、黒龍ギーラが白竜シースを討伐する為に生み出された初代月光剣、ムーンライトソードの輝かしき猛威を表した魔術なのだ。

騎士はその光波を当てるべく、残つた三体の骸骨達に向かつて疾走し、懐にまで到達、その杖を左腰から右肩に向かつて、振り上げる。

多くの人々が愛し、信仰し続けた聖剣の原点。ムーンライトソードの光波が叩き込まれ、骸骨達は灰塵と化した。

「…アサシンが散ったか。今回の聖杯戦争は、何やら異物が紛れ込んだらしい…それで？それが我の庭を荒らす不届き者と言う訳だな？」

大聖杯の在る洞窟の中で、アーチャーのシャドウサーヴァントが奇怪な怪人に語りかける。その怪人の名は

「その通りに御座います、英雄王よ」

ブレイン・アイ、又の名をウイザード。

魔法少女まどか☆マギカ編

【だれか】転生したらめっちゃ追われるんだけど【たすけて】 改訂版

1：名無しの転生者
たちけて

2：名無しの転生者
何があつたか、キリキリ吐け

3：名無しの転生者
カツ丼食うか？

4：名無しの転生者

初手尋問は草

5：名無しの転生者

こっちは今生きるか死ぬかの瀬戸際なんだよ

6：名無しの転生者

状況を説明、コテハン、はよ

7：名無しの転生者

暇に頭がやられそうになってる民おるな？

8：名無しの転生者

なんか最近こういうスレ多くないか？

9：名無しの転生者

>>>8

東大医学部は頭悪い！

10：名無しの転生者

>>8

実際多い、けど封印されて一步も動けない状態のワイからしたら滅茶苦茶助かる

11：名無しの転生者

>>9

うるさい！

12：名無しの転生者

>>11

本当だからだあ！

13：名無しの転生者

>>12

英ソの腐った根性！

14：狙われ転生者

- ・寝て起きたら草原の上
 - ・なんか変なの持ってた
 - ・困惑してたら襲われる
 - ・現在森の中を疾走中
- 勝ったなガハハ！

15：名無しの転生者

>>14

倒木圧死定期

16：名無しの転生者

>>14

熊「おつすおつすwww」

17：名無しの転生者

>>14

森を走るのは死亡フラグだと何度言ったら

18：狙われ転生者

おい

19：狙われ転生者

まってくれよ

20：名無しの転生者

あ？

21：名無しの転生者

>>>18

君が！泣くまで！殴るのをやめない！

22：名無しの転生者

>>>21

27：名無しの転生者

ジェットブンブンで草

28：狙われ転生者

ちよっ

29：名無しの転生者

お？

30：名無しの転生者

やったか？

31：名無しの転生者

>>30

はいフラグ

32：狙われ転生者

危ねえええええー!!
やめろ! 神風特攻してくん!??!!
じゃねえ!!

33 : 名無しの転生者
草

34 : 名無しの転生者
草

35 : 名無しの転生者
余裕なくて草

36 : 名無しの転生者
シヨツカーのバンザイアタックは草

37 : 狙われ転生者
アツツウい!!

一旦落ちる!!!生きてたらまた会おう!!!

38：名無しの転生者

乙

39：名無しの転生者

乙

40：名無しの転生者

骨を拾う想像はしておいてやる

41：名無しの転生者

逝つてらっしゃーい

42：名無しの転生者

お前らちよつとはイッチの心配してやれよー（笑）

4 3 : 名無しの転生者

にしてもシヨツカーか：終わりでは？

4 4 : 名無しの転生者

>> 4 3

子供向けの番組の敵組織やしやりようはあるのでは？

4 5 : 名無しの転生者

>> 4 4

一部の性能がぶっ壊れなんだよなあ：

4 6 : 名無しの転生者

にしてもシヨツカーに命を狙われるとかイツチは何やらかしたんですかねえ：

4 7 : 名無しの転生者

転生する時の辻褄合わせに門矢士になったんとかちやう？それで狙われてるとか

48：名無しの転生者

マジか、イツチ仮面ライダーじゃん

49：名無しの転生者

うらやまC

50：名無しの転生者

いーなー、俺なんてマドハンドやぞ

あつたかい布団が恋しい：

とか言い続けて30年は経ったぞ

51：名無しの転生者

>>50

そんだけ生きてるならどうにかなるやろ

52：名無しの転生者

>>51

ままならないから言つとんじや
!!!!!!

53 : 名無しの転生者

>>52

草

54 : 名無しの転生者

ワロス

55 : 名無しの転生者

勢いに草

56 : 名無しの転生者

オマケに勇者に命狙われるしでホンマ何やねん：

57 : 名無しの転生者

北海道の田舎で悠々自適ワイ、高みの見物

58：名無しの転生者

>>57

勝ち組だ！勝ち組がいるぞ！！

殺せ！！！！

！！！！

59：名無しの転生者

まあ転生先まどマジだな：

60：名無しの転生者

あっ…（察し）

85：名無しの転生者

俺は悠木碧さんかな

ビツキーのあの快活な感じの声が好きやねん

86 : 名無しの転生者

>>85

わかる

87 : 狙われ転生者

し、死ぬかと思った：

88 : 名無しの転生者

>>87

おう、お疲れ

89 : 名無しの転生者

>>88

なんや生きとつたんか

90 : 名無しの転生者

>>89

罰として廊下に立ってなさい

91：名無しの転生者

ここままでイツチを案ずるレス無し

92：名無しの転生者

イツチシヨツカーはどうした？

93：狙われ転生者

>>92

変なワープゲート開けられることに気付いたからそれで撒いたったわ

94：名無しの転生者

>>93

なるほど、オーロラカーテンか

95：名無しの転生者

>>93

良かったなイツチ

無事に仮面ライダー確定や

96：狙われ転生者

>>95

ウルトラマンとダクソしか知らんわ

97：名無しの転生者

>>96

特典は？それで判断するわ

98：狙われ転生者

はい

【薄桃色のディケイドライダーとライドブツカーの画像】

99：名無しの転生者

なんだこのネオデイクイドライバーのなりそこないみたいなベルト

100：名無しの転生者

ライダーズクレスト無いしなんか色褪せてね？

101：名無しの転生者

中途半端に課金するからこうなる

もつとガッツリ課金せな

102：名無しの転生者

シヨツカー撒いたつったけどいま何処にいるんや？

103：狙われ転生者

>>102

撒いたつつか：変な場所に転移したって言うか？

104 : 名無しの転生者

>>103

なんや

105 : 名無しの転生者

>>103

勿体ぶらずに言えや

106 : 狙われ転生者

宇宙に…いるんすよねえ…

107 : 名無しの転生者

は？

108 : 名無しの転生者

は？

109 : 名無しの転生者
は？

110 : 名無しの転生者
はあく（クソデカため息）

111 : 名無しの転生者
嘘松

112 : 名無しの転生者
何で宇宙で呼吸できてんねん

113 : 狙われ転生者
あと隣にうちう人らしき美少女もおるぞ

114 : 名無しの転生者
は？

115 : 名無しの転生者

は？

116 : 名無しの転生者

殺す

117 : 名無しの転生者

待て、美少女に擬態したうちう人かもしれん

118 : 狙われ転生者

>>117

じゃあワイがお前らの質問に答えたるわ
名前とかは無しで

119 : 名無しの転生者

その娘の髪の色は？

1 2 0 : 狙われ転生者

>> 1 1 9

ピンク

1 2 1 : 名無しの転生者

髪型は？

1 2 2 : 狙われ転生者

>> 1 2 1

クソ長ツーサイドアップ

1 2 3 : 名無しの転生者

目の色は？

1 2 4 : 狙われ転生者

>> 1 2 3

金色

結構パチクリしてて小動物みたいな感じ

125 : 名無しの転生者

イニシャルは？

126 : 狙われ転生者

>>125

K・M

127 : 名無しの転生者

他に特徴は？

128 : 狙われ転生者

>>127

白いリボン付けててクツソ際どいウエディングドレスみたいな着てる

あと半透明な羽生えてる

126 : 名無しの転生者

これは…？

127 : 名無しの転生者

だいぶ見えてきましたねえ…

128 : 名無しの転生者

さてイツチ、画像うpしてくれね？

129 : 名無しの転生者

>>127

幻覚を見るのが得意な末期スレ民がいる…

130 : 狙われ転生者

ええぞ

ほい

【ややはにかんだアルティメットまどかの画像】

1 3 1 : 名無しの転生者

!?!?!?!?

1 3 2 : 名無しの転生者

たすかる

只者じゃなさそうやな

1 3 3 : 名無しの転生者

>> 1 3 2

只者どころの騒ぎでは無いんですがそれは

1 3 4 : 狙われ転生者

え? 何? どうしたお前ら

1 3 5 : 名無しの転生者

は？イッチ知らんの？

136：狙われ転生者

うん

137：名無しの転生者

(頭を抱える)

138：名無しの転生者

言いにくいんすけど：

139：狙われ転生者

な、何？もしかして結構ヤバい奴だったたり？

140：名無しの転生者

その娘神様ですね

【だれか】転生したらめっちゃ追われるんだけど【たすけて】Part 2

『私の願いは…全ての魔女を滅ぼすこと』

『それが叶ったんだとしたら…』

『私だってっ!!!』

『もう絶望する必要なんて!!』

『無いっっ!!!』

…あれから、何年経ったんだろう。

今も、ずっとみんなのことをずっと見てる。

あのことに後悔は無い。あれでみんなは助かるし、みんな幸せな道を歩んでる。それは嬉しい。

…けど、それとこれは別に、凄く寂しい。

「…さやかちゃん、ママさん、杏子ちゃん。

…ほむらちゃん」

誰でもいい、誰でも構わない。

「…お話、したいなあ…」

「あああああああああああつ??
!!!??」

…ほえ?

「あつつ!あつつ!あつつつつうつ!!」

え、えつと、その…

「あ、あの。その、だ、大丈夫、夫…?」

「ん?あ、ああ。大丈夫…なのか?」

「ど、どう、だろう」

「…」

「…あの」

「ん?」

「…私の事、見えるの?」

「え?あー、うん。そうだけど」

「…へえ?」

「え?何?お前幽霊的サムシングなん?」

「…どうだろう。もう、わかんないや」

「…」

146：名無しの転生者

許さん（大力＋赤涙＋サントウス＋呪死＋宵闇の指冠＋強化クラブ＋15）

147：名無しの転生者

屠殺しもす！（絶唱）

148：名無しの転生者

待て待て、まずは事情を聞こう（みねうち＋でんこうせつか）

149：狙われ転生者

>>148

死ぬんですがそれは

150：名無しの転生者

知らん（ほんもののナイフ＋レジェンドヒーロー）

151：狙われ転生者

：（ワープゲートで逃亡）

152： 名無しの転生者

逃がさん（赤い瞳のオーブ）

153： 狙われ転生者

：事情、話しても？

154： 名無しの転生者

何があつた？行ってみろ

155： 狙われ転生者

シヨツカーの人間魚雷モドキで吹っ飛ばされる

←

死に物狂いでワープゲート展開&逃亡

←

よくわからん宇宙見たいな場所にでる

←

爆炎で背中が焼ける

←

まどかちゃんに心配される

←

適当に返事する

←

何故か懐かれる

結論、俺は悪くない

156： 名無しの転生者

殺す（竜体石追加）

157： 名無しの転生者

割とイツチポロポロで草

158： 名無しの転生者

関係ない

マドハンド は 仲間 を

呼び つづけて いる ▼

159： 狙われ転生者

やめ

160： 名無しの転生者

あ？

161： 名無しの転生者

どうした

162： 名無しの転生者

まどかちゃんに嫌われたか

163： 狙われ転生者

追手っぽいのがきたんですが？

(チューリップハットにコート、メガネをかけた中年男性の画像)

164： 名無しの転生者

鳴滝キタ———(。▽。)

!!

165： 名無しの転生者

勝ったな、呪解石食ってくる

166： 名無しの転生者

呪死してたしな：ゆっくりしとき

167： 名無しの転生者

>>>166

いや、意外とクセになる味

168： 名無しの転生者

>>>167

ええ…(困惑)

169：狙われ転生者

あつ

170：名無しの転生者

お？

171：名無しの転生者

やったか？

172：名無しの転生者

>>171

おい馬鹿

173：狙われ転生者

帰ってつた

174：名無しの転生者

は？

175：名無しの転生者

どう言う事だつてばよ

176：狙われ転生者

なんか「この世界もお前によって破壊されてしまった」とかいつて消えた
酷い言い掛かりを見た

177： 名無しの転生者

クソツ、使えん奴め

178： 名無しの転生者

こうなつたら俺が：（青い瞳のオーブ）

179： 狙われ転生者

隙あらばこつちに来ないでもろて

180： 名無しの転生者

いやイツチ抵抗出来るやろ、なんで逃げたん？

181： 狙われ転生者

使い方わかんない（無能）

182： 名無しの転生者

は？

183： 名無しの転生者

流石に嘘

転生者でデイケイド知らん奴おらんやろ

184：狙われ転生者

マジだつて

185：名無しの転生者

ほんとお？

186：狙われ転生者

ウルトラマンしか知らん

187：名無しの転生者

3 3 | 4

188：名無しの転生者

>>187

な阪関無

189：狙われ転生者

という訳で使い方教えて下さい（土下寝）

190：名無しの転生者

ほう、土下寝ですか、大したものですね

191：名無しの転生者

まあいいや、仮面ライダーの転生者とか割と希少だし、保護せねば

192：名無しの転生者

せやな、まずはライドブツカー（サイフみたいな剣）からカードを取り出して

193：狙われ転生者

あい

（まどかの姿が描かれているカードの画像）

194：名無しの転生者

195：名無しの転生者

マドハンドは頭痛を起こした！



196：狙われ転生者

どうした？

197：名無しの転生者

イツチ

198：狙われ転生者

ん？

199：名無しの転生者

他の、どんなのがあるよ？

200：狙われ転生者

>>195

頭無いだろ

英語読めんからそのまま書くぞ

【Solairre of Astora】Ultimate MADOKA【

【HUU】【ITUKI】【YUNA】【MAMI】【HOMURA】【MIMORI】【KA

RIN】

【SONOKO】【YUKI】【KURUMI】【YURI】【MIKI】【MEGUMI】

【KEI】【TAROMARU】【Decade】【SAYAKA】【KYOKO】

【MADOKA】【Devil HOMURA】

201：名無しの転生者

全部鬱系のヤツじゃないですかヤダー！

202：名無しの転生者

なんか同郷の奴いるんだけど

203：狙われ転生者

>>202

さてはお前ワイを赤涙大力構成で殺しにきた奴やな？

204： 名無しの転生者

あれおかしいなワイの知ってるライダーが一人しかおらんぞどういふことや

205： 名無しの転生者

オイオイオイ、がっこうぐらし系列いらないだろ

206： 狙われ転生者

>>205

あん？貰えるものは貰っとくぞ

207： 名無しの転生者

>>205

ゴリラいるから：

208： 狙われ転生者

>>207

女の子のシルエットしかないぞ、あとバケツ

209： 名無しの転生者

ソラールさんをバカにしたな？法廷で会おう！

210：名無しの転生者

それよりも、だ。イッチこれ全部使えんの？

211：狙われ転生者

そもそも使い方わからないのですが…

212：名無しの転生者

なんかまどかちゃん色ついてたんですがそれは…

213：名無しの転生者

まあいい（よくない）

まずベルトをつけ、バツクルの両サイドをひっぱり、色のついてるカードを上面の穴に入れます

214：狙われ転生者

ブザーみたいな音なった

215：名無しの転生者

上下逆だ馬鹿

216：名無しの転生者

草

217：名無しの転生者

なにしてんだ草

218：狙われ転生者

刺した、うるさいけどどうする

219：名無しの転生者

バックルの両サイドを押し込みます

220：狙われ転生者

了解

221：名無しの転生者

どうなった？

222：狙われ転生者

今凄い事になってる、待ってる

223：名無しの転生者

ちよつと待て

224：名無しの転生者

>>223

なんだ

225：名無しの転生者

こいつまさかまどかちやんのカードでやったんじや

226： 名無しの転生者

(息を飲む)

227： 名無しの転生者

(刀を抜く)

228： 名無しの転生者

(糞団子&貪欲者の証で赤涙調整中)

229： 狙われ転生者

(~~アイ~~ケイドライブを装着した桃髪の超ロングツーサイドアップの魔法少女の画像)

230： 名無しの転生者

231： 名無しの転生者

232： 名無しの転生者

オイオイオイ、死んだわ俺ら

「わー！つかささんすごーい！どうやったの!? ねえどうやったの!?」
「?????」

【だれか】転生したらめっちゃ追われるんだけど【たすけて】Part 3

233：狙われ転生者

さーて、他のも試すか

234：名無しの転生者

待て

235：名無しの転生者

堂々とスルーするな

236：名無しの転生者

何故TSなんぞしよった

237：狙われ転生者

知らん、折角だしまどかちゃんのカード使ったらいきなり大量のまどかちゃんが踊りだしてめっちゃカオスだったんだぞ。あとまどかちゃんめっちゃはしゃいでるかわい

238：名無しの転生者

ずるいぞ

239：名無しの転生者

俺らにも見せやがれください

240：狙われ転生者

やだね、これ以上脱線させてたまるか、変身つ

241：名無しの転生者

あーっ！もったくない！

242：名無しの転生者

なんてことを

243：狙われ転生者

やかましいぞお前ら、撃つぞ（サイフ銃）

244：名無しの転生者

ほー、やると？（体力8）

245：名無しの転生者

>>244

一瞬で溶けるんですがそれは

246：名無しの転生者

>>245

そもイツチ今アルティメット☆まどかちゃん状態だから俺ら返り討ちだぞ

247：狙われ転生者

いや？頭がカードが刺さったピンクヤローだが？

248：名無しの転生者

今こそが好機、アーツ♂（イグナイト）

249：名無しの転生者

：（帰還の骨片）

250：狙われ転生者

なんだダクソニキ帰ってっただぞ

251：名無しの転生者

：糞団子の在庫が

252：名無しの転生者

あつ

253：狙われ転生者

ヨシ！（現場猫）

今のうちに安価で話進めるぞ

254： 名無しの転生者
 ファツ!?

255： ダクソニキ

オイオイオイ、殴るぞ（憤怒）

256： 名無しの転生者

>>255

ダクソニキ気に入ったんか：

それはそうとまどかちゃんを置いていくつもりか貴様

257： 名無しの転生者

ガチの罪人じゃねーか

258： 狙われ転生者

>>256

なわけないだろ

時間あつたらちよくちよく会いに行くよ

259： ダクソニキ

なーんだ（エスト瓶）

260： 名無しの転生者

まあ、流石にね？（リンカーを仕舞う）

261：狙われ転生者

スレ民のお許しも出たというわけ

どの世界に行くか

>>275

262：名無しの転生者

何があったつけ？

263：名無しの転生者

>>262

ダクソ、がっこうぐらし、ゆゆゆ、まどマギか、すくねーな

264：狙われ転生者

いや、なんかマミってやつだけ攻撃カード多かったぞ

265：名無しの転生者

いやー、その人は、その：

266：名無しの転生者

厨二病だし、しゃーない

267：名無しの転生者

>>266

ママさんのこと厨二病って呼ぶのやめろ

まどマギ

268：名無しの転生者

悪魔ほむらとアルまどいるし勝ちゲーだろ

がっこうぐらし！

269：狙われ転生者

>>268

まどかちゃんとバーコードヤロー以外シルエットだったぞ

ダクソ

270：名無しの転生者

ゆゆゆ

271：名無しの転生者

ゆゆゆ

272：ダクソニキ

ダクソ

273：名無しの転生者

まどマギ

274：名無しの転生者

がっこうぐらし

275：名無しの転生者

まどマギ

276：名無しの転生者

ヨシ！

277：名無しの転生者

イツチ今重要なこと言ってなかった？

278：名無しの転生者

>>277

最初自分のカードしかなかった本家ディケイドよりマシだぞ

279：狙われ転生者

>>278

本物難易度高すぎない？

280：ダクソニキ

でもディケイドは行った世界での役目を果たして自分の力を取り戻したすげー人な

んだぞ

281：名無しの転生者

その理論で行くとイツチ他のライダーに敵対されるってことだぞ

282：デイケイド（偽）

マ？めんどくせえ

283：名無しの転生者

イツチさりげなくコテハン変えて抵抗しとるやん

284：ダクソニキ

姑息過ぎて草

285：デイケイド（偽）

うるせー

そんなことより新しい新天地へ！イクゾー！

286：名無しの転生者

デッデッデデデ！カーン！

405：デイケイド（偽）

初対面で殺されかけてんだが？

(槍を向ける赤髪の魔法少女と、大量のマスクット銃を展開する金髪の魔法少女の画像)

406：ダクソニキ

草

407：名無しの転生者

愉悦

フアーw

429： 名無しの転生者

ふざけてる場合かw

430： デイケイド（偽）

>>429

なにわろ

こちとら生きるか死ぬかの瀬戸際やぞ

431： ダクソニキ

>>430

そんな時にコピペ貼ってるのがてめーだよ

432： 名無しの転生者

いいから戦え、じゃなきゃ死ぬだけだぞ

金髪の厨二病魔法少女〔巴マミ〕の放つ弾幕にオーロラカーテンで耐え、赤髪のホームレス魔法少女〔佐倉杏子〕の振るう多節棍を手持ちのライドブツカーで防ぐマゼンタ色の戦士〔デイケイド〕。その脳内は混沌を極めていた。

「ッ。当たらないっ」

「なら当たるようにするだけだっ！ マミさんっ！」

440：デイケイド（偽）

ファッ!? 何する気だこいつ！

441：ダクソニキ

上からくるぞ！ 気をつける！（大嘘）

442：デイケイド（偽）

オラッ死ねっ！

《ATTACK RIDE SLASH》

「フンッ!!」

「あつぶね！ オラッ！」

「なっ！ テメツ！」

「今だっ！ マミさん！」

「ありごとう佐倉さん！」

佐倉杏子がデイケイドを赤い鎖で身動きを封じた叫び、バマミが首のリボンを外し、それを大砲へと変換する。

「ティロ・フィンナーレツ！」

445：デイケイド（偽）

おかし

446：名無しの転生者

これが魔法少女だ

447：名無しの転生者

魔法ということで理解を心得よ

448：ダクソニキ

いいなーそんな力が俺にもあればなー

449：名無しの転生者

>>448

テメーは赤涙と大力で大抵のことはどうにかなるだろ

450：デイケイド（偽）

たすけ

451：名無しの転生者

あつ

452： 名無しの転生者

吹っ飛ばされた

453： 名無しの転生者

一人称視点で観戦ワイ、無事目と耳がタヒぬ

「ガッ…」

「よしっ！」

「ふう…」

巴マミの必殺技「テイロ・ファイナーレ」に直撃したディケイドを見て、勝利を確信する一人の魔法少女。対して終始半死半生のディケイドと身体的被害を受けた一人のスレ民。

「やったな！ マミさんっ！」

「…おかしい」

「は？」

「弱すぎる」

「え

《FINAL ATTACK RIDE》

458： 名無しの転生者

おいイツチ大丈夫か!?

459：ダクソニキ

返事がない、ただの屍のようだ

460： 名無しの転生者

>>459

やめろシヤレにならん

461：デイケイド（偽）

ぼまいらもちつけw

これ必殺技のチャンスですぞw攻撃汁wwww

462： 名無しの転生者

>>461

俺らの先祖やめろ

463： 名無しの転生者

なんでこうもふざけてるんですかねえ：

464：デイケイド（偽）

>>>463

こうでもしないと笑えない

《DE DE DE DECADE》

「オラアアアアアッ!!」

「ギャアアアあつぶねっ!」

「佐倉さんっ!」

死角からの「[ディメンションスラッシュ]」をギリギリで避ける杏子、その姿を見て即座に距離を離す。ディケイドはライドブツカーから新たなカードを取り出し、ベルトからファイナルアタックライドのカードを取り出す。

「コイツは何だっ!」

「なっ!ヤバっ!」

「させないっ!」

《ATTACK RIDE INVISIBLE》

そうして透明化したディケイドは決め手を見つけた。歓喜と興奮をスレ内でひそかに爆発させる。

475：デイケイド（偽）

よっしや透明化キタコレ！これで勝つる！

476：ダクソニキ

俺もよくやるぞこれ

透明化して後ろからバツサリ行く気だコレ

477：名無しの転生者

は？

478：名無しの転生者

女の子相手になんて事をしようとしてやがる

479 名無しの転生者

イツチ絶許

480：デイケイド（偽）

何言つてんだお前ら

逃げるに決まってるだろ

481：名無しの転生者

よしそれでいい

482：名無しの転生者

お前は正しい判断をした

「じゃあなっ！もうお前らの相手は懲り懲りだっ！」

「なっ！待ちなさい！」

「クソがつ！何処にいやがる！」

「待てと言われて待つ奴がいるかっ！じゃあな！」

思う存分二人に捨て台詞を吐いたデイケイドは、そのままオーロラカーテンで逃亡に成功する。そこには敵を逃した敗北感に包まれた二人の少女が夜空を見上げていた

502：デイケイド（偽）

い、生きてる、俺、生きてるぞお前ら！

503：ダクソニキ

乙

504：名無しの転生者

イッチ乙

505：名無しの転生者

乙

506： 名無しの転生者

乙

507： 名無しの転生者

乙ウへへ

508：ダクソニキ

いや、生き残ったのはいいんだけど、イッチこれからどうすんの？

509：デイケイド（偽）

そうだな、とりあえず残ったスレで色々しよーぜ

510： 名無しの転生者

さんせー

「つ、つかささん!?!どうしたんですか!?!」

「あー、ちよつと現地の人と揉め事になってな」

「ちよつとじゃないですよ!もう!」

【だれか】転生したらめっちゃ追われるんだけど【たすけ て】 part 5

511：ディケイド（偽）

それじゃまどかちゃんに叱られながら話していこうか
すっごい怒ってるけどかわいい

512：ダクソニキ

羨ましい

513：名無しの転生者

許せん

514：名無しの転生者

あれ？どうしてだろう、目から血が…

515：ダクソニキ

>>514

失明するかもだから何とかしとけ

516：名無しの転生者

>>>515

んな適当な

517： 名無しの転生者

とりあえず情報ハラデイ

518： デイケイド（偽）

>>>517

桶

ワイ

死んでもないのに転生したエアプ仮面。シヨツカーぐらいならわかる

容姿

（本編の門矢士となんら変わらない男性の画像）

特典はテレビの砂嵐の画質を上げたようなワープゲートと仮面ライダーの力、ついでに濡れ衣

519： 名無しの転生者

>>>518

濡れ衣草生える

それとワープゲートはオーロラカーテンやぞ

520：ダクソニキ

にしてもマミちゃんとおんこちゃんつえーな

イツチが雑魚いのかもしれんけど

521：名無しの転生者

いや、デイケイドは設定上各キャラに変身できる都合上全ての要因を満たしてむ

しろ強いぞ

なお、才能は分からん模様

522：名無しの転生者

>>521

そうか、イツチって魔法少女の才能と勇者の力とダークリングとウィルスの耐性持つ

てるから強いんだ

にしてはボコボコにされてたけど

523：デイケイド（偽）

それは…初めてやったし

524：ダクソニキ

本物は初戦で圧勝だったぞ

525：デイケイド（偽）

それは特撮の特徴上仕方ないやろ

初手から負けるヒーローとか誰が見るんや

526： 名無しの転生者

>>525

マジレスやめろ

527：デイケイド（偽）

せやな

それはそうとお前らは何処に転生したんや？

528： 名無しの転生者

ドラクエ

529：ダクソニキ

ダクソ

530： 名無しの転生者

ポケモン

531： 名無しの転生者

シンフォギア

532： 名無しの転生者

アンテ

533： 名無しの転生者

テンプレ異世界

533： 名無しの転生者

まどマギ

534： デイケイド（偽）

>>533

何処いる？

535： 名無しの転生者

北海道で魔法少女になった

原作介入ができない（涙）

536： デイケイド（偽）

もしもの時は参戦してもらおうで

537： 名無しの転生者

フアツ!!?

538： ダクソニキ

草生える

539： 名無しの転生者

愉悦

540： 名無しの転生者

いいのか？光線しか出せないが

541：デイケイド（偽）

ええんやで、助かる

542： 名無しの転生者

イツチ×スレ民!?

543：ダクソニキ

「（「〇」）ホモオ：

544： 名無しの転生者

待て、相手魔法少女だから純愛では？

545：デイケイド（偽）

俺にはまどかちゃんいるから

546：ダクソニキ

死ね

547： 名無しの転生者

死ぬ

548：デイケイド（偽）

たすけて

549：名無しの転生者

そ、そういえばさ！みんなはどういう特典もらったんだ！（助け舟）

550：デイケイド（偽）

タスカル：タスカル：

551：ダクソニキ

鍵アイテム持ち越しと作品超えたループ

552：名無しの転生者

際限無しに仲間を呼べる

553：名無しの転生者

>>552

無敵で草

554：名無しの転生者

イオで消し飛ばぶぞ

555：名無しの転生者

草草の草

556：ダクソニキ

ここにゴーレムがあるじゃろ？

557：名無しの転生者

>>556

魔神斬りでどうにかなるんですがそれは：

四期ででたてんこ盛りガングニール

558：名無しの転生者

>>557

まあまあ強くて嫉妬

ポケモンに変身

559：名無しの転生者

>>558

テメーもつえーだろ

俺なんてナイフとペンダントだぞ？

食い物を寄越せ

560：名無しの転生者

僕の顔をお食べ（マホイップ）

561： 名無しの転生者

タスカル：タスカル：

562： 名無しの転生者

痛え（小並感）

それと伝説にも幻にもならない上にあんま強いポケモンになると負荷で簡単に死ぬ
オマケ付きだぞ

563： デイケイド

ダクソニキ、作品超えたループって何だ？

564： ダクソニキ

無印↓2↓3↓無印の繰り返しやで

飽きねーし楽しーぞ

565： 名無しの転生者

つよい（確信）

566： 名無しの転生者

これが猛者か

567： 名無しの転生者

>>566

真の猛者なら嫉妬なんてしねーだろ

568：名無しの転生者

>>567

そっかー

569：ダクソニキ

殴るぞ

570：名無しの転生者

ヒエッ

571：名無しの転生者

助けて

572：デイケイド(偽)

話題転換ついでに安価しないか？(助け舟)

573：名無しの転生者

キタ——(。▽。)

574：ダクソニキ

!!

安価キタコレ！

575： 名無しの転生者
まんまと釣られてて草

576： デイケイド（偽）

>>575

シッ！

それじゃ安価

>>585

>>595

>>605

何する？

577： 名無しの転生者

大盤振る舞いやん

578： ダクソニキ

キター！

579： 名無しの転生者

キヤー！

580： 名無しの転生者

絶対当てたる

581： 名無しの転生者

まどかちゃんとのイチヤイチャライブ

582： 名無しの転生者

ポケモン声真似ライブ

583： ダクソニキ

自殺RTA

584： 名無しの転生者

俺に会いに来る

585： 名無しの転生者

コテハン付け選手権

586： 名無しの転生者

マミ杏に喧嘩売りに逝く

587： ダクソニキ

外した：

>>581はなんて事させようとしてやがる

588： デイケイド（偽）

>>586

やめてクレメンズ：

589： 名無しの転生者

>>581

悪魔がいるぞ

590： 名無しの転生者

他人の不幸こそ最大の娯楽ゾーイ（畜生）

591：ダクソニキ

人間のクズがこの野郎：

592： 名無しの転生者

ダクソニキ気が短くて草

さつさと寝る

593： 名無しの転生者

ダクソニキとガチタイマン

594： 名無しの転生者

まどかちゃんに膝枕してもらって、その様子を配信

595： 名無しの転生者

カードとか技の練習

596：ダクソニキ

俺がイツチの人間性を奪う

597：デイケイド（偽）

>>593

>>596

：ケテ：タスケテ：

598：名無しの転生者

>>594

下衆大使がまたヤベーこと言ってるぞ

つまみ出せ

599：ダクソニキ

つ（ストームルーラー）

600：名無しの転生者

ん？今なんかした？www

601：デイケイド（偽）

つよい（確信）

黄色と赤に対する作戦会議

602：名無しの転生者

ガチでやるしりとり

603：名無しの転生者

スレ民全員でのキャンプファイヤー

604：名無しの転生者

イツチがまどかちゃんについて語る

605：ダクソニキ

俺vsイツチの練習試合

606：名無しの転生者

俺、早期参戦

607：デイケイド(偽)

608：名無しの転生者

あつ

609：名無しの転生者

終わったな

610：ダクソニキ

「ぜったいきいてないでしょー!!?」

【だれか】転生したらめっちゃ追われるんだけど【たすけて】part 6

620：名無しの転生者

さーて、コテハン選手権だー！

621：デイケイド（偽）

なんでこうなるの？

622：名無しの転生者

もしかして：美少女に好かれた

623：ダクソニキ

オレサマ、オマエ、マルカジリ

624：名無しの転生者

>>623

一応練習試合だから殺しちゃダメだぞ

625：ダクソニキ

（・ω・）ソナー

626：名無しの転生者

何だったらもうマミ杏に加勢したら？

627：名無しの転生者

名声もマミ杏もお前の手の中やで

628：ダクソニキ

やっぱいいや、不死者になってから懲りてる

629：名無しの転生者

ダクソニキ糞善人やんけ

630：ダクソニキ

>>629

力に溺れたら碌なことにならないってそれ一番言われてるから

631：デイケイド(偽)

はーい話を戻すよー

①アンテニキ>>650「コテハン」

②ドラクエニキ>>670「コテハン」

③まどマギニキ>>690「コテハン」

④テンプレニキ>>710「コテハン」

⑤ シンフォギアニキ>>730 「コテハン」

⑥ ポケモンニキ>>750 「コテハン」

ダクソニキは除外するものとする

632 : ダクソニキ

は？ 仲間はずれかよ

泣くぞ

633 : 名無しの転生者

泣ーかしたー、泣ーかしたー

634 : 名無しの転生者

せんせー、イツチがダクソニキ泣かせましたー

635 : 名無しの転生者

島流しに処す

636 : デイケイド (偽)

フアツ!?

637 : 名無しの転生者

罪に対して罰があまりにもあんまりで草

638： 名無しの転生者

不死人の涙とか誰得やねん

639：ダクソニキ

赤涙とか

640： 名無しの転生者

あつ

641： 名無しの転生者

その後、>>640を見たものはいなかった…

642： 名無しの転生者

YOU DIED

643： 名無しの転生者

ワロス

644： ダクソニキ

フン

645：ディケイド（偽）

そろそろだぞお前らー

646： 名無しの転生者

ぜんたいい、止まれ！

サイコパスナイフ

647：名無しの転生者

魂の殺戮者

648：名無しの転生者

バイオレンス☆ハート

649：ダクソニキ

トンデモループシヨタ

650：名無しの転生者

タマトリグサ

651：名無しの転生者

殺意ナイフ

652：ダクソニキ

決まったー！

ハエトリグサみたいで草

653：タマトリグサ

あまりにもあんまりだぞ

6 5 4 : デイケイド (偽)

安価なんてそんなもんやぞ

6 5 5 : 名無しの転生者

死にゲーの猛者みたいなニキに目をつけられたしなw

6 5 6 : デイケイド (偽)

俺は俺の使命を全うする！この安価は、誰にも動かせない！

6 5 7 : ダクソニキ

k s k

6 5 8 : タマトリグサ

k

6 5 9 : 名無しの転生者

s

6 6 0 : 名無しの転生者

k

6 6 1 : 名無しの転生者

k s k

6 6 2 : デイケイド (偽)

ヤメロオ!!

663 : ダクソニキ

wwwwww

664 : タマトリグサ

諦めろ、不死人からは逃げられない

665 : 名無しの転生者

もうホントに草

ドロハンド

666 : 名無しの転生者

怒涛の連携に草を禁じ得ない

底なし泥

667 : ダクソニキ

病み手

668 : 名無しの転生者

無限の記号「∞」からとって

メビウスハンド

669 : 名無しの転生者

とある泥手の無限増援

670：タマトリグサ

動くただのEXP

671：名無しの転生者

戦力のやべーやつ

672：動くただのEXP

【悲報】俺氏、経験値扱い【泣きそう】

673：デイケイド（偽）

草草の草

674：名無しの転生者

さつきから悲惨なコテハン多くない？

草生える

675：タマトリグサ

生やすな

676：デイケイド（偽）

次はまどマギのビームやな

677：ダクソニキ

さてどんな名前にしようか

678： 名無しの転生者

>>677

絶対にコイツ今貪欲な壺みたいな顔してるぞ

679： 名無しの転生者

ダクソニキ「ニチャア」

680：ダクソニキ

どっちかってーとガスコイン神父みたいだぞ

匂い立つなあ

681： 名無しの転生者

>>680

匂い立ってんじゃねーよ

682： 名無しの転生者

ケツからバクスタ決めるんやで

683：ダクソニキ

つ【神の怒り】

684： 名無しの転生者

アツ[♂]

685：タマトリグサ

ソウルの奔流垂れ流しやん

686：名無しの転生者

草生えるわ

魔法少女コブラ

687：名無しの転生者

>>686

それは紛れもなくヤツさ

百合の乱射魔

688：名無しの転生者

>>687

乱射魔とかいう不名誉な称号やめろ

レーザーガン、始めました

689：ダクソニキ

レーザーの賢者

690：タマトリグサ

とある魔法の光線銃

691：名無しの転生者

カツプリングオブイツチ

692：とある魔法の光線銃

>>691

(だからってイツチは) ないです

693：タマトリグサ

次はテンプレニキ、特徴がない

694：名無しの転生者

>>693

序盤で封印されているのもワイやし下衆大使もワイやぞ

695：ダクソニキ

お前だったのか、>>694、いつもとんでも無いことをイツチにさせるのは(殺意)

696：タマトリグサ

*ケツイがみなぎった

697：とある魔法の光線銃

とは言いつつも、ちよつとイチヤイチャライブ見てみたい自分がある

698： 名無しの転生者

>>697

同志よ、共に愉悦の道に進もう

699：とある魔法の光線銃

>>698

ごめんなさい

700： 名無しの転生者

なっ、何故!?

701：とある魔法の光線銃

だって私、可愛い女の子の方が好きですし

702：ダクソニキ

百合キタ——（。▽。）——!!

703：タマトリグサ

TS百合とか俺得じゃねーか

ありがとうございます

704： 名無しの転生者

だっ、だが！相手はどうするのだ!?

705：タマトリグサ

イツチがおるやん

706：ディケイド（偽）

えっ

707：名無しの転生者

早くまどかちゃんにカメンライドするんだよオラア！

というか>>704下衆大使なら下衆大使でよくね？

708：ダクソニキ

それも…そうか？

下衆大使

709：とある魔法の光線銃

イツチとは仲の良い友達ポジがいい

下衆大使

710：名無しの転生者

下衆大使

711：ダクソニキ

まあ、安定だな

712：下衆大使

どうぞこれからもよしなに

イツチ、封印の中から見守つとるで

713：デイケイド（偽）

え？あ、あー、はい

714：タマトリグサ

どうした？レス数も少ないし、もっとテンション上げてこうや

715：ダクソニキ

そうやぞ

折角百合の波動を感じたし、パーつといこうや

716：デイケイド（偽）

：そうやな！ワイらしくも無い！イクゾー！

717：タマトリグサ

デッデッデデデ！カーン！

718：ダクソニキ

門矢士がテンション上げてるって考えると草なんだわ

719 : とある魔法の光線銃

次はシンフォギアニキ、強い！

720 : ダクソニキ

ホンマに不意打ちか人質でしか勝てなさそうなヤツ

721 : タマトリグサ

近距離↓ガングニールでのお得意近接戦

中距離↓イガリマと天羽々斬で対応

遠距離↓シユルシヤガナで即近接戦

強い(確信)

722 : 動くただのEXP

Q : 数の暴力なら？

723 : 下衆大使

A : ぶつ飛ばせ！アーマーページだ！

724 : 動くただのEXP

アツ♂

725 : タマトリグサ

また万能型だよ壊れるなあ

726：ダクソニキ

歌って戦うアイドルもどき

727：動くただのEXP

体験版黄金鍊成

728：名無しの転生者

てんこ盛りのやべーやつ

729：デイケイド(偽)

繋ぐ手のやべーやつ

730：下衆大使

シウル天アガイガイチグニール

731：ダクソニキ

トンデモねー名前になつとつて草

732：名無しの転生者

出す武器を間違えたガングニール

733：シウル天アガイガイチグニール

ええ：(困惑)

734：タマトリグサ

さて、最後はポケモンニキか

735：下衆大使

愉悦

736：名無しの転生者

頼むからマトモなの来てくれ…（懇願）

737：デイケイド（偽）

しょうがねえなあ（ニチャア）

738：下衆大使

俺と…俺と同じ波動を感じる…

739：とある魔法の光線銃

やめたげてよお！

740：シウル天アガイガイチグニール

やめられない！止められない！

741：ダクソニキ

さーて、どんな名前にしようか

742：動くただのEXP

ポケモンに変身とかロケット団が黙っちゃいねーぞ

743：名無しの転生者

それはフツに勝てるので問題なし！

744：タマトリグサ

咄嗟の変異の半人半ポケ

745：下衆大使

ロケット団の餌

746：とある魔法の光線銃

ポケットヒューマン

747：動くただのEXP

人型メタモン

748：ダクソニキ

ポケモントレーナー（擬態）

749：シユル天アガイガイチグニール

未確認生命体

750：デイケイド（偽）

極み変わるメタモン

751：タマトリグサ

いけ！ニンゲン！

752：ダクソニキ

いい感じやんよかったな

753：極み変わるメタモン

あぶねー…やべー名前に挟まれてたぞ…

754：下衆大使

これまで見てきたスレの中でダントツにコテハン勢が多いぞこのスレ

755：シユル天アガイガイチグニール

マジで？

756：下衆大使

>>755

マジで

757：ダクソニキ

>>756

わかる

758：タマトリグサ

このスレにすんごい長寿なヤツらがおるんやが…

759 : ダクソニキ

さて!

760 : とある魔法の光線銃

へ?

761 : デイケイド (偽)

待ってなんか嫌な予感

762 : ダクソニキ

いちいちカードの練習するよりもさあ…

実践した方がいいと思わないか?

なあ…

イツチイイ縲、縲、縲、縲」??シ?シイ

【闇霊が侵入しました】

763 : とある魔法の光線銃

フアーっ!?

764 : 下衆大使

びつくりした!

何がどうなった!?

765 : デイケイド (偽)

(真っ赤なオーラを放ち、マヌスの大杖とグレートクラブを持ったハベル騎士の画像)

766 : タマトリグサ

マズイですよ!

767 : 動くただのEXP

誰かアイツを止めろ!

798 : 綱? 縲ッ縲ス綱九く

縲? ※ 縲オ縲阪 ◆ 縲エ縲代” 縲ヲ縲励 ◆ 縲ヲ縲輔 ← 縲ヲ縲オ縲翫? 縲サ縲薙 ← 縲オ縲

ヲ纏九? 纏ヨ

799 : デイケイド (偽)

助け

800 : とある魔法の光線銃

: イツチ?

801 : 下衆大使

イツチ!?! おい、イツチ!?

802 : タマトリグサ

返事しろよ! なあ! イツチ!

このスレッドは削除されました

【随時】コテハン勢の設定集【追加】

デイケイド（偽）

当小説の主人公

本名「佐藤^{サトウツカサ}士」

エアプ仮面、知っている作品はウルトラマンとダクソのみだが、嗜む程度にはスレを
していたため特有のノリとかはわかったりする。現在後述のダクソニキに襲撃され中。
アルまど様に懐かれているためスレ民からすつごく妬まれている。まどかちゃん可愛
い（現実逃避）

特典は自由度の高いオーロラカーテンとオリジナルなデイケイド。

スペックは本編の激情態と全く同じ。

ダクソニキ

本名不明

ダークソウル在住

小細工無しの真っ向勝負ならスレ内最強。沸点が低くすぐキレる。赤涙と大力の口
マンに飲み込まれた変態。現在6週目口スリック攻略中だが、イッチへの嫉妬心が限界

を超え、赤い瞳のオーブでまどかちゃん宅に侵入。おまわりさんこいつです。
 特典はキーアイテム持ち越しと大規模なループ。

スベツク

素性『魔術師』

体力 : 8

記憶力 : 99

持久力 : 99

筋力 : 99

技量 : 99

耐久力 : 99

理力 : 99

信仰 : 99

運 : 99

強い(確信)

ちなみにバツ3

とある魔法の光線銃

本名「綾目^{アヤメ}瑠璃^{ルリ}」

魔法少女まどか☆マギカ在住

北海道の魔法少女。

前世は男だが、少女の身体で過ごしていく内に思考回路もTSしてきている。

特典は9がいっぱいある通帳。

ビームの色は青と黄色、固有装備の銃から射出される。銃は色々組み合わせとか種類とかが結構あつたりする。

動くただのEXP

本名不明

ドラゴンクエスト在住

勇者に見つかっては殺されかけているため、逃げることに関してはマドハンドの特性も重なって当スレで一二を争う。

特典は無限に仲間を呼ぶというもの。イオで一掃できる。

タマトリグサ

本名不明

アンダーテール在住

当スレの常識人候補補。

特典が「ほんもののナイフ」と「ハートのロケット」だった上に、トリエルにも発見

されずに餓死しかけた経験あり。

しかし、彼の真髄は箍を外した時に発動する特典『全攻撃一撃死』。Gルートでちよくちよく披露されるえげつない大火力である。因みにその間本人の意識はない。

下衆大使

本名不明

テンプレ異世界、と見せかけてのゼルダの伝説在住

本人はスマブラでしかリンクとゼルダを見たことがないため、ゼルダの伝説というところに気づかなかった。本物よりも強く、爆弾をぶつけられた程度では無傷で済む。

シウル天アガイガイチグニール

本名「立花^{タチバナ}愛子^{アイコ}」

戦姫絶唱シンフォギア在住

名前の通り本編の主人公の妹に生まれたが、姉の甘さ純粹さに愛想を尽かし、自らの手で生存者バツシングを物理的に終わらせた。

特典はてんこ盛りガングニールことガングニールRebuild ver. 2。

近接中距離遠距離なんでもござれの万能型。強い。

堅気には優しいヤンキー、現在ホームレス。

極み変わるメタモン

本名「サイジヨール」

ポケットモンスター在住、現在ベストウイッシュ編

ギンガ団やロケット団などの悪の組織に追われ続けてサトシ達に会う。ポケモンについてはガチ勢だが、アニメに関しては完全にエアプである。

特典はポケモンに変身、しかし伝説にも幻にもなれない上に、サザンドラなどの強力なポケモンになると負荷で簡単に大怪我を負うため、原作知識が光る。

おまけ

まどかちゃん

本名「鹿目まどか」

言わずと知れた鬱アニメ「魔法少女まどか☆マギカ」の主人公、本編で概念として消滅した世界線のまどかであり、孤独に耐え続けたためつちや健気な子。

本作のメインヒロイン。

謎の新しいロイン

本名「????」

時たま????ツチの夢に現れる頭が無く、常に啜う顔が半分しかない謎の人物。上記の愛子が頭の中でアンパンマン説を提唱しているとかしていないとか。

名無しの大泥棒

本名「笹木 広樹」

番外編にて生息、気まぐれで旅をしている。

特典はオリジナルディエンドライバーとオーロラカーテン。

無駄な破壊者

本名「ゲキジョーディケイド」

世界に一人だけの男のウマ娘。

現在ホームレス中のシヨタ。

特典はオリディケの激情態とオーロラカーテン。

【速報】まどかちゃん、めつちや強い【ヤバい】

1：デイケイド（偽）

本当にヤバい

2：とある魔法の光線銃

イツチ!?

3：下衆大使

生きとつたんかワレ!?

4：デイケイド（偽）

>>3

生きとつたんよワイ

5：シユル天アガイガイチグニール

今北産業

6：デイケイド（偽）

>>5

ダクソニキ北

まどかちゃんが弓を放つ

ワイ、意識も身体も吹っ飛ぶ

7：動くただのEXP

草

8：タマトリグサ

円環の理だしそりや強いわな

9：デイケイド（偽）

>>8

本当にヤバいんだよ

なんか魔法陣みたいなものからとんでもない量の矢が飛んできてそれが一気に爆発し

て俺も吹っ飛んだんだよ

死ぬかと思った

10：下衆大使

そーいやダクソニキは？

11：タマトリグサ

死んだんじゃ無いのー？

12：とある魔法の光線銃

いや死んでも生き返るでしょ
そもそも霊体だし

13：動くただのEXP

それもそうだな

オーイダクソニキー？

14：タマトリグサ

息してるー？

15：下衆大使

返事しろー

16：デイケイド（偽）

もう怒ってないぞー

17：ダクソニキ

な

18：下衆大使

？

19：タマトリグサ

どした？

20：シユル天アガイガイチグニール
腹でも下したか？

21：ダクソニキ

何が…起こった…？

22：動くただのEX P

本人も分かってないやん草

23：デイケイド（偽）

まあ…あれはしょうがない

もう出待ちなんてレベルじゃねーぞ！オイツ！

24：下衆大使

草草の草

25：ダクソニキ

何も分からなかった…気づいたら死んでた

26：シユル天アガイガイチグニール

オーイ？

27：タマトリグサ

放心状態やん

28：動くただのEXP

イッチどーすんのこれ

29：下衆大使

閃いた！（電球ピキーン）

30：とある魔法の光線銃

電球がピキーン、ですか

31：シユル天アガイガイチグニール

割れてるやん草

32：下衆大使

イッチ、目が覚めたらどんな状況だった？

33：タマトリグサ

あつ（察し）

34：デイケイド（偽）

え？どうした急に

35：下衆大使

いいからいいから（満面の笑み）

36：デイケイド（偽）

なんか嫌な予感するからヤダ

37：動くただのEXP

いいからいいから（満面の笑み）

38：とある魔法の光線銃

>>37

顔無いだろ

いいからいいから（満面の笑み）

39：タマトリグサ

いいからいいから（満面の笑み）

40：シユル天アガイガイチグニール

いいからいいから（満面の笑み）

41：デイケイド（偽）

なんとなく結果がわかるから言わんぞ俺は！

42：下衆大使

い　い　か　ら

43：デイケイド（偽）

アツハイ

44：デイケイド（偽）

えーと、膝枕されてましたね

45：ダクソニキ

殺す

46：デイケイド（偽）

やっぱりかーっ！

量ったな下衆大使ーっ！

47：下衆大使

アハハハハッ！アーツハハハハハハハハハハ！（大爆笑）

48：とある魔法の光線銃

いっつもの

49：タマトリグサ

予定調和

50：シユル天アガイガイチグニール

ちよつととした名物

51：動くただのEXP

ちよつとは穩便に行かんのか（呆れ）

52：ダクソニキ

>>51

いや、ちよつとは頭が冷えたぞ

53：デイケイド(偽)

冷えてるやつ^の熱量じゃない定期

54：下衆大使

いやー笑った笑ったwwwwww

やっぱスレって最高！転生生活最高！

生きててよかったーっ！

55：タマトリグサ

>>54

でも今貴方封印されてますよね？

56：とある魔法の光線銃

好き嫌いは人それぞれとは言ってもこれは：

57：動くただのEXP

清々しいまでのカスで草も生えない

58：ダクソニキ

その、すまんかったな皆、俺の発狂でスレ潰して

59：デイケイド(偽)

膝枕もしてもらったしええんやで

(こちらを見下ろしながらも満面の黒い笑顔を見せる鹿目まどかの画像)

60：タマトリグサ

自分から燃料投下するのか…(困惑)

61：シユル天アガイガイチグニール

これ見よがしに見せびらかすの草

62：ダクソニキ

クツ…カツ…コ…キツ…カツ…

63：動くただのEXP

あーもうめちやくちやだよ

64：とある魔法の光線銃

心なしかこの笑顔黒くない？

65：下衆大使

ホントだ

66：ダクソニキ

なんだ？どうした

67：デイケイド（偽）

お前らのこと妄想だと思われてたっばい

68：ダクソニキ

【悲報】俺ら、イツチの妄想だった【屈辱】

69：デイケイド（偽）

なんかまどかちゃんがお前らに会ういい方法ない？

70：下衆大使

いい方法がある

71：タマトリグサ

え？なんかあつたっけ？

72：動くただのEXP

都合の良いドラえもんシステムやめろ

73：とある魔法の光線銃

下衆大使「テツテテーン」

74：デイケイド（偽）

頼むよ

75：下衆大使

この前のLIVE機能もだけど、俺みたいな転生者のために結構なコンテンツが用意されてんのよ。

76：ディケイド（偽）

はい

77：とある魔法の光線銃

今考えてもご都合主義の塊

78：タマトリグサ

つまりどういうことだっつてばよ

79：動くただのEXP

俺分かつたぞ

80：シウル天アガイガイチグニール

そんなに機能あるか？

せいぜいLIVE機能とスレと脳内カメラぐらいしか無いと思っただわ

ぶっちゃけ有難いけど

81：下衆大使

この機能の中にアカウント共有と言うのがあってですね（ニッコリ）

82：とある魔法の光線銃
えっ

83：デイケイド（偽）
えっ

84：タマトリグサ

そんな機能あつたのこれ!?

85：ダクソニキ

つまりまどかちゃんと話せると？

86：下衆大使

>>85

EXACTLY!

87：動くただのEXP

俺みたいな奴はコレで指揮を取るからな

88：デイケイド（偽）

マジか

どうすれば良い？

89：下衆大使

まずおでこに人差し指と中指を置いてアカウンント共有するように念じます

90：デイケイド（偽）

はい

91：ダクソニキ

ふむ

92：タマトリグサ

ほう

93：とある魔法の光線銃

約二人覚えようとして草

94：下衆大使

そしたら人差し指と中指に光が灯りましたね？

95：デイケイド（偽）

はい

96：ダクソニキ

ほうほう

97：タマトリグサ

へー

98：下衆大使

その光を共有したい相手のおでこに当てます

99：デイケイド（偽）

せいっ

100：タマトリグサ

なるほど

101：ダクソニキ

ほほう

102：下衆大使

さて、あとは念じるように促してみましよう

103：デイケイド（偽）

おう

ちよつと行ってくる

104：とある魔法の光線銃

いつてらー

105：ダクソニキ

楽しみ

106：動くただのEXP

軍団的俺氏、高みの見物

107：タマトリグサ

そっかダクソニキ転生生活はじめてのロリか

108：下衆大使

そろそろストレス耐性も出来てきたんじゃないか？

109：ダクソニキ

>>107

そうやぞ

>>108

うっせえわ

110：ディケイド（偽）

もうちよい待ってな

今苦戦してる

111：とある魔法の光線銃

おー

112：ダクソニキ

気長に待つぞ

113：タマトリグサ

ダクソニキは新しい芽は見守るタイプか

114：動くただのEXP

タイプで思い出したけどメタモンニキ来てなくない？

115：シユル天アガイガイチグニール

そーいや来てないな

116：下衆大使

そのうち来るべ

117：タマトリグサ

それもそうだな

118：デイケイド（偽）

いけたっぼい

119：ダクソニキ

おー！

120：タマトリグサ

キター！

121：シウル天アガイガイチグニール
ハリー！ハリー！

122：名無しの女神

あの：おはようございます

123：ダクソニキ

FOOOOOOOOO!!

124：タマトリグサ

キタ——（。▽。）——！！

125：とある魔法の光線銃

キター！

126：動くただのEXP

ようこそスレへ

歓迎するよ

127：下衆大使

ここにしか無い方言とかもあつたりするから、わからないことがあつたら何でも聞いてね

128：名無しの女神

はっ、はい！よろしくお願いします！

129：シユル天アガイガイチグニール
うーん、この純朴さよ

130：ダクソニキ

俺らが遠い昔に失ったものを秘めているな

131：デイケイド（偽）

なんか疲れがドツと来たし寝るわ

132：名無しの女神

え？あ、お休みなさい…

133：シユル天アガイガイチグニール

乙

134：タマトリグサ

イツチ乙

135：名無しの女神

お、おつ…？

136：下衆大使

ああ、乙って言うのは

その後、下衆大使によるネットスラング説明会が開催され、新しい友達を得たまどかちゃんの笑顔は、それはそれは綺麗なものだと言おう…。

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】

1：デイケイド（偽）

イクゾー！デッデッデデデデ！カーン！デッデデデデ！

2：名無しの女神

む、無理はしないでくださいね？

3：ダクソニキ

まどかちゃん泣かしたら俺が許さんぞ

4：とある魔法の光線銃

おひさ

5：下衆大使

またイツチがポコポコにされそうな匂いが…

6：動くただのEXP

懲りねーなあ…

7：デイケイド（偽）

下衆大使のネットスラング講座の横でカードの詳細聞いたので色を付けにいく鬼畜

RPG、はーじまーるよー

8：タマトリグサ

この後、イッチを見る物はいなかった：

9：極み変わるメタモン

今北産業

10：名無しの女神

えつと：

つかささんと

世界の

戦い

11：下衆大使

上手く使えてるな？ヨシ！

12：デイケイド（偽）

>>>8

おいゴルー！

13：シユル天アガイガイチグニール

四日ぶりやな、一個だけ言いたい事がある

14：タマトリグサ

>>>12

ん? (^ ω ^)

15：デイケイド(偽)

あん?

16：ダクソニキ

>>>13

どうした

17：下衆大使

何だ何だ?

18：シユル天アガイガイチグニール

勝機を零すな、掴み取れっ!

19：動くただのEXP

言いたかったただけだろ!

頑張れよー!

20：タマトリグサ

お前の中にはダークリングあるからなー!

21：ダクソニキ

ゾンビ戦法で行けるぞー！

22：名無しの女神

：つかささん？

23：デイケイド（偽）

やるわけ無いだろ

痛覚あるんだよこちとら

24：下衆大使

そうか

コイツ神様がケツ持ちだった

25：タマトリグサ

すいませんでした

26：ダクソニキ

許してください、何でもしますから（何でもするなんて言つて無い）

27：名無しの女神

：ふんっ！

28：とある魔法の光線銃

何だろう、今、ソウルジエムが変なことになった

29：デイケイド(偽)

ヨシ！(現場猫)

それじゃあ改めまして、イクゾー！

30：ダクソニキ

デッデデデデ！カーン！デッデデデデ！

31：下衆大使

>>>30

カーン！が入ってる+114514点

32：タマトリグサ

数字が汚い

33：デイケイド(偽)

http://TENSEI.NEXT.NET.jp

34：ダクソニキ

わーい^^

35：動くただのEXP

のりこめ^^

街中にて、人々が其処に目を向ける。其処には一人の青年が一人、そう、デイケイド（偽）こと佐藤士である。

42：下衆大使

イツチめつちや浮いてんじゃんワロタ

43：ダクソニキ

よく分からんワープゲートから出てきたよく分からん青年だぞ、目立つに決まってる

44：デイケイド（偽）

見るなっ！そんな目で俺を見るなっ！

45：名無しの女神

つかささん…

「さやかちゃんっ!？」

「あ?」

「ん?」

そんな中、居眠りしたのかよそ見をしたのか暴走しているトラックに轢かれかけている少女が二人。土はオーロラカーテンを展開し、トラックにぶつける事でそれを阻止する。

「え……?」

「何今の? 壁?」

「おい、大丈夫か?」

突然の事で戸惑う青髪の少女と、その少女に駆け寄る青髪と土。

「怪我は無いな?」

「え? あ、はい……?」

「全く……びつくりしたよ!」

53: ディケイド (偽)

全く……近頃の若者は注意力が足らんぞ

54: タマトリグサ

おまいう

55: とある魔法の光線銃

ちよつと

56: 下衆大使

オイオイオイ（歓喜）

57：動くただのEX P

本当にコイツは：

58：ダクソニキ

いつまでちびっ子を引つ掛けるつもりだ？（憤怒）

車に轆かれかけ、説教される青いショートとミディアムの中間を取った髪型の少女【美樹さやか】が説教するピンク髪を赤いリボンで結んだピッグテールの少女【鹿目まどか】から目を逸らし、助けを求める様に土を見るが、

「怪我が無いなら俺はもう行くぞ」

「えっ」

「あつ、ありがとうございましてっ！」

61：デイケイド（偽）

お前らどうした？様子がおかしいぞ

62：下衆大使

この子まどかちゃんですね

63：デイケイド（偽）

ウツソだろお前!?

64 : タマトリグサ

あーもう滅茶苦茶だよ

65 : とある魔法の光線銃

さやかちゃん絶望しとるやん、助けて差し上げろ

66 : デイケイド (偽)

ヤダ

そうして絶望顔のさやかを置き去りに歩いて十数分、突如として土の周囲が青空へと変わって行く。

71 : 動くただのEXP
お?

72 : デイケイド (偽)

ふあっ!?

73 : タマトリグサ

来たな

74 : 下衆大使

∴魔法の結界

75：ダクソニキ

まどかちゃん大丈夫そ？

76：名無しの女神

∴ううん、大丈夫

その大空には、無数の洗濯ネットが張り巡らされ、其処に洗濯バサミで何処かの学校の制服が干されている。

その中心に鎮座する、首の無い4本腕の怪物 [Patricia] を手下であ

る [Mathieu] が取り囲み、大量の椅子や机の弾幕を獲物に放つ。

84：名無しの女神

つかささんっ！

85：ダクソニキ

不愉快だが、心配は無いぞ

86：とある魔法の光線銃

そうそう（笑）

87：下衆大使

これはやってしまったねえ（爆）

88：極み変わるメタモン

いけ！イッチ！

しかし、その魔女は知らなかった。そして、知る事になる。

「変身」

《KAMEN RIDE》

自分達が獲物と認識するのが、曲がりなりにも

《DECADE》

誰であるのかを。

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】Part 2

《ATTACK RIDE BLAST》

大空を模した魔法の結界の中で、張り巡らされたロープに左手でぶら下がり、右手に持ったライドブツカーで銃弾を放つデイクイド、その銃弾の雨で消し飛ばす
 Mathieu_{テュー}。

「オラオラオラオラアアアアアアアアアア!!」

しかしPatricia_{パトリシア}側も負けじと椅子と机を大量に放ち、質量差でその銃撃を圧倒する。

96：ダクソニキ

ほーら、もたもたしてたら落ちるぞ

97：とある魔法の光線銃

落ちんなイッチー

98：名無しの女神

頑張れー!

99：シユル天アガイガイチグニール

もうオーロラカーテンで行けない？

100：下衆大使

いや、もつと良い方法があるゾ

101：デイケイド（偽）

>>>100

何!?早く教えてプリーズ!

102：下衆大使

ああ、それはだな

「…成程、大体わかった!」

104：名無しの女神

つかささん!?

するとあるうことかデイケイドは左手を離し、自由落下を始める。その行動に Patricia^{パトリシア}側も困惑し、一瞬だけ動きを止める。

《FINAL ATTACK RIDE》

デイケイドはその一瞬を見逃さず、ドライバーのサイドハンドルを押し込み、飛び蹴

りの姿勢を取る。

《DE DE DE DECADE》

「フンッ！うおおおおおおおつ!？」

するとディケイドとPatriciaの間には一直線にずらりと並んだカードに吸い込まれる様に最高速で突っ込んでいく。

「ハアアアアアアアアッ!!」

118：ダクソニキ

うおー!

119：下衆大使

やったか!?

120：タマトリグサ

>>119

おいバカ

しかし、Patriciaはまだやられてはいない。ディケイドを振り落とそうと、或いは捕まえようと暴れる。

「なっ!?!クソ。大人しく、しろっ!」

デイケイドは振り落とされそうになりながらも、ドライバーを再度操作し、ライドブツカーを掲げ、エネルギーを集中させる。

《DE DE DE DECADE》

「フンッ！」

そして、デイメンションスラッシュをPatriciaに叩き込もうとするデイケイド。そこに、超高速で突撃する青いナニカ。

128：デイケイド（偽）

いった!?なんだコイツ!

129：動くただのEXP

オイオイオイオイ!

130：とある魔法の光線銃

ちよつとちよつと

131：デイケイド（偽）

何?コイツそんな強いのか?ヤなんだけど

132：下衆大使

ソイツ

N A S C A

132：下衆大使

ナスカドーパントって言って、仮面ライダーに出てくる幹部クラスの怪人ですね

133：デイケイド（偽）

：つまり？

134：シユル天アガイガイチグニール

シヨツカーからの追手ですね本当にありますがとうございました

135：デイケイド（偽）

136：タマトリグサ

オイオイオイ、死んだわコイツ

『フンツ！』

「うわああああこっちは来んなあああああ!!！」

ナスカドーパントの接近が原因となり、絶望から意識を浮上させるデイケイド。ヤケ

になり振るつたライドブツカーが偶然にもロープに当たり、ナスカドーパントの追撃を逃れる。

『!?!』

その狙ったかのような偶然に一瞬頭が真っ白になる二人。その隙をP a t r i c i a パトリシアが見逃さず、ナスカドーパントを下半身の手で掴み、そのままスカートの中に突っ込む。

145：デイケイド（偽）

なんかエロゲでこんなシチュ見たぞ俺、なんかファンタジーモノの奴で相手を小さくさせるんだけど

146：ダクソニキ

それ以上、いけない

147：名無しの女神

つかささん：

148：下衆大使

あつちが頭やぞ

149：デイケイド（偽）

成程？道理でなんかバリバリゴリゴリ言ってるなーとか思ってたら喰われてんのか

150：とある魔法の光線銃

よくそんなグロイの耐えられるな、怖くて見れない

151：タマトリグサ

いや、鉄壁スカートで見れない

152：シユル天アガイガイチグニール

ええ…

153：動くただのEXP

いやボーツとしてないでトドメさせよイッチ

154：デイケイド（偽）

それもそうか

「よし…」

デイケイドはそう小声で呟き、再度バツクルを操作し、ライドブツカーを構える。

《DE DE DE DECADE》

「ハアアアアアアアアッ！」

そうしてトリガーを引き、放たれた赤いエネルギー光弾【デイメンションブラスト】により、Patriciaは爆発四散し、大空の様な魔法の結界はゆらめく様に消えていった。

「見つけたわ、デイケイド。この悪魔」

「前は逃したが、今度はそう簡単には行かねえぞ」

「またお前らかよ…」

219：デイケイド（偽）

もうなんなん？コイツらマジで（半ギレ）

220：タマトリグサ

また絡まれてる

221：とある魔法の光線銃

草生える

222：ダクソニキ

クソワロタ

223：デイケイド（偽）

ええい笑つてろやつてやるよオラァン！

224：名無しの女神

あ、私からも後でお話があるので、覚悟してくたさいね？つかささん？

225：デイケイド（偽）

アツハイ

226：動くただのEXP

キレとるやんけ

227：下衆大使

ワロス

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 Part 3

「ティロ・ボレーー！」

「フンッ！」

ディケイドはバマミの放った銃弾の雨をオーロラカーテンで防ぎ、お返しと言わんばかりにライドブツカーを乱射する。

245：ディケイド（偽）

オラオラ！オラッ！

246：シユル天アガイガイチグニール

ほーらAIM乱れてんよー

247：下衆大使

もつと狙ってホラホラ

二人は難なく回避し、攻撃を加える。佐倉杏子は槍で攪乱し、バマミはそれで出来た隙に撃ち込む。依然として、魔法少女側が優勢。その戦場の中心に、オーロラカーテンが出現する。

「え？」

「ツ！テメエ今度は何しやがるってんだ！」

「知るかボケ！身に覚えがねーわ！」

「テメエ以外に誰がいるってんだバーカ！」

「あゝあゝ!?!」

251：動くただのEXP

イツチは何か策があるのかーっ！

252：下衆大使

おせーておせーて

253：デイケイド（偽）

知るかっつて！俺じゃねーっつて！

254：名無しの女神

じゃあ、一体誰が…？

255：とある魔法の光線銃

…もしかして

バマミは二人の小競り合いを尻目に、オーロラカーテンを警戒する。そこから出てき

たのは、黒いソフト帽を被り、黒のベストにストラックス姿の茶髪の男性。

「…」

「あ？誰だアイツ。テメエの仲間か？」

「知るかつつてんだろカス」

「お前がデイケイドか。聞いていた通りだな」

男がそう呟くと、赤いメタリックなベルトを装着、黒いUSBメモリを取り出し、再び呟く。

「いくぜ、フィリップ」

JOKER!

262：名無しの女神

だ、誰なんですかあの人

263：ダクソニキ

イツチ

264：シユル天アガイガイチグニール

悲報が入った

265：デイケイド（偽）

あ？

266：下衆大使

訃報になるかもな

直後、右のスロットに緑色のUSBメモリが出現。男は左手でメモリを押し込み、メモリを持った右手を構える。

「変身ッ！」

「あ？」

「へ？」

269：デイケイド（偽）

ウソだろおいアイツいま変身つつたぞ

270：下衆大使

イツチ、落ち着いて聞いて欲しい

271：デイケイド（偽）

：おう

272：シユル天アガイガイチグニール

もしかしてこれって

273：タマトリグサ

そう：

男は右手の「ジョーカーメモリ」を「ダブルドライバー」に差し込み、そのまま開く。すると空中に銀色の破片が散乱し、男を足から超人に変身させる。

CYCLONE！ JOKER！

男が変身した緑と黒の超人はその黒い左手でデイケイドに殴りかかり、デイケイドはその拳を右手で受け止め、左手で殴ろうとするが、超人はそれを緑色の右手で受け止め、膠着する。

「…ダメ元で聞こうか。なんだお前は」

そう聞かれた超人は、デイケイドを蹴り飛ばして距離を置き、名乗る。

『…俺は、俺たちは、仮面ライダーダブル。町の涙を拭う、二色のハンカチだ』

左手を軽快にスナツプさせ、そのままデイケイドを指差したダブルはとある言葉を投げかける。

『さあ、お前の罪を数えろ！』

276：タマトリグサ

鳴滝からのおかわりだぞオラア！

277：ディケイド（偽）

あああああああああああああああああああああああ
ああああああ！！！！

278：シユル天アガイガイチグニール

こいつ前世でなんかしたんか？ ってぐらい踏んだり蹴ったりなことになってるやん

279：下衆大使

生きてたら聞こうか

280：ダクソニキ

R・I・P

「つかささん……！」

世界のどこでもない場所で、私は思わず彼の名前を口に出してしまう。

『え？何？お前幽霊的サムシングなん???』

もう誰とも話せないと思ってた私に、

『へー、全ての魔法少女を救う、ねえ…。すげーじゃん、俺だったらその場凌ぎで変なこととして自爆してそう（笑）』

希望を保つ代償で絶望しかけた私に、希望を与えてくれた人。願いを叶えてから初めて私を見てくれた人。

『いってー…強過ぎんだろあの二人。どーなってんのホント』

なんでいつも傷つくの？

『それじゃ行ってくる。大丈夫だって、すぐ戻ってくる。待ってる』

なんで行っちゃうの？

待ってよ。お願いだから

「…無茶、しないでよ……！」

「ウオラッ！」

「ゴボエッ！」

ダブルはデイケイドによるライドブツカーの横薙ぎをアッパーで弾き、腹に二連パンチを叩き込み、ハイキックを打ち込む。

デイケイドも負けじとダブルにヤクザキックを打ち込み、追撃でライドブツカーを乱射する。

304：極み変わるメタモン

今北産業

305：ダクソニキ

委員長魔女ムツコロシ

ダブル乱入

イッチピンチ

306：極み変わるメタモン

えつつつ

307：シユル天アガイガイチグニール

イッチさつきから余裕無いか全然レスしない

『ふむ…ならコレだね』

ダブルはそう言うのと、メモリを引き抜き、新しいメモリを差し込み、再度ドライバー

を開く。

LUNA! TRIGGER!

するとダブルのソウルサイドは黄色、ボディサイドは青に変化し、「トリガーマグナム」が出現、引き金を引く。

すると放たれた光弾が変幻自在にその軌道を変え、デイケイドを襲う。しかしデイケイドはバマミと同じ様にオーロラカーテンで防ぐ。

「ッーなら、こうだー!」

デイケイドはそう叫ぶとベルトにカードを突っ込み、ライドブツカーを構える。

FINAL ATTACK RIDE

DE DE DE DECADE

直後、ライドブツカーから委員長の魔女を葬ったビームがダブルの足元に放たれ、一帯は爆炎に包まれる。ダブルは煙を払い辺りを見渡すが、デイケイドが立っていた場所には消えかけのオーロラカーテンがあるだけで、それはデイケイドが逃亡に成功したことを意味していた

315：とある魔法の光線銃

おいイツチ大丈夫か？

316：下衆大使

あつ、このモヤモヤは

317：動くただのEXP

ほう、逃走ですか。懸命ですね。

318：タマトリグサ

よし、ひとまず無事か

319：デイケイド（偽）

よーし逃げ切ったー！強過ぎんか？

「あーいてて、アイツ強過ぎだつてばよ。あの半分こ怪人が」

「つかささん？」

「…あつ」

「さて…お話ししましょうか」

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】Part 4

神秘的な宇宙を背景に、正座させられた佐藤士が仁王立ちをしている鹿目まどかを見上げる。

「つかささん？」

「ハイ」

「無茶はしないでくださいって言いましたよね？」

「ハイ」

「何でロープ離したんですか？」

「いやー、行ける気がして」

「ソレで行けなかったじゃ洒落にならないんですよ」

「…」

「全く…わかってます？つかささんがいないと私はやってけないんですよ？それに

そうやって説教を始めるまどかを前に、士はとある動作をする。そう

【急募】説教を逃れる方法【教えて】

1：名無しの転生者

たちけて

2：名無しの転生者

何したねん

3：名無しの転生者

適当にコテハンつけろや

4：怒られワイ

おう、でな？ちよつと襲われたからちよつと無茶な真似して戦ったんや、そしたら友達
達がキレた

5：名無しの転生者

草

6：名無しの転生者

ワロタ

士が次のレスを書き込もうとしたその瞬間、頭の中の掲示板に、とあるフレーズが浮かび上がる。

このスレッドは削除されました。

士は絶句した。スレッドの削除が出来るのは立てた本人か運営である神のみ。目の前にいる女の子は神、つまるところは。

「つかささん?」

「…な、何でございましょう」

バレた。士は咄嗟に目を逸らす、その行動が仇となる。

「今何しようと思いました?」

「いえ、特に何も」

「目を見て話しましょう。ね?」

340：下衆大使

まどかちゃんキレとるやんこっわ

341：ダクソニキ

こわ

342：とある魔法の光線銃

こわE

343：動くただのEXP

イツチ何しようとしたんや

「神様だからわかるんですよ。何でスレ立てようとしてるんですか？何だったら消せま
すからね私」

「…」

347：タマトリグサ

何してんねん草

348：下衆大使

こんなん笑うわ

349：極み変わるメタモン

怒られてんのにスレ立てんなや

「そういえばライブまだ切ってませんでしたね。切ってください」

「え、いやでも」

「早く」

「アツハイ」

その凄みに負け、あつさりとライブ機能を終了させる土。

「全く…それでですね」

そうして、再度長々と説教を続けるまどか。朦朧とする土の意識。

「何寝ようとしてるんですか？」

それをまどかが頬と耳を引っ張る事で阻止する。清々しいまでの笑顔である。

「いだけだだだだっ!!何だっ!」

「おはようございます、つかささん？」

「あ、はい。おはようございます」

「さて、説教の最中にも関わらず寝ようとする悪い子の罰についてなんです」

「…ですが？」

「謹慎です。一ヶ月」

「余裕で餓死しますが????」

まどかは土のその問いの答えと言わんばかりに両手を叩く。すると土の目の前にポ

ンツと言う音と共に一つのおにぎりが出現する。

「お、おお？」

「これで問題解決ですね？つかささん？」

「アツハイ」

「食べながらでいいので聞いてください。そもそもですね

（誰か助けて…）

「またも長々と続くまどかの説教を前に、士はそんな事を思うのであった…。ちなみに具は梅干しだった。」

「と、まあこんなところでしよう。わかりましたか？つかささん？」

「…ハイ…」

「…想像以上にグロッキーですね。すいません、やり過ぎました。もう怒ってませんよ」
まどかは士にそう優しく言うのと、掲示板に書き込んだ。

823：名無しの女神

すいません皆さん。お待たせしました。

824：ダクソニキ

終わったー？

825：シユル天アガイガイチグニール

終わったっばい

826：下衆大使

イツチ乙ー

827：ディケイド（偽）

やつと終わったンゴ：つらたん

828：とある魔法の光線銃

ギャル語やめろ

829：タマトリグサ

ギャルイツチ：？

830：極み変わるメタモン

ただのイキリ陽キャ定期

831：ダクソニキ

誰得定期

832：動くただのEXP

ヴオエ!!!!

833：ディケイド(偽)

そんなお前らに速報や

俺謹慎になった

834：下衆大使

フアツ!?

835：シユル天アガイガイチグニール

嘘やろ!?!この中で!?

836：名無しの女神

具体的に言うとか一ヶ月です

837：とある魔法の光線銃

イツチ餓死するんじゃないの？

838：名無しの女神

円環の理の力で食べ物を創造できます

839：タマトリグサ

はえーすつごい

840：下衆大使

無から有を創造したか、やるな

841：動くただのEXP

やばい勇者きた

落ちるわ

842：タマトリグサ

>>841

死ぬなよ

843：下衆大使

>>841

頑張れ

844：ダクソニキ

>>841

逃げろ

845：シユル天アガイガイチグニール

>>841

振り切れ

846：とある魔法の光線銃

うああああああああああああああああああ

ラーメン落としたああああああああああああああああ

【床に散乱したカップラーメンの画像】

847：デイケイド（偽）

草

848：ダクソニキ

急にきてワロタ

849：下衆大使

洗え、拾え、そして食え

850：極み変わるメタモン

草草の草

851：タマトリグサ

やめろwwwwww

971：ダクソニキ

絶対にとつたるぞ

972：名無しの女神

あの、何が始まるんでしょう？

973：下衆大使

1000レスって言うって、俺が>>1000だったら、「」が「」するみたいな感じで誰が当たるかかって言う遊び。

974：とある魔法の光線銃

これが意外と楽しい、たまーに1000レスで書いた事が叶ったなんて事もあるぞ

975：下衆大使

俺みたいな暇人はこれ目的だったりする

976：名無しの転生者

俺みたいなROM勢とかもな

977：名無しの転生者

イエーイ見ってるー？

978：動くただのEXP

やっつと逃げ切ったぞオラア：

979 : 名無しの転生者

>>978

こいつどうしたん？

980 : 極み変わるメタモン

>>979

マドハンドに転生して勇者に追いかけて回されてる

981 : 名無しの転生者

草

982 : 名無しの転生者

草生える

983 : シュル天アガイガイチグニール

場が持たなくなってきた

ksk

984 : 名無しの転生者

ksk

985 : 下衆大使

ksk

986 : 名無しの転生者

k s k

987 : とある魔法の光線銃

次スレ

h t t p : / / T E N S E I . N E X T . N E T . j p /

988 : 名無しの女神

k

989 : 動くただのEXP

そろそろか

1000 だったらイツチ覚醒

990 : 名無しの転生者

k s k

991 : ダクソニキ

1000 ならイツチ大敗北

992 : とある魔法の光線銃

1000 ならイツチVS本物ディケイド

993 : 極み変わるメタモン

1000なら俺が平和を手に入れる

994：名無しの転生者

1000なら俺が神になる

995：下衆大使

1000ならイッチが安価そつちのけで俺の封印を解く

996：デイケイド（偽）

1000なら円満なハッピーエンド

997：名無しの転生者

1000ならワイも参戦

998：名無しの女神

せ、1000なら私がつかささんとチューするっ！

999：名無しの転生者

1000ならこの世全てのリア充が減ぶ

1000：シユル天アガイガイチグニール

1000なら私がいッチを特訓させる

1001：運営

このスレッドにはもう書き込めません。

次のスレッドを立ててください。

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 2スレ目

1：デイケイド（偽）
やってくぞー

2：名無しの転生者

面白そうなスレだな、張り付き

3：とある魔法の光線銃

とうとう2スレ目か

4：ダクソニキ

ダブルどうすつぺ

5：下衆大使

そりゃあ特訓あるのみだろ

6：シユル天アガイガイチグニール

私が特訓つけたるぞ

7：動くただのEXP

ドーモ、>>2||サン、マドハンドです

8：名無しの転生者

ドーモ、マドハンドIIサン、>>>2です

9：極み変わるメタモン

唐突な忍殺語録に草を禁じ得ない

10：タマトリグサ

それよりもシンフォギアネキだ

いけんのか？

11：ダクソニキ

それだよ

ギャラルホルンじゃどーにもならないだろ

12：名無しの女神

あの、ギャラルホルンって何ですか？

13：下衆大使

ギャラルホルンとは、簡単に言えばランダムで並行世界に飛ぶ不思議アイテムで、密かに管理されてたけどある日突然起動してんやわんやになる。

14：ダクソニキ

ランダムだからまどかちゃんとかと会える可能性は限りなく低いですねぇ

15：名無しの女神

あの、無理しなくても良いんですよ…？

16：シユル天アガイガイチグニール

甘いな、舐めないで頂こうか

私の装備には六種類の武器が宿っている

その中の一つ、アガートラムの絶唱効果、ベクトル操作でギャラルホルンの志向を調整する事が出来る。もろたでイツチ！

17：ダクソニキ

>>>16

負荷は？

18：シユル天アガイガイチグニール

>>>17

知らん、まどかちゃんに治してもらうさ

19：名無しの女神

…何でこの人達はこうも無茶するんでしょう？

20：デイケイド（偽）

>>>19

バカだから

21：下衆大使

>>19

後先考える知能がないから

22：シユル天アガイガイチグニール

そこに美少女がいるから

23：名無しの女神

：バカなんですか？

24：タマトリグサ

exactly!

25：ダクソニキ

逆になんで頭がいいと思ってしまったのか

26：動くただのEXP

この前かしこさ調べたら5だったぞ

27：シユル天アガイガイチグニール

中学二年生で家出私、渾身のドヤ顔

28：極み変わるメタモン

ええ…(困惑)

29：下衆大使

義務教育こわれる

30：ダクソニキ

マジで何してんねん

31：デイケイド(偽)

俺でもドン引くレベル

32：シユル天アガイガイチグニール

さて、ちよつとりデイアンにカチコミかけてくる

33：下衆大使

>>>32

ネキ「大阪や！はや開けんかいゴラア！」

34：シユル天アガイガイチグニール

>>>33

だいたいあつてる

ほな、行つてきまーす

35：デイケイド(偽)

カーモンベイビーイセカイー

36:とある魔法の光線銃

ああああああああああああああああああああ

【ごはんの山から流れ落ちる生卵のGIF】
!!!???

37:極み変わるメタモン

草

38:デイケイド(偽)

まーたごぼしてるよ

39:ダクソニキ

ホンツトにコイツは

40:名無しの転生者

やはりワイの目に狂いはなかったか

41:名無しの女神

ええ…?

「ちよりーす。うわ、背景から察してはいたけどホントに宇宙じゃん。どうなってるのこれ」

「おー、来た来た」

「よーイツチ。マジのガチで原作のまんまじゃん。まどかちゃんもはじめまして、愛子でーす」

「は、はじめまして…」

そー怯えんでもええて、と輝くワームホールから現れた山吹色の髪をしたロングヘアの少女「立花 愛子」がまどかの頭を優しく撫でながら諭す様に言う。まどかは他の世界から来訪した新しい刺激に興味津々の様だ。

「あ、あの。色々とお話し聞かせてもらっても良いですか？」

「いーけど後でいい？イツチに稽古つけなきやだし」

「は、はい！えへ…」

「はーかわい。めっちゃ可愛いじゃんこの子、天使かってあ、ちよつとごめんね」

「…？はい」

「ん、ありがとヴォエツ!!」

「キヤツ!?だ、大丈夫ですかー!?」

「オイオイオイ大丈夫かよ!?」

68:ディケイド(偽)

吐血したぞ大丈夫かコイツ!

69:シユル天アガイガイチグニール

いやーごめんね?絶唱の負荷ヤバかったわ

70:名無しの女神

ま、また吐いたー!

71:極み変わるメタモン

えっぐ、ライブしないでよかったな

72:下衆大使

美少女が可哀想なのはNG

「全く…次はないですからねっ!」

「いやホント助かったわ、さんきゅ」

ぷりぷりと怒るまどかに謝りながらまたも頭を撫でる愛子。

「もう！いい加減頭撫でるのやめてください！」

「おっと、失敬失敬」

「何で俺の髪は引つ張るのかな？」

「美少女に懷かれてムカつく、以上」

そう言つて二人の髪を離し、愛子は土に話しかける。

「イツチ、オーロラカーテンで足場作つてくれる？かるーく、20メートルくらいで」
「おう」

そうして展開されたオーロラカーテンの上に、デイケイドに変身した土と、生身の愛子が相對する。

「よし、じゃーはじめよー」

「…何かしないのか？」

何かつて何が？と聞き返す愛子に土は続けてこう、武器とか色々と言えば

「あー、忘れてたわー、さんきゅ」

「いや忘れてたつて…」

B殺alw戮isyaまllでnesのcellウオーgunムgnirアッtronブ

その瞬間、愛子の身体が眩く輝き、ギアが装着される。その名は【撃槍・ガングニール】灰色を基調としたリビルドバージョンである。

「…あ、コレ実践形式？」

「いや？フツーに手取り足取りだけど」

「成程」

士にそう返された愛子は左腕に宿るアームドギア【絶刀・天羽々斬】の技【千ノ落涙】を発動、具現化された刀を手に取り、近づく。

「はい、構えて。つってデイケイドに構えはないか、取り敢えず振り方から」

「押忍」

「必ずしも両手で振るんじゃないわ。こう、なんて言うんだろ。我武者羅に振り回すのはナシ。隙だらけ」

「おう…押忍」

「あとはそーだな…、銃の乱射は間違っつてはないから、まあ臨機応変に」

「押ッ忍」

「そだ、オーロラカーテンつてき、あれどんな感じなん？形とか変えられる？」

「あ？あゝ、どうだろ」

「やってみよーぜ。変幻自在とかだつたらめっちゃ強いし汎用性高いしで無敵だろーし」

「いやー、本当に出来るとはねー」

「こんな適当な説明で、と付け加えた愛子の前には、ヌンチャク型のオーロラカーテンを持ったデイケイドの姿が。」

「それじゃ、実践行ってみよーか」

「へ？」

「とりま200メートルぐらいにまでオーロラカーテン広げよ、じやなきや落っこちるし」

「あー、手加減はお願いするぜ？」

「生憎、気に入った物は長く保たせるタチなモンで」

「そう言つて、愛子は剣を振るい、デイケイドはそれをライドブツカー刀身で受け、バツクステップで距離を取る。」

「とりま、最初はマミの戦い方でやってみよっか」

愛子はそう言うと、アンダースーツに宿るアームドギア【魔弓・イチイバル】と天羽々斬の技を放つ。

BILLION MAIDEN

千ノ落涙

具現化された剣とガトリングガンによる一斉掃射を、デイケイドは大楯型のオーロラカーテンで防ぎ、ライドブツカーをガンモードに切り替え乱射する。

愛子はそれを華麗に躲し、続けてマフラーに宿るアームドギア【塵鋸・シユルシャガナ】と左足に宿るアームドギア【獄鎌・イガリマ】の技を放つ。

α 式・百輪廻

切・呪りeツTお

続いて放たれるのはブーメラン型の鎌と大量かつ小型の丸鋸。デイケイドは大型のオーロラカーテンに身を隠す事によってなんとか凌ぐ。

「チツ……このままじゃジリ貧だ。何か手はねーもんかね」

そう呟くデイケイドの横に一つのオーロラカーテンが出現。そこからスクーター型のバイク「マシンデイケイダー」が現れ、デイケイドの前で静止する。

「あー、乗れと？あんがとさん！」

マシンデイケイダーに跨り、オーロラカーテンから飛び出したデイケイドがとあるレスに気づく。

156：とある魔法の光線銃

イッチ！イッチ！

157：下衆大使

ライブ機能忘れとるで

158：シウル天アガイガイチグニール

あ、忘れてたわ

スマソ

h t t p : / / T E N S E I . N E X T . N E T . j p /

159：デイケイド（偽）

俺もや

スマソ

<http://TENSEI.NEXT.NET.jp/>

160:タマトリグサ

わーい ^ ^

161:極み変わるメタモン

のりこめー ^ ^

162:ダクソニキ

けつとー ^ ^

163:名無しの女神

もう！何でいつもいつも暴力なんですかー！

164:デイケイド(偽)

A. ダブカスと黄赤コンビに勝つため

165:下衆大使

ダブカス草生える

「さーて、仕切り直しと行こうか？イーツチ？」

「ああ、お手柔らかに頼むぞ」

「気が向いたら、なっ！」

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 2スレ目 P

a r t 2

宇宙の様な世界を背景に、立花愛子の右腕のアーマーに展開された大剣でのエルボーがデイケイドを狙う。

S E R E † N A D E

デイケイドはそれを後ろに仰反る事でスレスレで躲し、バク転の要領で愛子の顎を蹴り飛ばす。

蹴り飛ばされた愛子は一瞬怯むが、すぐに持ち直して左手に持った刀型のアームドギアをデイケイドの首目掛けて振るう。

「危ねっ！」

「そーらー！どんどんいくぞー！」

非常Σ式・禁月輪

炎鳥極翔斬

愛子はマフラーを縦向きの円形に展開し、回転させながら突貫。炎を纏う左手の手刀で斬り込む。

デイケイドはそれをライドブツカーの刀身で逸らし、そのまま愛子を斬りつける。

愛子はそれを右手で受け止め、右足でデイケイドを蹴り飛ばし、追撃で呪りeツTおを放つ。

それを細長い紐状にしたオーロラカーテンで叩き落とす、攻撃に転用。鞭を模した一撃が愛子を襲うが、愛子はこれを華麗に躲し、デイケイドに肉薄する。

デイケイドは大型のオーロラカーテンを展開して防御を試みるが、愛子の纏うアガートラムの右手がオーロラカーテンを砕いた。

「なっ!？」

「オラアアアアアッ！」

「オゴッ」

銀の左腕

186：ダクソニキ

決まったーっ！

187：名無しの女神

この技は何でしょう？

188：下衆大使

>>>187

【銀の左腕】と言って、「『全て』に届く可能性を秘めた少年の左腕」を顕現させた重装の左腕を、全身全霊とともに対象に叩きつけ、あらゆる原理を貫き必ず『未来』を繋ぐアガートラムの必殺技だよ。要するにただの全力殴打だけどとあるOTONAが登場するあの世界だとぶっちゃけこれしか勝たないので問題なし

189：動くただのEXP

あー、OTONAねー…

190：シユル天アガイガイチグニール

あの厨二病恐ろしく強いからなー…

191：名無しの女神

え？でも、右手で叩いてますよね？

192：極み変わるメタモン

それ以上、いけない

193：とある魔法の光線銃

こまけえこたあいいんだよ！

殴り飛ばされたデイケイドに更に追撃を加えるべく、愛子は肉薄するが、それをデイケイドがライドブツカーを振り回す事で阻止。

「チツ…」

FINAL ATTACK RIDE

DE DE DE DECADE

バックステップで距離を取った愛子。そこに急接近したデイケイドがドライバーのバツクルを操作し、「ディメンションスラッシュ」で斬り込む。そこに

「オッラァッ!!!」

「ゲボッ」

死に物狂いで接近したデイケイドに恐怖を感じた愛子が咄嗟に放った拳がデイケイ

ドの顎にクリーンヒット。デイケイドは崩れ落ち、エネルギーを帯びたライドブツカーが宙を舞っていく。

「や、やば。やり過ぎた！オイ大丈夫か!？」

「つ、つかささくん!？」

そうして、変身を強制解除させられた士は、意識を失った

同時刻、見滝原市にある小屋『鳴海探偵事務所出張所』にて、仮面ライダーダブルこと左翔太郎とフィリップがコーヒーを、巴マミと佐倉杏子が紅茶を口に運ぶ。

「…それで、話つてのは?」

「ああ、話つてのはアイツ…ディケイドについてだ」

「奴について検索してみても、鍵がかかって読めない状況だ。恐らくキーワードが必要なのだが、それとは別に。これからどうするのかと言う話さ」

「どうするもこうするもねえだろ。あんま強くもねえし、この四人で叩き潰しや終わりだろーが」

その杏子の意見に、フィリップがそこだよ、と声を上げる。

「あ?」

「あまり強くもないなら、世界の破壊者などと呼ばれもしない筈だ。なのに奴は世界の破壊者としてこの世界に現れた」

「…そっか、奴はまだ未成熟。だからチャンスは今のうちにつて事ね」

マミの発言にその通り、と返答するフィリップ。首肯する翔太郎。

「だからこその作戦会議だ、奴がこれ以上強くなる前に潰すその方法。それを考えるんだよ。次現れた時、どれだけ強くなっているかも分からねえからな」

「それに、奴についても不明な事だらけ。色々と対策を立てたくて呼んだ次第だ」

「成程、それで? どうするの?」

「ああ、まずは

267 : ダクソニキ

ハルパゴクセヌスカナデンシス

268 : 名無しの女神

何ですかそれ？

269 : ダクソニキ

ああ知らない？

外国にいる他のアリのを奴隷にするアリなんだけど

270 : とある魔法の光線銃

ファッ!?

271 : 下衆大使

博識で草

272 : タマトリグサ

なんかワロタ

273 : とある魔法の光線銃

え、えと、スレ!

274 : 下衆大使

ほほう、困りましたなあ、レプトトラクスムスコルム

275 : タマトリグサ

ファッ!?

276 : 動くただのEXP

秒で返されてんのウケるわ

277 : 名無しの女神

…ちなみにそれは?

278：下衆大使

ああ知らない？

さつき言った奴に奴隷にされる側のアリなんだけど

279：極み変わるメタモン

いつまで続くんだよこれ

280：タマトリグサ

もう丸三日は経ってますけどー？

281：シユル天アガイガイチグニール

そろそろ起きると思われ

282：ダクソニキ

しゃーないな

俺の地下墓地攻略でも見るか？

283：名無しの女神

どんな場所なんですか？

284：とある魔法の光線銃

まどかちゃんガイコツとかは平気？

285：動くただのEXP

ちよっとだけホラーテイストだゾ

トラップと数の暴力でブチギレ必至だけどな

286：名無しの女神

だ、大丈夫ですけど：

287：ダクソニキ

暗闇の洞窟で死角から車輪背負ったガイコツが奇襲仕掛けてきてすぐ死ぬぞ☆

駆逐してやる(ブチギレ)

288：極み変わるメタモン

めっちゃキレてて笑うわ

289：タマトリグサ

じゃあ次俺

ムハンマド

290：ディケイド(偽)

【悲報】俺以外の奴ら、悉く強い【最悪】

291：名無しの女神

つかささん!

292 : シュル天アガイガイチグニール
やつと起きたか

293 : 下衆大使

イツチキタ——(。△。)———!!

294 : ダクソニキ

＼? (' ω ') ? // //

295 : とある魔法の光線銃

イエーイ(。△。)—(。△)—(。)—(。)—(。)—(。)—(。)—(。)—(△。)

—(。△。)—!!

296 : デイケイド(偽)

なんかめつちや怖い夢見たわ

297 : 名無しの転生者

どんなだい?

298 : 動くただのEXP

w k t k

299 : 下衆大使

ほう、怪談ですか。（病み上がりで）大したものですね

300：デイケイド（偽）

なんかね、真っ暗だったんよ

そしたらなんか見えてきて、顔が半分しかない女の子が急に目の前にパツて現れたんよ、本当に近づいて来たとかじゃなくて、急にパツと。

そしたら急にゲラゲラ笑い始めて、そのまま数十分くらいした後には両手で顎掴まれて言われたんだよ

「ああ、ようやく会えましたね？ 私だけの破壊者様」

って、それで爆笑とまではいかないけどまた笑い始めたんだよ。

めっちゃ怖かったわ

301：名無しの女神

ひ、ひい…！

302：ダクソニキ

k o e !

303：とある魔法の光線銃

びつくりするほどユートピア

304：下衆大使

エンガチヨ

305：動くただのEXP

これは…ヒロインフラグやな？

306：極み変わるメタモン

ヤンデレヒロインか、しかも束縛系と見た

私の性癖には合っていますね！

307：シウル天アガイガイチグニール

>>305

>>306

アンタら何ddd dd d dで平気なの？

もう夜道歩けないじゃんddd dd d d d d d d どうしてくれんの？

308：動くただのEXP

だつて隙あらば襲われるし

309：極み変わるメタモン

日頃から人間共に狙われて夜も眠れないし

310：ダクソニキ

強く生きて

311：下衆大使

愉快部の犠牲者がこんなところに（驚愕）

312：とある魔法の光線銃

アカン

313：シウル天アガイガイチグニール

dddddっどうした？

314：タマトリグサ

漏らしたか？

315：とある魔法の光線銃

>>314

：正解

316：名無しの女神

もうあつちもこつちもてんやわんやじやないですか！

起きて早々どうしてくれるんですか！

317：デイケイド（偽）

いや俺に言われましても

318 : とある魔法の光線銃

今すぐにマミ杏に喧嘩売ってこい

319 : タマトリグサ

土下座、はよ

320 : ダクソニキ

人間性寄越せ

321 : 下衆大使

まどかちゃんの足か手にキスしろ

何なら口でも良き

出来ないならワイの封印を解け

322 : 名無しの女神

>>321

なんて事言うんですか!?

323 : 下衆大使

1000レスで何て言ってたっけなー?

あー何だっけなー?

324 : ダクソニキ

下衆大使が下衆大使してる

325：名無しの女神

う、うう…！

326：デイケイド（偽）

お前から言いたい放題が過ぎるて

シンフォギアネキはどないしたねん

327：シユル天アガイガイチグニール

イツチを気絶させた罰としてこうなつたん d d d d d d d つだよ

328：デイケイド（偽）

ごめん草

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】2スレ目Pa

rt3

338：デイケイド（偽）

そういえばさ

339：シユル天アガイガイチグニール

あ？

340：下衆大使

どうした

341：動くただのEXP

トイレどうするのかって話か？

342：デイケイド（偽）

>>341

違う、本物の方のディケイドってどんな感じなん？

343 : とある魔法の光線銃

あー

344 : ダクソニキ

バーコードもやし、以上

345 : 下衆大使

適当すぎて草

346 : タマトリグサ

真面目に解説すると、並行世界のライダーを破壊する筈だったディケイド【門矢士】が助け、仲間にする話

347 : 極み変わるメタモン

決め台詞の「通りすがりの仮面ライダーだ！覚えておけ！」がこれまたカッコよくてな？

348：名無しの女神

へえ…：そうなんです。士さんも言うんでしょうか？

349：デイケイド（偽）

やんないよ？

350：ダクソニキ

は？

351：下衆大使

は？

352：シユル天アガイガイチグニール

は？

353：デイケイド（偽）

やったらマジで俺がデイケイドになっちゃうじゃん

ダブルみたいなのにこれ以上目エ付けられても困るし

354：名無しの転生者

慢心せずして何がデイケイドか！

355：動くただのEXP

そうだそうだ

356：デイケイド（偽）

コテハンみろお前ら、人違いなんだよ。俺は仮面ライダーじゃねーんだよ

357：ダクソニキ

その見た目で仮面ライダーじゃないは無理でしょ

358 : シュル天アガイガイチグニール
流石に無理やて

359 : 動くただのEXP

逆にライダーじゃないならイッチは何やねん

360 : デイケイド (偽)

ただの通りすがり？

361 : タマトリグサ

見事に逆で草

362 : とある魔法の光線銃

ライダーじゃないなら何でイッチは戦うねん

363 : デイケイド (偽)

>>362

いやさ、まどマギって鬱な展開で有名じゃん？それやったら何とかしといた方が良いのかなって

364：極み変わるメタモン

意志ゆつるゆるで草なんだわ

365：ディケイド（偽）

>>364

悪かったなゆつるゆるで

366：シウル天アガイガイチグニール

まあ、付き合っというてやるよ。やること自体は悪いって訳じゃねーし

367：ダクソニキ

全く、しゃーないな

368：名無しの女神

374 : シュル天アガイガイチグニール

ア。

375 : デイケイド (偽)

オネーサンユルシテ :

376 : 名無しの女神

正座して下さい、早く

377 : デイケイド (偽)

ウワアアアアアア (ω、) アアアアア!!

378 : シュル天アガイガイチグニール

YO☆YO☆YO☆ (/ 。 \)

379 : 動くただのEXP

またかよ

380：下衆大使

い つ も の

381：ダクソニキ

休憩タイムやな

382：とある魔法の光線銃

カツプラーメン作ってくる

383：動くただのEXP

>>382

こぼすなよー

「で？何か申し開きは？」

「(特に) 無いです」

「俺も無いです」

「そうですか、あのですね。特訓するのも良いですけど多少の手加減はするべきでしょう？何で初手ガトリングガン何ですか？士さんも、必殺技じゃなくても良いでしょう」

「…後に戦うであろう魔法少女の上位互換で経験積ませようかなと」

「殺す気でやるぐらいじゃないと掠りもしないかな、と思つて」

「…本当に馬鹿なんですか？」

「中学中退です」

「偏差値42」

「今は勉強の事何て聞いてません」

「アツハイ」

「そもそもですね」

「まーた長くなる奴やんけ。つらたん」

（アツアツアツ…）

「と、このくらいでいいでしょう、終わりですよ。楽にして構

「いません」

「うーす。まさかぶつ続けで5時間とは恐れ入った。まどかちゃんよくそんな長々と叱れるね」

「」

「ほーら、おーきーろー。続きやんぞー」

「…又ツ。やべえ意識飛んてた」

「起きたか。よし、続き行くぞー」

「ウ。ツ」

413：シユル天アガイガイチグニール

終わったぞー

414：とある魔法の光線銃

やっと終わったか

415：動くただのEXP

起きろ野郎共ー！

416：下衆大使

以降、ダイジエストでお送りします

417：ダクソニキ

>>416

メタい

「さあ！次はこれを受けてみるー！」

Glorious Break

「うわあああああああああああああああつ!?」

426：ダクソニキ

グロリーアースブレイク

457：下衆大使

シヨウドウダイテ

458：動くただのEXP

カガーヤキハーナート

459：タマトリグサ

流れ完璧で草

460：名無しの女神

：

461：とある魔法の光線銃

大丈夫だぞまどかちゃん。イッチの身体能力で冷静に対処したらほぼほぼ当たんな
いから

462：極み変わるメタモン

接戦だな

463：シウル天アガイガイチグニール

私（手加減バージョン）とd d d d d d d d d d っ同格になるのが今回の目標d d d d d d d d d
だからな。ま d d d d d d d d d d っどかちゃんには悪いが、ビシバシ行かせてもらうぞ

「銃弾を弾くのは所詮はタイミングなんだよね。銃声の直後に銃弾弾けば良いんだか
ら。よしイクゾー」

「若干慣れてきた自分がいるのが一番怖い」

「大丈夫、世の中にはラスボスを生身で圧倒する一般人がいるぐらいだし。このぐらいへーきへーき」

589：シウル天アガイガイチグニール

あのOTONAキシヨいくらに強いからな

590：動くただのEXP

映画を見るだけで強くなった男

591：ダクソニキ

敗因が泣き落としだった男

592：とある魔法の光線銃

霊長類最強（ガチ）

593：ディケイド（偽）

どれくらい強いん？ウルトラマンで例えて

594：下衆大使

>>593

ジードくらいだったら余裕で勝てるかも

595：下衆大使

小型パワード

596：デイケイド（偽）
ヤバすぎて草も生えない

798：とある魔法の光線銃

そろそろ一ヶ月経つぞー

799：ダクソニキ

具体的には？

800：下衆大使

日付感覚無くなってるからこう言うのすごい助かる

801：とある魔法の光線銃

あと二日

ずっとスレに張り付いてたから眠い

802：シウル天アガイガイチグニール

もうそんな経つてたのか、そろそろ帰らなきやじゃん

803：動くただのEXP

俺も：俺もそつちに：

804：シウル天アガイガイチグニール

お前時空越える手ddd段無いやん

805：下衆大使

ドンマールw

806：動くただのEXP

封印されてるお前にだけは言われたく無い

807：下衆大使

おーつと返り討ちだ

808：シウル天アガイガイチグニール

まdddどどかちやーん、転送おねがーい

809：名無しの女神

はーい…と、行けますよ

810：タマトリグサ

すごE

811：とある魔法の光線銃

アカン限界や

一旦落ちる

812：下衆大使

>>811

乙

813：シユル天アガイガイチグニール

ほんじゃーな、楽しかったddd d d d d d d d d d

814：デイケイド(偽)

一ヶ月間ありがとな、色々とな為になつたで

815：ダクソニキ

何やこの胸熱展開

816：動くただのEXP

番組にすると大体四話くらいの時期やのに

817：下衆大使

一話：まどかちゃんと出会って初変身

二話：初陣（敗走）

三話：説教とダクソニキの家宅侵入

四話：まどかちゃん、初めてのスレ+下衆大使のネットスラング説明会

五話：魔女戦+ダブル乱入

六話：説教とシンフォギアネキとの特訓↑イマココ！

うん、何だこの仮面ライダー

818：動くただのEX P

脚本的には新しいと思う

819：デイケイド（偽）

ダブカスには絶対に勝つ

820：名無しの女神

あ、そうそう、罰の呪いは解除しておきますね

821：シユル天アガイガイチグニール

マ？

だぢづでど…よしおk

822：デイケイド（偽）

今日は英気を養う為に早めに寝る

おやすみ

823：下衆大使

>>821

よかつたやん

>>822

イツチ乙

ゆっくり寝ろよー

824：ダクソニキ

脳「ぐつすり寝とるな：せや！悪夢見せたる！」

825：極み変わるメタモン

ブレーキの利かない車やめろ

826：下衆大使

顔半分の人にまた会えるかもな

827：デイケイド（偽）

お前らマジで止めろ

単独顕現してきたらどうすんだ

828：とある魔法の光線銃

階段で足踏み外す夢止めろ

829：名無しの転生者

見えない空気の壁に阻まれて肩掴まれるんだが

830：下衆大使

そのまま小指掴んでグイツとだな

831：名無しの転生者

>>830

何もしてないのに痛い事すんのは違うやろ

832：タマトリグサ

は？

833：シユル天アガイガイチグニール

どう言う状況だよ

834：名無しの転生者

>>833

肩掴んだまま静止しとるんよ

不気味すぎる

835：名無しの女神

草です

836：シユル天アガイガイチグニール
すまん草生えた

837：デイケイド（偽）

そろそろ寝るで

おやすみー

838：シユル天アガイガイチグニール

おやすみー

839：ダクソニキ

良い夢見ろよ

840：下衆大使

覚えてたらまた夢の解説してや

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】3スレ目

1：ディケイド（偽）

諸君、おはよう

2：とある魔法の光線銃

やっとなきたか

3：下衆大使

夢のうぷはよ（バンバン）

4：ダクソニキ

オンスモ撃破しゅーりよー…ちかれた

5：名無しの女神

皆さん、おはようございます♪

6：シユル天アガイガイチグニール

おはーよまどかちゃん、今日も可愛いね

7：タマトリグサ

ねむE

8：極み変わるメタモン

ロケット団北ので一旦落ちる

良いところで来やがってからに

9：デイケイド(偽)

今日はダブカスに一矢報いる為に奔走するぞ

10：下衆大使

夢の話は？

11: デイケイド (偽)

>>10

まずそれするか

結論から言うと、出やがりました。例のが

12: 名無しの転生者

ほう、過去スレの復習はしてる。続けてもろて

13: ダクソニキ

ホラー系新ヒロインはどうするのか

14: デイケイド (偽)

何かね、荒野が何かに俺が立ってたんだけど。例のは逆さまな状態ですつと俺を見て、そのまま笑みを浮かべるだけで何もしないの。したら目が覚めた。

15: 下衆大使

??????

16：動かただのEXP

マドハンド は 頭痛 を 起こした ！



17：ダクソニキ

謎すぎる、何がしたいねんそいつ

18：下衆大使

例のヤンデレ新ヒロイン

・顔が半分しかない

・逆さま

・めつちや笑う

あれっこれ何処かで

19：シユル天アガイガイチグニール

>>>18

もしかして：舞台装置のやべーやつ

20：動くただのEXP

>>>19

流石にない、発生はまだ先だろ

21：タマトリグサ

>>>19

だとしたらイツチの夢に不法侵入してくる意味がわからん。何が目的だよ

22：とある魔法の光線銃

舞台装置は永久に引っ込んで、どうぞ

23：動くただのEXP

もしかしてこのスレ見られてる？

24：下衆大使

マ?イエーイ見てるー?

25:ダクソニキ

>>24

止めろ

26:動くただのEXP

>>24

刺激すんな

27:ディケイド(偽)

>>24

俺ン所来たら責任取れんのか

28:下衆大使

大丈夫大丈夫w

俺山よりデカいから

29: シュル天アガイガイチグニール

>>>28

デカい||負けフラグなんだよなあ

30: ダクソニキ

>>>28

テメエはそもそも封印されてんだろ

31: デイケイド(偽)

話が逸れてきたな、イクゾー!!?

http://TENSEI.NEXT.NET.JP

32: ダクソニキ

^ ^わあい

33: とある魔法の光線銃

^ ^ のりこめー

34 : タマトリグサ

^ ^ けつとー

35 : 動くただのEXP

^ ^ くにとりー

36 : シュル天アガイガイチグニール

勝機を零すなっ！ 掴み取れっ！

「本当に何なのよコイツらっ！何処なんだよココはっ！これ夢!?! そうか全部夢なのねっ!?!」

「お、落ち着いてさやかちゃんっ!!」

綿毛の様な頭をした正体不明のナニカに囲まれ、錯乱する美樹さやかを宥める鹿目まどか。CDショップで声を聞いたと突然まどかが走り出し、さやかもそれに続いた立ち入り禁止の場所で、何でもそつなくこなす凜とした転校生の暁美ほむらが襲うこれまた謎の生き物を抱えて走るうちにこの謎の場所に迷い込んだ。

直後、そのナニカの内の一匹が、突如としてさやかに向かって跳び、手に持った一人は切断できそうな鋏を向ける。

「さやかちゃんっ!!!」

「た、助け

っ!?!」

まどかが駆け出すが間に合わない。ハサミの刃がさやかの首を切り裂くその瞬間、ハサミの刃の間に、ボール型のオーロラカーテンが展開され、あつけなくへし折れる。

「このもやもや…まさかっ!」

「ようお前ら、無事それで何より。まあ、ちよつと遅れてたら大惨事だったがな」

「バリアおじさんっ!!」

「ゴメン何それ?」

さやかの方つた名詞に、頭に「?」を浮かべる土。だが、そんな悠長にしている暇は無い。委員長の魔女の手下であるAnthony^{ア_ンソ_ニー}がまたも二人を狙うが、巨大な針と化したオーロラカーテンによって貫かれる。

「…まあいい。二人共知りたいたい事は山程あるとは思うが取り敢えず、変身っ!」

K A M E N R I D E

D E C A D E

ディケイドに変身した士はAnthony^{ア_ンソ_ニー}の大群を蹂躪、全滅させ、二人の質問を促す。

「さて、何から聞きたい? 知り合いに聞きながら答える為、返答は遅れるぞ」

「いやアンタ知らねーのかよ!?! よくそんな堂々と言えたな!?!」

58:ディケイド(偽)

あの綿毛について頼んだ

59:ダクソニキ

薔薇園の魔女の手下

名前はアンソニー

役割は造園

特筆事項無し

60：下衆大使

ハサミを使って攻撃するぞ！

正直弱いぞ！

「……アイツらは薔薇園の魔女の手下。名前はアンソニー。役割は造園だそうだ」

「……そもそもなんだけどさ、何でおじさんがそんな事知ってんのさ。そこまで詳しいとなると、ソースあるんでしょ？」

「だから知り合いに聞きながらつつつてんだろ。この鳥頭め」

「なんだとー!?!」

「お、落ち着いてさやかちゃん。おじさんも、こんな状況なんだし真面目にしよう。ね？」

追求を毅然とした悪態で躲され、某金獅子の如く荒ぶるさやかをまどかが宥め、明らかにふざける士を可愛らしい声と口調で咎める。

94：デイケイド（偽）

ヒョー！

95：ダクソニキ

かわいい

96：シユル天アガイガイチグニール

かわヨ

97：下衆大使

いつでもどこでも可愛いが過ぎる

98：名無しの転生者

ア。ツ

99：名無しの女神

…ちよつと私降りますね

「…流石にここいらが限度だろ。これ以上は場を弁えるよ。改めて、何から聞きたい？」

「ッ、ッここは何処なの?」

「さつき言った薔薇園の魔女って奴の巣だ。結界なんて呼ぶ奴も居るらしいな」

105: デイケイド (偽)

OKスレ民、此処からの展開は?

106: ダクソニキ

مامィさん乱入してそのまま最深部へ

107: デイケイド (偽)

ヨシ! リベンジしたるぞオラッ

108: シュル天アガイガイチグニール

負けそう (小並感)

109: デイケイド (偽)

馬鹿野郎お前俺は勝つぞお前!

110：とある魔法の光線銃

がんばえー(適當)

「さて、ずっと此処にいるのも危険だし、移動するぞ。死にたくない奴は付いて来ーい」
「はーい！」

「おじさんっ！あの時のアレ、どうやったら出来るのっ!？」

「アレって…あー、アレか。そりゃあ毎日早起きして、歯磨きして好き嫌いせずに沢山喰って早めに寝てだな」

「ホントツ!!？」

うっそー
「嘘」

「嘘かよっ!？」

156：デイケイド(偽)

楽しい

157:ダクソニキ

嘘を吐くのは悪いこと。大の大人に言う事じゃないよな？

158:シユル天アガイガイチグニール

>>157

そうか？コツチの民間人の所業に比べれば全然良いと思うけどな

159:タマトリグサ

>>158

それもそうだな

160:名無しの女神

>>158

>>159

何をしたんですか？

161：下衆大使

>>160

特異災害から生き残った人々を人殺し呼ばわり&家に落書きしたり窓に石投げたり

163：名無しの女神

えっ

164：シユル天アガイガイチグニール

それで民間人に殺された奴とかもいたなそういえば

165：デイケイド(偽)

は?そんな奴等と一緒にすんなし

NTR同人作っただ奴の次に嫌いだそんなもん

166：名無しの転生者

>>165

それはそう

デイケイドについて行ったまどかとさやかか魔女の結界の最深部に到着。そこで見たのは、崩れ落ちるグロテスクな薔薇園の魔女。そして巴マミと、赤と黒のダブル。そして、宝石の様な仮面ライダーと銀色の鎧を纏った金髪の男性。

172：デイケイド（偽）

あれ？なんか3人ぐらい増えてない？

173：シウル天アガイガイチグニール

Who is that?（あれは誰ですか？）

174：下衆大使

That is a Magical girl.（あれは魔法少女ですw）

175：タマトリグサ

Who is that?（あれは誰ですか？）

176 : ダクソニキ

That is double (あれはダブルです)

177 : 動くただのEXP

Who is that? (あれは誰ですか?)

178 : とある魔法の光線銃

That is Gaimu (あれは始まりの男です)

179 : 名無しの転生者

Who is that? (あれは誰ですか?)

180 : 下衆大使

That is Wizard : (あれはウィザードですw)

181 : デイケイド (偽)

(???)

187：下衆大使

割とマジでビームネキ参戦案件では？

188：ディケイド（偽）

クソがつ！やってやんよ！

（「・ω・」）「へキエエエエエエエエエエエエエエエエエツ
!!!!!!

189：名無しの女神

避けてツツツ
!!!!

190：ディケイド（偽）

え？

チヨロイイネ！スペシャル！

サイコー!!

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 3スレ目Pa

r t 2

突如として遭遇した宝石の様な仮面ライダー【ウイザード】の攻撃を避けるべく、デイケイドはオーロラカーテンを展開し、迫り来る炎を凌ぐ。

『おいっ！何やってんだ！』

一連の行動を見ていたダブルがウイザードの胸ぐらを掴んで怒鳴りつける。

『お前自分が何してんのか分かってんのかっ!?!一般人もいたんだぞっ!』

『問題ない。奴ごと焼き殺す』

『なっ』

ビッグ！プリーズ！

チョーイイネ！キックストライク！

サイコー！

『ハアツ!!』

「つぐつ…」

ウィザードは炎を放つ事を放棄した魔法陣に燃え盛る蹴りを放ち、依然として解除されないオーロラカーテンに巨大化したストライクウィザードを叩き込むが、オーロラカーテンには無傷で佇むだけ。

「うん、ジリ貧だな。逃げるか」

「いや、逃げられないでしょ。4人くらい居なかった？」

「私も、その、難しいと思うな」

「そーうなんだよなー、どうしょ」

213：ディケイド（偽）

本当にどうするよ

214：極み変わるメタモン

ちよつと見ないうちに超展開なんですそれがそれは

215：シウル天アガイガイチグニール

やべえよやべえよ

216：ダクソニキ

何かアイツ胸ぐら掴まれてなかった？

217：動くただのEXP

始まりの男までいるし、まずいですよ！

218：デイケイド（偽）

まあ数的有利はコッチにあるんですけどね

「起死回生の一手ってヤツだ」

「ちよつとおじさん何言つて

ATTACK RIDE

ILLUSION

さやかがデイケイドに言ったその直後、デイケイドが6人に増え、その内の5人がオーロラカーテンを介してマミ達に対峙する。

「…はえ？」

「おじさんが増えたっ!？」

啞然とするまどか、驚愕するさやか。

一人はウィザードの動きに翻弄されつつも足を受け止めて顔面を乱打し、二人は一ヶ月の特訓の成果でダブルとマミを圧倒。残る二人は始まりの男の圧倒的な権能に蹂躪される。

232：デイケイド（偽）

あの金髪強っ!?

何者やねんマジで

233：ダクソニキ

宇宙の神様やぞ

234：下衆大使

始まりの男

本名「葛葉紘汰」

仮面ライダー鎧武の変身者。幾多もの闘争や苦難を乗り越えて神へと至り、地球をヘルヘイムの実による侵食から救った男。変身しないでも変身アイテムからのバックアップで何度でも復活が可能で、変身したらしたで武器無限生成したりでやりたい放題のチート野郎

235：デイケイド（偽）

…どうやって勝てと？

236：名無しの転生者

>>235

倒すと同時に変身アイテム破壊するとか

237：とある魔法の光線銃

お前も魔法少女になれ

238：動くただのEXP

>>237

ダメです（食い気味）

『……分身に戦わせて自分は高みの見物か。なら……』

コネクト！

プリーズ！

『フンツ！』

ウィザードはコネクトの魔法を発動。ドーム状に展開されたオーロラカーテンの中に佇むさやかかの背後に魔法陣を繋ぎ、ウィザーソードガンの切っ先を突き刺す。

「え

「ぐんぬっ！」

デイケイドは左手でその刀身を掴み、さやかの背中に到達する前に阻止、足で内側の壁に抑えつける。そしてライドブツカーの銃口を魔法陣に突きつけ、叫ぶ。

「ソツチからコツチに来れるって事は、コツチからも行けるよなあっ！」

A T T A C K R I D E
B L A S T

ライドブッカーとその分身体から大量の銃弾が放出され、ワイザードに殺到。ワイザードは防ぐ事も出来ずに被弾する。

『チツ……小賢しいな、鎧武。あのドームどうにか出来ないか?』

240:ディケイド(偽)

あの野郎さやかちゃんに手出そうとしたぞ
潰す

241:ダクソニキ

は?

242:動くただのEXP

ギルテイ

美少女を傷付ける者は須らく悪である

容赦すんな

243：デイケイド（偽）

ウィザードってこんな事するヤツなの？

失望しました、ローガンのファン辞めます

244：ダクソニキ

>>243

は？ローガンはいい人だろ

245：名無しの転生者

>>244

でもあの入条件が揃うと数分もせずに発狂するじゃん

246：下衆大使

ウィザードどうしちゃったんだ？

女の子襲う様なヤツじゃないぞ

247：シユル天アガイガイチグニール

競馬外したんじゃない？

248：名無しの転生者

>>247

それで発狂するのは俺だけ定期

「見境なしか…：だつたらっ！」

ここで何を考えたのかデイケイドはオーロラカーテンを一瞬解除、ライドブツカーを乱射しながらウイザードに突撃して行く。

「おじさんっ!？」

「オラオラオラアアアアアアアアッ!!!」

254：デイケイド(偽)

キエエエエエエエエエエエエツ
!!!!!!

255：とある魔法の光線銃

イツチ!?

256：下衆大使

アカン馬鹿だコイツ

257：名無しの女神

………士さん？

258：シユル天アガイガイチグニール

まーたキレてるよ

259：デイケイド（偽）

このまま行ってもジリ貧だろーが！

それに勝算がないわけじゃ無い！

260：ダクソニキ

ほう、勝算とは？

261：デイケイド（偽）

あん時咄嗟に光弾とかビームとか出してたし、懐入られたら弱いんだろ（適当）

262：動くただのEXP

ダメだコイツ：早く何とかしないと…

『シャオラアツ！』

『ガツ!?!』

「ナアイス分身ツ！ぬんっ！」

分身に顔を殴り飛ばされたウイザードに本物のデイケイドがラリアットをかまし、さらに分身が追撃に顔を蹴り飛ばそうとしたその瞬間、巨大なイチゴが分身の顔面に飛来。分身の頭は吹っ飛び、身体諸共消滅した。

「え

イチゴアームズ！

シュシュつと！スパーク！

デイケイドが顔を向けた先には、イチゴアームズを装備し、今にもイチゴクナイを投げんと振りかぶる仮面ライダー【鎧武】の姿が。

『セイツハアツ!』

「つぐあつ!!」

『ここからはっ!俺達のステージだっ!』

TENNIGE

野蛮な希望

MAHOUSYOUZYOMADOKAMAGIKA

北海道札幌市のとあるアパートにて、綾目瑠璃が「やさしいくちどけ ホワイトチョコ掛けラスク」を頬張り、「ファイトバクハツ！ドデカミン」で流し込む。脳裏には掲示板の配信、彼女はそれに集中していた。

274：デイケイド（偽）

いつたい!!コイツイチゴのクセに早すぎんか!?

275：下衆大使

頑張れイッチ！負けるなイッチ！

276：ダクソニキ

三対一はいやーキツイっす

277：名無しの転生者

こりやダメか。魔法少女、出てもらて

278：動くただのEXP

>>>277

世界中が「君を待っている」☒

279：ディケイド（偽）

>>>278

おうウルトラマンの話はじっくり出来る場所です、俺が困る

「……行くか
ひふは」

そうやって彼女は食べかけのラスクとドデカミン、真っ白な通帳と濃紺のソウルジェムを持ち、アパートを出た。

「ゴベツ!!」

事態は悪い方向へと傾き続ける。瞬く間に分身を屠った鎧武の剣術に分身2体を倒

したダブルとママが加勢した連携に翻弄され、とうとう変身を解除。結界の芝生を転がって行く。

「終わりよ。破壊者」

「ハツ：何言つてやがる、まだ終わんねエぞ」

『鎧武、コツチに来てくれ』

『え？あ、おう』

ウイザードの指揮により鎧武がオーロラカーテンに干渉、破壊する。そしてウイザードは右手のウイザーソードガンの銃口をさやかに向ける。

「ッ！」

『美樹さやか、今ここで死ね』

『なっ』

ウイザードがそのトリガーを引く直前、鎧武がその手を掴み上げて叫ぶ。

『どうしちまつたんだウイザード！ソイツは一般人だっ！破壊者でも無いんだぞっ！』

『一般人？違うな。美樹さやかはこの世界の秩序を乱し、蹂躪している。ディケイドと同じく殺すことで、この世界の希望となる』

「ウ、ウイザード？ちよつと落ち着きましよう？今日の貴方、何処か変よ？」

『先程から、君の行動は看過出来ない事だらけだ。事情を説明し給え』

ウィザードの意味不明な論法にマミは困惑し、ダブルの中のフィリップが問いかける。しかしウィザードはそれを無視、ウィザードソードガンと握手する。

フレイム！ヒーヒーヒー！

スラツシユストライク！

ウィザードはすぐさまマミを突き飛ばし、燃え盛るウィザードソードガンを片手にその場で一回転、ダブルと鎧武を吹き飛ばし、再びさやかに銃口を向ける。しかし、再変身したデイケイドがライドブツカーでその銃弾を弾き落とした。

380：極み変わるメタモン

やめとけてイッチ！

381：タマトリグサ

再変身はアカンって！

382：名無しの女神

さ、再変身するとどうなるんですか？

383：下衆大使

再変身は変身者の負担が大きいんだ！ビルドの設定でデイケイドはどうか知らんけどイツチの苦しみ様からして間違いなく負担が大きい！

384：名無しの女神

っ
!!!!!!

385：シユル天アガイガイチグニール

本当にマジでマズイですよ！

マゼンタカラーの雷電に身を焼かれながらも獣のような四足歩行でウイザードに迫る。ウイザードは冷静にコネクトの魔法を発動、腕時計を取り出す。その腕時計の色は黒。文字盤にそれぞれ赤、青、緑、黄の四つの色が描かれている。その中心に在る時計の針は赤を指していた。ウイザードはその「ドラゴタイマー」の文字盤の部分を回し、親指の部分を押した。

比較的ダメージの浅いオールドラゴンのウイザードに対して空高く跳び上がり、マゼンタカラーの雷電に身を焼かれながらも拳を握るボロボロのデイケイド。マミが、ダブルが、鎧武が、デイケイドの勝利を願っていたまどかとさやかまで、ウイザードの勝利^北を確信していた。

跳び上がるデイケイドに追撃せんと翼を広げて舞い上がり、芝生に投影した赤い大魔法陣に4つの魔法陣を描いて、4色のドラゴンを顕現させ、ライダーキックの体制を取る。

その瞬間、鎧武が。人の身を越え、神へと至った鎧武だけが、それを見た。それは、醜くも禍々しくエメラルド色の複眼を歪ませたデイケイドの姿。

直後、マミ達には信じ難い事が起こる。なんと、ストライクドラゴンを放つウイザードに、拳を放ったデイケイドが拮抗するどころか押し返したのだ。その勢いを殺しきれずウイザードは死なない程度に痛めつけたGERTRUD^北に頭から突っ込み、その衝撃でGERTRUD^北は絶命。魔女の作り上げた美しい薔薇園の結界はゆらめくように消

滅し、七人は現実世界に帰還する。

力尽きた士は気絶し、上空から落下する。ウィザードは死なずとも並ではないダメージを負い、その場から動けない。まどかとさやかは地面に叩きつけられる未来を想像し、目を伏せる。しかし、いつまで経つてもその時は訪れず、恐る恐ると目を開けてみればそこには、士を受け止める、自分達がこの場にいる元凶とも言える、黒髪の魔法少女

暁美ほむらが、ウィザード達を睨み付ける姿があった。

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 3スレ目Part 3

r t 3

黒髪の魔法少女、ほむらは見た。幾度となく繰り返してきた中で一度も見たことのないイレギュラーを。

桃色のイレギュラーは、自分の不手際で魔女の使い魔に襲われるまどかときやかを救った、救ってみせた。

巴ミミを連れた赤いのつぺらぼうや二色の怪人、それに銀の鎧を着たイレギュラーは、桃色のイレギュラーに襲いかかった。

赤いのつぺらぼうのイレギュラーはあることかきやかを殺そうとした。きやかが死ねば、まどかが奴と契約する可能性は飛躍的に上がる。

まどかときやかを守る桃色、殺そうとするのつぺらぼう。

ほむらが上空より落下するソイツを助けようとするのは、最早必然であった。

「転校生っ……………!」

「ほむらちゃんっ……………!」

『誰だ?』

『ウイザードっ!?大丈夫かーっ!?』

さやかはほむらを警戒、まどかは心配混じりの視線を士に向け、ダブルとママは困惑。鎧武は吹き飛ばされたウイザードの身を案じて飛翔するが、ほむらが盾から取り出した拳銃で足を撃ち抜く事で阻止。結果、鎧武は地面を転がる。

『ぐあああっ!?』

『鎧武!?どうしてソイツを庇うッ!?』

「あら、訳の分からない理屈を立てて、女子中学生を襲う貴方達に加担する方がどうかと思っただけだ」

そう言ったほむらはダブルの足元目掛けてRPG-7を発射。放たれた弾頭部が着

弾、盛大に爆発する。

辺りが爆炎に包まれ、マミとダブルの視界が塞がれる。ダブルがサイクロンメモリの力で突風を生み出し、爆炎を吹き飛ばすが、もうそこには四人の姿は無く、ダブルの行動は無駄に終わった

T E N N I G E

G i r l ^時 _を s p e n d i n g ^か _け t i m e ^少 _女

M A H O U S Y O U Z Y O M A D O K A M A G I K A

548 : とある魔法の光線銃

大丈夫か？ イツチイ…

549 : 名無しの女神

士さん…

550 : 下衆大使

ウィザードはぶっ飛ばせたけど問題はその後なんだよなあ…

551 : シュル天アガイガイチグニール

鎧武いたしなあ…

552 : ダクソニキ

イツチイ…

553 : デイケイド (偽)

ぐわああああああ…キツツツツツインゴ

554：名無しの女神
士さんっ!!!

555：タマトリグサ
王の凱旋

556：ダクソニキ
生きてたのか
よかったよかった

557：動くただのEXP
よかったなイツチ
これに懲りたら少しは自重しろよ

558：デイケイド（偽）

>>557

流石に懲りたわ

それとさ

559：極み変わるメタモン

何や

560：下衆大使

どした

561：デイケイド（偽）

知らない美人とまどかちゃんを抱き合ってる件

【涙目のまどかがほむらに抱きつき、赤面しながらあわあわと慌てるほむらの画像】

562：ダクソニキ

まどほむてえてえ

563：とある魔法の光線銃

しんみりした空気からいきなり変わってて風邪引くわ

564：デイケイド(偽)

おう、さやかちゃんも心配してくれとるわ

565：名無しの転生者

しかし何でウイザードはあんな事したんだ？

566：下衆大使

>>565

その辺ちよつと考えてたんだよ

箇条書きしてくわ

・ウイザード洗脳された説

・ウイザードのクローン戦士説

・ウイザード闇堕ち説

・ウイザード転生者説

・イツチがさやかちゃん助けたから説

567：ダクソニキ

四つ目まではいいわ、五つ目は何でそうなった？

568：名無しの転生者

助けてもいいやろがい

569：とある魔法の光線銃

ラドンもそうだそうだと行っております

570：下衆大使

『美樹さやかはこの世界の秩序を乱し、蹂躪している』↓この世界ではさやかちゃんは死ぬ筈だった、そこをイツチが助けた事で世界の秩序とやらが乱れた。

で、『ディケイドと同じく殺すことで、この世界の希望となる』↓イツチが変えた未来を本来在るべき形に戻すのがウィザードの目的なんじゃないか？と思ったんよ

571：ダクソニキ

なる…ほど？

572：デイケイド（偽）

オーケイオーケイ完全に理解した

573：タマトリグサ

>>572

そのセリフは理解していない奴の台詞定期

574：下衆大使

この前車に轢かれそうなさやかちゃんをイッチが助けたやろ？多分そこで全てが狂ったんや

575：とある魔法の光線銃

なるほど、ところでイッチ

576：デイケイド（偽）

>>575

あん？

577：とある魔法の光線銃

私が群馬県に侵攻を始めました

【スマホを片手に歩く瑠璃の画像】

578：デイケイド（偽）

キタ——（。▽。）——！！

579：極み変わるメタモン

よかつたなイツチ、助っ人登場だぞ

580：下衆大使

でも強いん？おぢさん心配なんだけど

581：シユル天アガイガイチグニール

>>>580

それ。なんなら経験豊富な私が行こうか？

582：とある魔法の光線銃

>>>581

は？ちゃんと戦えるが???

なんなら魔法少女生活17年間続けてきてるが????

583：ダクソニキ

>>>581

アンタは戦えるんですかねえ……？

リキッドで口塞がれて終わりでは？

584：シユル天アガイガイチグニール

>>>583

残念、私はギアを纏わなくともネフシユタン相手でも戦えるんだよ

585 : ダクソニキ

>>584

は？ 赤涙大力の超火力を持つてすればネフシユタンなんざ圧倒もいいところですが？

586 : 極み変わるメタモン

オラお前ら、俺ら非力勢が置いてけぼりだろうが。

置いてかないで（必死）

587 : 下衆大使

>>586

草

588 : タマトリグサ

そうだそうだ

589 : 極み変わるメタモン

ほんそれ

590 : 動くただのEXP

>>589

テメーも強キャラ勢だろーが

591 : 極み変わるメタモン

>>590

総種族値が500超えると一歩踏み出しただけで粉碎骨折するんやが？
なんなら400でも肉離れ起こすんだよクソが

592 : ダクソニキ

>>591

泣いた

593 : 下衆大使

>>591

。 。 (つゝ、
。 。 。 。 c) 。 。 ハハハハ

594 : シュル天アガイガイチグニール

〃〃591

。 。 m g (。、。、。、) 。 。 ヒヤヒヤヒヤヒヤ

595 : タマトリグサ

この悪魔共が

596 : 極み変わるメタモン

テメーらの血は何色だ

597 : 下衆大使

〃〃596

真つ黒だったかと

598 : シュル天アガイガイチグニール

>>>596

マジで血も涙もないよ

599：動くただのEXP

>>>598

嘘松

600：極み変わるメタモン

>>>598

イキリ発言おっすおっす

601：シウル天アガイガイチグニール

>>>599

>>>600

マジだつて

シヨツキングだから色々省くけどもう人間辞めてんだよ

602：タマトリグサ

>>601「俺、毒効かない体質なんだよね」

603：下衆大使

>>601「癖になってんだ、音殺して歩くの」

604：動くただのEXP

>>601「こんなガキの鬼なら俺でも殺れるぜ」

605：シユル天アガイガイチグニール

よしテメーらそこを動くな

今ぶっ殺しに行つてやる

606：タマトリグサ

終わった

607：動くただのEXP

アッ

608 : 下衆大使

マ?

助けてーや

609 : 極み変わるメタモン

来るなら来い

ココドラで泣かしたるわ

610 : デイケイド (偽)

白熱してるとこ悪いけどちよつといい?

611 : 極み変わるメタモン

あ?

612 : シュル天アガイガイチグニール

何？こちらら暇じゃないんだけど

613：デイケイド（偽）

黒髪美人がお前らと話がしたいって言ってるんだけど

614：下衆大使

は？

615：タマトリグサ

は？

616：名無しの女神

え？

617：ダクソニキ

what？

618 : とある魔法の光線銃

???????

619 : 極み変わるメタモン

?

620 : シュル天アガイガイチグニール

へーそう

え？

「転校生っ!! アンタそんな物どこで……はい？」

「(イ)(イ)…ど(イ)(イ)?」

「私の家よ」

ほむらはまどかの疑問に簡潔に返し、左肩に背負って運んだ士を椅子に寝かせ、ソウルジェムを士の身体に当て、傷を癒した。

「さて……と」

「ほむらちゃんっ!!」

「きゃっ!?!」

怪我は無い? そう二人に聞こうとしたほむらは、半ば突進する様にまどかに抱きつかれ、そのクールな見た目とは裏腹な可愛らしい声を上げるが、まどかはその事に気付かずに目尻に涙を浮かべ、感謝の言葉を紡ぐ。

「ありがとう! 本当に本っ当に助かったよっ!」

「えっあ、ちよ、その、い、一旦離れ」

「おじさんを助けてくれて、本当にありがとう!!」

ほむらはまどかに一旦離れる様に迪々しく口にするが、まどかは聞く耳を持たない。持ち前の抱き着き癖でほむらを動揺させていく。

効果音とカメラワークを付けければ感動的な場面だが、傍からみれば騒音も騒音。ほむらが傷を癒した士も目を覚ます。

「ぐ、ぬっ。いだだだだだ。…何この状況」

「ほんと、お陰様でさやかちゃん完全に空気ですよー」

「ていひひつ。ほむらちゃん、ほむらちゃんっ」

「うえ、あ、あの、ちよ、も、もうっ、いいから離れてええええええええええっ！」

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 3スレ目Pa

r t 4

「ん、ん、っ……それで、貴方達に色々聞きたいのだけれど」

「あ、あの……ごめんね、ほむらちゃん」

「貴女は何も気にしなくていいの、まどか」

真つ赤な顔で咳払いをするほむら。その姿に申し訳なさを感じ、謝るまどか。ほむらは食い気味に否定する。

「いやー、好かれましたなあ。転校生？」

「ヒューッ！」

「…鉛玉ブチ込まれたいかしら、眉間に」

「青い方にやれって言われました」

「ちよっ!?!」

ほむらの殺気に気圧された士は迷いなくさやかを売る。それを聞いたさやかは青ざめながら振り向いた。

「…それは今どうでもいいの。私はこの二人と話がしたいし、貴女も疲れてるだろうし、ちよつと休んでて頂戴。二人もそれでいいかしら？」

「うんっ！」

「あたしもそれでいいよ、おじさんは？」

「俺もそれで構わん。お言葉に甘えて、ちよつとおじさん休みまーす…」

「よし、それじゃあ送りがてら、ちよつと話を聞かせて貰えるかしら？」

「はーいー！」

そうしてほむらは止まった時の中、二人に事情聴取を行う。

「それで、聞きたい事があるの」

「はいはい。なんでしよう」

「アイツの力についてね。何でもいいの」

ほむらのその問いに、まどかが答える。

「えつと、普通に剣とか銃かな。あと、よくわからない灰色のもやもやとか、あと、増えたりもするな」

「後、妙な事言つてたな。そこに誰もいないのに「知り合いに聞きながらだから返事が遅れる」なんて言つちやつて」

「知り合い？」

「うん、知り合いって。聞かれてもはぐらかされちゃった」

「ふうん…」

（アイツだけが聞くことの出来る謎の声、しかもその声達は使い魔の名前・役割まで把握している）

「少し、話してみる必要があるわね」

「うん。わかった事があつたら、教えてね」

「ええ、わかったわ。それと、貴女達に一つ。言っておく事があるの」

「…？何？」

そうして、ほむらは二人の肩を掴み、忠告を開始した。それは、これから起きるであろう最悪を回避するもの。

「この先、白い生き物が貴女達に言い寄る事になる。だけど、ソイツの言葉に耳を貸し

ちゃ駄目。わかった？」

「う、うん」

「わっ、わかった」

「それと美樹さやか」

「さやかでいいよ。あたしもほむらつて呼ぶから。消化器ぶっかけてごめんね」

「そう、さやか。あの赤いのつぺらぼうがいつ貴女を襲うか分からない以上、常に警戒しておくべきなの。特に就寝時とか、ね」

「っ！そうだ、アイツ忘れてたっ！」

「だから今日は貴女にこれを渡しておくわ。明日からは誰かと一緒にいるように。それがアイツであれば尚望ましいわね」

そう言ってほむらがさやかに渡したのは、拳銃とサバイバルナイフ。さやかは若干引きつつも、それを受け取った。

TENNIGE

未知との遭遇

MAHOUSYOUZYOMADOKAMAGIKA

ほむらは真つ白な部屋で、椅子に腰掛けた士に話しかける。

「…そういえば、まだ名前聞いてなかったわね、曉美ほむらよ」

「佐藤士だ」

「そう。ところで士」

「んー？」

「貴方の後ろにいる、魔女の使い魔の名前・役割まで把握している奴らに、合わせても
らってもいいかしら」

6 2 3 : タマトリグサ

いや待て、マジでなんでそうなった

6 2 4 : シュル天アガイガイチグニール

これアレか？さやかちゃんポロツと言っちゃったヤツか

6 2 5 : デイケイド (偽)

>>>624

正解

6 2 6 : ダクソニキ

マジでどうすんだよ

627：極み変わるメタモン

ヤバイよヤバイよ

628：名無しの女神

あの、別に大丈夫では？

629：下衆大使

>>>628

まどかちゃん自分の過去思い出してみ

630：名無しの女神

……あっ!?

631：動くただのEXP

>>>630

お気づきになられたか

632 : とある魔法の光線銃

>>630

そういうこと

633 : ダクソニキ

待て、お前ら対処法を考えると

634 : シュル天アガイガイチグニール

別人を装う

「小日向未来」とか

635 : 名無しの転生者

>>634

自分の好みを他人に押し付けるのは止めろとあれほど

636 : タマトリグサ

ほむらちゃんがいる間はROMっててもらおう

637：動くただのEXP

>>636

却下。

思わぬところでボロが出そう

638：下衆大使

>>634

でもこの案アリじゃね？

女神の所を転生者に変えればお前らと変わらんぞ

639：ダクソニキ

>>638

絶対にヤダ

こんなピユアっピユアな娘にお前らと同じ扱いすると心が耐えらんない

640：シユル天アガイガイチグニール

整った

ほむほむへの解説は私めにお任せください

641：タマトリグサ

>>640

ぐう有能

642：とある魔法の光線銃

>>640

ナイスウ!!

643：ダクソニキ

>>640

ほんとお？

644：シユル天アガイガイチグニール

まどかちゃん↓平行世界線のまどかちゃん（嘘は言っていない）
 私ら↓神の娯楽で転生した奴ら（マジ）

645：極み変わるメタモン

>>>644

ほむほむ「死んでから生き返るなんて有り得んやろ、ラドンもそうだそうだと言ってます」

646：シユル天アガイガイチグニール

>>>645

そう言われたらビームネキの画像貼ればいいだけ

647：ダクソニキ

>>>646

はえーすっごい

648：極み変わるメタモン

>>>646

ほむほむ「そんなんどうせ嘘やろ」

649:シユル天アガイガイチグニール

>>>648

ビームネキが来た時の反応が楽しみですねえ！

650:極み変わるメタモン

>>>649

貴様愉悦部か

651:下衆大使

>>>649

実際整ってるので拍手

652:ディケイド(偽)

つまりOKって事でいいの？

653：シユル天アガイガイチグニール

>>652

まどかちゃんがよければおk

他の意見は塵芥

654：名無しの女神

わ、私は大丈夫ですっ！

655：動くただのEXP

【悲報】俺らは塵芥だった【ゴミ】

656：ダクソニキ

>>655

お前は土くれ定期

657：下衆大使

また現地民が一人加わったな

658：名無しの転生者

>>657

これももうバiaoハザードだろ

659：シユル天アガイガイチグニール

>>658

ハザードオン！テテーテテーテテーン！

660：ダクソニキ

>>659

ガチでやめろ

661：とある魔法の光線銃

ヨシ！まどかちゃんは女神の所を「魔法少女」に変えてもろて

662：名無しの女神

は、はいっ！

672：名無しの魔法少女

…何これ？

673：シユル天アガイガイチグニール

おお！来たぞ！

674：ダクソニキ

（ω・ω・）人（ω・ω・）ナカーマ

675：下衆大使

やあやあ我こそは

676 : とある魔法の光線銃

ドーモ、ほむら〓サン。瑠璃です

677 : 名無しの魔法少女

初めまして、ほむらちゃん！

678 : タマトリグサ

<rb>*。∩。—L< ヤア

</rb>><rp>>(</rp>><rt>id : r678e </rt>><rp>></

rp>></ruby>

679 : 名無しの魔法少女

∴状況が上手く飲み込めないのだけれど

680 : シュル天アガイガイチグニール

はい説明入りまーす、お前ら一旦ROMれ

此処は「転生者掲示板」、まあ手軽な情報収集兼暇つぶし場所だと思ってもらって

まあ、なんでも聞いてね

681：動くただのEXP

>>680

説明が下手すぎる

682：ダクソニキ

>>680

整ってないやんけ草

683：極み変わるメタモン

>>680

宇宙の果てはどうなってるんですか？

684：下衆大使

>>680

光の速度でう〇こしたらどうなるんですか？

685 : シュル天アガイガイチグニール

>>>682

>>>683

>>>683

>>>684

同士の打ちやめろ

686 : 名無しの魔法少女

: 早速だけど、幾つか聞いてもいいかしら

687 : シュル天アガイガイチグニール

>>>686

どーぞ

688 : 下衆大使

>>>686

イイズエー

689：名無しの魔法少女

まず、さやかが狙われた理由について、わかるかしら

690：下衆大使

>>689

さやかちゃんが狙われたのは恐らく、「死ぬである筈の未来をイツチが変えたからではないか」と言うのが俺らの考察やね

691：名無しの魔法少女

死ぬ未来？どういう事？

692：下衆大使

ほむらちゃん知らんだろけど、さやかちゃんは一回、トラックに轢かれかけたんだよ。そこをイツチが助けたから「こう在るべき」とされた未来が狂ったってこと

693：名無しの魔法少女

成程…それじゃあ次。

イツチって誰？

694：シユル天アガイガイチグニール

>>693

イツチは今貴女の近くにいる野郎です

695：名無しの魔法少女

そう。

じゃあ最後に、ワルプルギスの夜の弱点について、これに関してはわからなくてもいいわ、知っていれば教えて頂戴

696：シユル天アガイガイチグニール

>>695

ワルプルギスの夜の性質は【無力】

つまり遠距離攻撃か使い魔の召喚しがなく、炎の槍で壊したビルの瓦礫をどうにかしてワルプルギス自身にぶつけさせればダメージの期待はまあ、多少は出来る。それと、

クソほど硬いから高火力武器の所持は必須かな。後はその野郎の頑張り次第ね。

697：名無しの魔法少女

…まあ、そんなとこね

ありがとう

698：シユル天アガイガイチグニール

どういたしまして、それと一つ、気になった事があるんだけどさ

699：名無しの魔法少女

何かしら？

700：シユル天アガイガイチグニール

さやかちゃんはどうした？

701：名無しの魔法少女

……？普通に送ったけど

702：シウル天アガイガイチグニール

OK今すぐ時間止めてイッチ連れてさやかちゃん家行け馬鹿野郎

703：名無しの魔法少女

なんでよ？

704：ダクソニキ

多分ウィザードが寝込みを襲ってる

705：名無しの魔法少女

ああ、それなら大丈夫よ。銃とナイフ持たせたし

706：ダクソニキ

ウィザード相手にそれで勝てるわけないんだよなあ

707：下衆大使

あーもういいから行け！h u r r y！

708：動くただのEXP

早くしろ！間に合わなくなっても知らんぞ！

709：名無しの魔法少女

あーもうわかったわよ！

710：ディケイド（偽）

ファツ!?!何だ何だ!?!

711：極み変わるメタモン

イツチは今すぐ変身してほむほむ抱えて外出て飛べ！

「あーもう！何だ急に！」

「私が知りたいわよ！」

ほむらが止めた時の中を、ほむらを抱えたデイケイドが駆けて行く。寝ていた所をほむらに叩き起こされ、スレ民に急かされるままに外に飛び出したのだ。

そこでデイケイドは気づいた。己の異変に。

721：デイケイド（偽）

なんか目エめつちや良くなってるんすけど!?

722：ダクソニキ

知るか!!良いから足動かせ足!

723：デイケイド（偽）

どういう事か適当でいいから教えてホラ!

724：シユル天アガイガイチグニール

ほむほむがさやかちゃんをそのまま家に返した！

さやかちゃんが危ない！

以上！

725：デイケイド（偽）

目なんて気にしてる場合じゃねえ！

726：極み変わるメタモン

にしてもどういう事だ？そんなすぐ視力つて改善されないぞ

727：下衆大使

多分死にかけた事でデイケイドとしての機能が拡張されたんじゃないか？死にかけてから強くなるのはお約束だし

728：動くただのEXP

>>>727

逆にどこをどう拡張したんだよ

729：下衆大使

>>>728

「ディケイドの持つ『デイメンションヴィジョン』は一般人の8倍とも言われる視細胞を150万個持つっており、視野は25度40km先の動く物体を識別することが出来る。」

「またナイトヴィジョン機能を有しており、物体から放出される赤外線を可視光線に偏光して暗闇でも見通し、並行世界の事前の狭間に要る物体さえも捕らえることの出来る眼を持つ。」

730：シウル天アガイガイチグニール

>>>729

「はえー。流石下衆大使博識

「あ！ホントだ何か色々ハッキリ見える！で、美樹の家はどっち方面だ!？」

「あっち！あっちの方よ!？」

「よーしアツチだなあっ!？」

FINAL ATTACK RIDE
DE DE DE DECADE

「ちよ、貴方これ何やって」

「シャオラアツ!!」

「待つ」

無数に連なった黄金のカードに嫌な予感を感じたのか、ほむらは待ったをかけるが、無情にもカードに吸い込まれるようにデイケイドがほむらを抱えたまま急加速、見滝原市の美しい夜景に、一人の少女の悲鳴がこだましたのは、これまた別のお話。

あのまま、無事にさやかかの家に到着した二人は、その向かいの家の屋根に着地、ほむらがorzの形に崩れ落ちる。

「…何よ。何も無いじゃない」

「……ちよつと分身作つとくわ」

「後で覚えておきなさい」とデイケイドを睨むほむらに対して、明後日の方を見ながら六人に分身するデイケイド。

「よし、俺達はこのまま美樹を護衛する。暁美は鹿目を宜しく頼む」

「待ちなさい」

「……どうした？」

「やべ、ぶつ飛ばされる？」などと心の中で逃げる方法を模索するデイケイドに、ほむらが言った。

「貴方の分身、三人くらい貸してほしいの」

「あ、そんな事？どうぞどうぞ、という訳で三人くらい暁美についてけ」

『へい』だの『んー』だの『あい』だの言いながら分身三体がほむらの後ろにのそのそと歩いて行く。そして窓の向こうから聞こえた悲鳴を、『「デイメンションスカウト」が拾う。

764：デイケイド（偽）

今「きやあつ！」って声聞こえたぞ！

765：ダクソニキ

>>764

は？処せ

766：極み変わるメタモン

死刑執行

767：シユル天アガイガイチグニール

(・ω・) 今夜はハンバーグよー

768：下衆大使

ステテシネバインダー!!! 「(。D。?)」三三三

769：デイケイド(偽)

さやかちゃん窓の鍵閉めてないぞ

不用心だな

770：とある魔法の光線銃

>>>769

侵入経路を限定してるだけ定期

771:タマトリグサ

>>>770

それは手慣れてて草

デイケイドは窓に手を引つ掛け、さやかのお母を起こさないようにそつと開ける。するとそこには震えながらもこちらに拳銃を向けるさやかの姿が。

「…何だおじさんかあ、ビックリしたー…」

「大丈夫か美樹。どうした？」

二人は両親を起こさないようにひそひそと小声で話し合う。そして次の発言に、デイケイドは困惑することになる。

「どうしたもこうしたもないよ！急にあの赤いのが来たと思つたら突然変なチャックに吸い込まれてつたんだもん！」

「…ごめんちよつとよくわかんない」

「何でわかんないのさー！」

鬱蒼と茂るヘルヘイムの森で、ウイザードはとある人物に蹴り飛ばされた。ウイザードはウイザーソードガンでその人物に斬りかかり、その人物は橙色の刀で弾き、掌からの衝撃波で再びウイザードを吹き飛ばす。

「…何故、奴を庇う」

「鎧武ウツツ!!!」

「……ウイザード、お前が何故、何を思ってあの子を狙うのか。俺にはわからない。だがっ」

「これ以上あの子を狙うのならっ！俺を倒してからにしろっ!!」

レモンエナジー！

ロック・オン！

ソイヤツ！

ミツクス！

オレンジアームズ！

花道！オン・ステージ！

ジンバーレモン！

ハハーツ！

「ここからはっ！俺のステージだっ！」

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 3スレ目Pa

r t 5

ヘルヘイムの木々の中を疾走して行くウィザードと鎧武。ウィザードは銃で、鎧武は弓で互いを狙う。ウィザードが叫んだ。

「この世界には希望が必要だ！それには犠牲が必要なんだよ！それが何故分からないっ!?」

「何が希望だ!!そんなもの、ただの独裁じゃねえかっ!」

そう怒鳴った鎧武が、青いさくらんぼのロックシードを取り出し変身。それを見たウィザードも緑色の指輪に付け替え、変身した。

チエリーエナジー!

ロック・オン!

ソイヤッ!

ミックス!

オレンジアームズ！

花道！オン・ステージ！

ジンバーチェリーツ！

ハハーツ！

ハリケーン！ドラゴンツ！

ビューー！ビューー！

ビューービューー、ビューービューー！

「ハアアアアアアアアアアアアアアアアツ！」

「オオツラツ！」

ウィザードガン二丁を逆手に構え、風を纏い鎧武に肉薄するウィザード。対して鎧武はソニックアローを持ち、紅色の軌跡を残した超高速でウィザードを切り裂く。

「チイツ！」

チヨーイイネ！サンダー！

サイコー！

ソイヤツ!

オレンジスパークング!

ジンバーチエリースパークング!

ウイザードの魔法陣からドラゴンを模した雷撃が鎧武に突撃。しかし鎧武は身に纏ったアーマーを装着前の形状に戻し、高速回転させる事で弾き、ウイザードの腹部にソニックアローで一閃。

「グッ……!!」

オレンジスカツシユ!

ジンバーチエリースカツシユ!

「セイツハアアアアアツ!!」

「ツガアアアアアアアツ!!」

その一閃で、ウイザードが怯んだ。その隙を鎧武が見逃す筈も無く、ビデオの早送りの様な挙動でウイザードの背後に回り、ゼロ距離からの無頼キックをウイザードに叩き

込み、上空で戦闘を繰り広げた二人はヘルヘイムの森に墜落して行く。

二人が墜落し、クレーターとなった地面の中心で、胸部を右足で踏み躪る形で鎧武がワイザードを抑える。

勝負は自分の勝利で終わった。そう考えた鎧武はワイザードから足を離し、立ち去る為にワイザードに背を向ける。その背に、ワイザードが話しかけた。

「鎧武…お前は俺の行いを、間違ったものと思っっているかもしれない。だが、それこそが間違いだっ!!ディケイドがこの世界を破壊する。この世界で奴に歪められた物全てがっ!…その引き金なんだよ」

鎧武は何も返さず、粛々と、その言葉に耳を傾ける。鎧武に向けて、ワイザードが指を指し、嘲笑う様に、怒る様に、消える様に呟いた。

「…いずれお前は、その事を知ることになる」

「…」

「所詮この世界も、犠牲の上に成り立っている。俺も、お前も、何も知らない市民も。…屍の上で暮らしているんだよ」

テレポート! プリーズ!

ウィザードは魔法で去った。誰もいない森で、鎧武は決意したかの様に新しいロックシードを取り出す。

カチドキ！

ロック・オン！

ソイヤツ！

カチドキアームズ！

いざ、出陣！エイ！エイ！オー！

重厚な鎧を纏い、背中に二振りの旗を背負った鎧武は、無双セイバーを旗の様に掲げる。

「俺は諦めない！」

「犠牲が必要だってんなら！それを求めた世界と戦うっ!!」

誰もいないヘルヘイムの森で、何も無い空に向かって、鎧武は吼える。その姿は、全てを勝ち取った強者の様で

T E N N I G E

青電の魔法少女の実力

M A H O U S Y O U Z Y O M A D O K A M A G I K A

851：シユル天アガイガイチグニール

暇ー

852：動くただのEXP

ひまんぬ

853：ダクソニキ

そーいや気になった事あるんだけどさ

854 : デイケイド (偽)

>> 853

お?

855 : デイケイド (偽)

>> 853

あ?

856 : 下衆大使

>> 853

お? 話題か?

857 : デイケイド (偽)

>> 853

ぬん?

858 : デイケイド (偽)

>>>853

る？

859:デイケイド(偽)

>>>853

ひよ？

860:デイケイド(偽)

>>>853

どしたん危険人物

861:ダクソニキ

イツチうるさすぎん？

あと>>>860は潰す

862:デイケイド(偽)

怖杉

863 : >>> 860

>>> 861

ひゃーこわ、そんなだから危険人物言われんねん

864 : ダクソニキ

>>> 863

邵コ？オ郢哲スシ遯カ？ヲ郢晁シ？郢???

865 : デイケイド (偽)

ヒエツ

866 : デイケイド (偽)

>>> 863

おい、あんまりコイツを怒らせるな
殺されるぞ

867：名無しの魔法少女

ちよつと、今コツチで暴れられても迷惑よ

868：名無しの魔法少女

お、落ち着いて、ね？

869：ダクソニキ

落ち着いた

870：タマトリグサ

>>869

うわあ!?!急に落ち着くな！

871：下衆大使

>>868の言う事だけ聞いてて草

872：シユル天アガイガイチグニール

猛獣使いかな？

873：ダクソニキ

>>872

草

話を戻してさ、六人イッチの五月蠅さよ

874：シユル天アガイガイチグニール

あー、ね？

875：下衆大使

愛嬌つて事で乗り越える？

876：動くただのEXP

それぞれに名前つけるとか

877：デイケイド(偽)

>>876

いいなそれ

878: デイケイド (偽)

>>876

ええやん

879: デイケイド (偽)

でもどうするん？

880: デイケイド (偽)

>>879

安価すればええやん

881: ダクソニキ

待て待て待てお前らア！

882：動くただのEXP

スレが！スレが高速で流れよるぞ！

883：デイケイド（偽）

あ、すまんお前ら

おーい、俺以外のデイケイドはいったんROMれー

884：ダクソニキ

…止んだか？

885：下衆大使

嵐は去った

886：タマトリグサ

やったぞー！

887：動くただのEXP

E D F ! E D F !

888 : シュル天アガイガイチグニール

あーおい地球をまつもるっ為ー!

E D F の出動だー♪

889 : デイケイド (偽)

ほまいらー。安価するぞー

890 : シュル天アガイガイチグニール

きーらめけ勝利のいーなびか : ファツ!?

891 : ダクソニキ

安価キタ—— (。▽。) —— !!

892 : デイケイド (偽)

アンカー!

分身達の名前は何にする？

>>900

893：動くただのEXP

ksk

894：タマトリグサ

スペイン語の数字

895：下衆大使

日本国憲法における罪状

896：シユル天アガイガイチグニール

>>868が決める

実質二人の子供

897：タマトリグサ

野菜の名前

898：名無しの魔法少女

紅茶の葉の名前とか、どうですか？

899：ダクソニキ

キノコの名前

900：動くただのEXP

数字十ツチ

901：ディケイド（偽）

ウルトラマンの光線の名前

902：タマトリグサ

決まったけどありきたりだな

903：下衆大使

やっぱり罪状がいつて

904：デイケイド（偽）

>>903

テメー俺達の名前を「窃盗罪」とか「暴行罪」とかにするつもりか？

905：デイケイド（偽）

>>903

そーだそーだ

906：デイケイド（偽）

>>903

嫌だぞそんな名前

907：デイケイド（偽）

>>903

オメーの名前を「存在罪」とかにするぞ

908：シユル天アガイガイチグニール
えぐ

909：名無しの転生者
中々えぐい名前つけるやん

910：動くただのEXP
それじゃさやかちゃん防衛組がイツチ除いてニツチ、サツチ。
ほむほむ追従組がヨツチ、ゴツチ、ロツチつて事で

911：デイケイド（ニツチ）
桶

912：デイケイド（ロツチ）
これでいい？

9 1 3 : デイケイド (偽)

俺はこのままで

9 1 4 : デイケイド (ヨツチ)

＼ ? (' ω ') ? /

9 1 5 : デイケイド (サツチ)

なんかサ○ジみたいなんだけど

9 1 6 : デイケイド (ゴツチ)

眠い

9 1 7 : 下衆大使

ヨシ!

それでさ、ちよつと気になった事が二個ぐらいあるんでいすけど

918 : ダクソニキ

>>917

どした？

919 : 下衆大使

前にさ、シンフォギアネキが「マジで血も涙もない」とか言ってたじゃん？
じゃあ何でイッチに会った時に血吐いたよ？

920 : タマトリグサ

マジレスやめて差し上げろ

921 : シュル天アガイガイチグニール

ああ、あれケチャップ

ちよつと承認欲求が溜まってて

922 : タマトリグサ

>>921

ミュンヒハウゼン症候群やんけ

923：名無しの転生者

>>921

ええ…？

924：下衆大使

>>921

成程、んで二つ目なんだけど、ビームネキいるやん？
今北海道から進行中の

925：名無しの転生者

あー、で？

926：タマトリグサ

>>925

解答面倒くさくなったらろお前

927：下衆大使

ビームネキのいる世界って、イツチのいる世界なんかな？

928：デイケイド（偽）

>>927

どゆこと？

929：ダクソニキ

???????

930：下衆大使

いやさ、イツチは知らんかもしれんけど、並行世界って無限にあんねん。誰かがその
一歩を右足で踏み出すか、左足で踏み出すか。それだけでも違ってくるんよ。そんなぜ
口に等しい確率を、ビームネキは引き当てられんの？ってちよつと気になつて

931：ダクソニキ

成程

932 : デイケイド (ニツチ)

え？てことは何？俺達に援軍が来る確率は途方もなく小さいって言いたいのか

933 : 下衆大使

ちよつと言いくいんだけど、…まあ、そうやな

934 : デイケイド (偽)

エエエエエエエエエエエエ (。 丱。) エエエエエエエエエエエエ

935 : とある魔法の光線銃

あー、その事なら心配いらんぞ

936 : デイケイド (ゴツチ)

>> 935

お？救世主きたか？

937 : とある魔法の光線銃

現在 ショッカー が送ったと思わしき怪人達
と 戦 闘 中 で す ☆

【大地を覆う規模のグールやマスカレイドドーパントを率いる二匹のセイリユウインベ
スの画像】

938 : 下衆大使

ええ… (困惑)

939 : 動くただのEXP

ダクソニキかな？

940 : ダクソニキ

イツチよりも殺意あるやん

941 : 下衆大使

>>940

ぶつちやけナスカさんこの量捌き切れるまでであるから…

942：タマトリグサ

この量相手にするのはもう転生者狩りのそれなんよ

943：下衆大使

>>942

あの人達を足止めするならこの30倍くらいの規模は必要だから。使徒を持ってこ

い

944：ダクソニキ

>>942

ゲームデウスレベルでも足りない、やり直し

945：とある魔法の光線銃

まあこんな量の戦力を導入して止めに來るって事はつまり俺が見滝原に行ったらマ

ズイって言うてる様なもんって事で、イッチ、ココで俺が死ななかつたらそっち行けるぞ

946:デイケイド(偽)

が、頑張れー!!死なないでー!

947:デイケイド(サッチ)

がんばえー

948:デイケイド(ロッチ)

眠くなってきた

949:とある魔法の光線銃

>>947

>>948

お前ら適当すぎん?

我死ぬ瀬戸際ぞ?

950：デイケイド（ヨツチ）

だつて俺ら分身だし

951：タマトリグサ

だからレスが無かったんか…

952：デイケイド（偽）

次スレ

h t t p : / / T E N S E I . N E X T . N E T . j p /

深夜二時、苦小牧西港にて。一人の魔法少女が宙を舞う。

金髪のツインテールの髪を持ち、全身を青いアンダーズーツで覆い、膝、肩、拳、つま先、胴に蛍光色のギア、右目部分に青色のバイザーを装着した少女、綾目瑠璃が大地を覆う怪人の大群にレールガンを発射、着弾地点が大爆発を起こす。だが、瑠璃に向かつて走る怪人達の足色は衰えない。

「…一瞬捕まったらそれで終わりのクソゲー。チツ、俺が何したってんだ」

そう悪態をついた瑠璃はレールガンの銃身部分を魔力に分解。分解した魔力に自身の魔力を更に流し込み、銃口部分がレールガンのガトリングガン二丁を作製。怪人達に向けて乱射する。

「…擬きも結構使えんな。ちよつと改良考えてみるか」

瑠璃は特製ガトリングガンと消し炭となった怪人達を魔力へと分解、分解した魔力で銃口がショットガン規格のサブマシンガンを二丁形成し、トリガーを引く。するとショットガンの大火力が、サブマシンガンの速度で連射され、怪人の軍勢が瞬く間に蹂躪されて行く。

「……やっぱテメーらには、効かねえよな」

そこには、傷一つ無く立っているセイリウウインベス二匹の姿。それもそうだ。そもそもショットガンと言うのはライフルや拳銃には再現できない、一度の射撃で複数の弾

丸が発射する散弾が特徴。その分、武器や怪人を分解して流し込んだ魔力も分散され、結果的に威力は下がる。対して、セイリユウインベスの特徴はその硬く強靭な肉体であり、生半可な攻撃は効かない。その結果が、この両方を物語っていた。

ここで、セイリユウインベス達は仲間を蹂躪した標的の実力を見誤っていたと判断。紫色の果実を取り出し、齧り付く。するとセイリユウインベス達が緑色に輝き、巨大化。龍そのものの姿となり、夜空に飛翔、青い炎を瑠璃へと吐き出し、瑠璃が吹き飛ぶ。

「グッ！ツチイッ!!んの野郎隠し持ってやがったのかよ。マジふざけんな、クソが」

夜空を舞うセイリユウインベスを見上げる瑠璃。そこで瑠璃は、ピンと閃いた様子を眼を開き、魔力を凝縮し始める。

「アレを、再ッ現、できる、かも…おっ!!」

そうして凝縮した魔力を頭上に放出、その形を削って行く。

まず頭部は白で統一、水平にオレンジ色の線を描き、空気抵抗を抑える三角形。次に腕部、二の腕部分は黒に肩、肘部分は白の装甲。

胴体部分は空洞、コクピット部分を形成し、塞がる様に蓋部分を造り、背中部分に細長いロケットブースターを搭載。

最後に足部分、太腿部分は黒、膝から下は白の装甲に。

瑠璃が愛してやまないロボットゲーム、その主役機体。

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 4スレ目

蒼炎の火球を放つ二匹の龍と、色が抜けた様な白さを魅せる鉄巨人、アーセナル。龍は宙を舞い、アーセナルの放つ機関銃を回避。しかし、肩からのミサイルには対応しきれずに被弾。一瞬だけ、その高度を落とす。

「硬エな。一撃は無理か」

コクピットの中でアーセナルを操作する魔法少女、綾目瑠璃がそう呟き、アーセナルを操作。ライトパイロンのレーザーライフルを右手に換装し、連射。

放たれたエネルギー^{魔カ}弾は見事に命中。片方の龍の鱗を焼き焦がし、龍が叫び声を上げる。効いている、そう判断した瑠璃は追撃とばかりに急接近。メイスで患部にフルスイング。更にミサイルとレーザーライフルをゼロ距離で叩き込み、龍の頭から欠けた角が吹っ飛び、血が飛び散る。

その時、アーセナルの背後から別の龍がミサイルの発射台に齧り付き、破損する。

「なっ!?、んのおっ!」

アーセナルはそこで振り落とそうと縦方向に急速回転。龍はこれ幸いと身体に巻き

ついて締め上げるが、それこそが瑠璃の狙い。アーセナルはその尾にレーザーライフルの銃口を押し付け、連射。尾は焼き焦げて炭化して行き、ボロボロと崩れて行った。

その苦痛に悲鳴をあげる龍。締め付けが弱まった隙にメイスで顔を殴り飛ばし、壊れた肩の発射台をもぎ取り、投げ付ける。胴体にヒットした発射台は盛大に爆発、胴体を浅く焼き焦がして行く。

「ついでだ喰らえええっ!!」

アーセナルはすかさずライトパイロンの機関銃に右手を換装し、パージして投げつけて爆破。発射台に比べれば小規模な爆破が龍を襲う。

次に二匹の龍が見たのは、右手を掲げ、青い何かを収束させて行くアーセナルの姿。二匹はそれを阻止せんと火球を放つが、アーセナルはレフトパイロンの盾を左手に換装して防ぐ。それを見た二匹は二手に分かれてアーセナルの前後に回り、火球を放つ。

アーセナルは前の火球は防ぐが、背後の火球には目もくれずにひたすら魔力を収束させる。溜めて溜めて、そして二振の赤く輝く両刃剣に形を変える。

「喰らえオラアッ!!」

そう言い放つて盾を後方の龍に投げる。しかし龍はそれを回避、盾は地上に堕ちて行く。龍はアーセナルの作った剣を危険と判断して退きながら火球を放ち続けるが、それよりも疾くアーセナルは空を駆け、龍の胴を二つに切り裂き、片方の剣で串刺しにして

一つに纏め、投げ捨てた。

残るは一匹。アーセナルは全速力で後方の龍を視界に捉え、追跡を開始した。

逃げ惑う龍は必死に火球を放ち、侵攻の妨害を試みるが効果などない。アーセナルはその全てを回避、龍に迫って征く。そのまま間合いに入り込んで一閃。龍は二つに分かれ、地に堕ちて逝く。

「トドメだっ!!」

そう叫んだ瑠璃はアーセナルの滞空に必要な機構以外の全てを魔力に分解。無数の巨大な剣に変換し、その全てを大地に墮とす。

大地に突き刺さった全ての剣、それらを構成する魔力が外側へと張り詰めて行き、やがて、その全てが爆発を起こし、地上の全ては、爆炎に包まれた。

「やっべー……調子に乗っちゃったよ」

再構築したアーセナルの中で、更地と化した苦小牧西港を見下ろし、困った様に瑠璃は呟いた。

「こっから船で行かなきゃなんねえのに、どーしよつかねー…ん？」

そこから数瞬、すぐに瑠璃は代替案を考えつく。

「アーセナルの方が早いじゃん」

瑠璃は直ぐにアーセナルで南下して行った。

TENNIGE

縋^もゆ^う≧^何菴^も輔^も諱^恐舌^く? 縫^なエ^い縫

MAHOUSYOUZYOMADOKAMAGIKA

「やはり脅威的な力だね」

「あ？ テメエいつの間に乗リやがった。降りろオラ」

「踵でぐりぐりするのをやめてくれないかな」

アーセナルのコクピットで、白い獣が言った。その名はインキュベーター、宇宙を蝕む地球外生命体である。ソレ等は第二次性徴前の少女を騙くらかし、その星を破壊する。ダイケイドよりもたちの悪い存在である。

「別に大量にいるんだしいいだろ、別に」

「効率的な事じゃ無いんだけどな」

そう、インキュベーターは一にして全。個々による差など無い。

「にしても君みたいな子は初めてだよ」

「その話何回目だコラ」

「それほど希少な事なんだよ」

「ソウルジェムが穢れない様に願う魔法少女は」

ハッキリ言つて異常だ。とインキュベーターは言葉が続ける。

「ソウルジェムが穢れないと言うことは、即ち無限の魔力を持っているという事。君がその気になれば世界のエネルギー問題なんて一瞬で解決出来るだろう。そして何より、

ソウルジエムが穢れないという事は、魔女化が行われない。魔女化が行われないと言うことは、エントロピーの凌駕から一步遠のいたという事。全く、君には手をこまねいてゐるよ」

「…で、結局何が言いたいんだよ」

「早く魔女になってくれると嬉しいんだけどな」

「出てけ」

そう言い放つて、コクピットを開いてソレを海に放り投げる。彼女は流れでアーセナルを自動操縦に切り替え、掲示板に意識を委ねた。

156 : デイケイド (ニツチ)

>>153

だから助けに行こうつつつてんだよ！

弱虫ペダル共が!!

157 : ダクソニキ

>> 156

お前が行くときやかちちゃん家の防衛が薄くなるだろ
俺が行く

158 : デイケイド (偽)

>> 157

やめろ災厄ばら撒かれたらどうするつもりだテメー!

159 : 下衆大使

一旦落ち着かね?

160 : シュル天アガイガイチグニール

ヤメテクダサイマシ! ヤメテクダサイマシ!

161 : ダクソニキ

>> 159

>>>160

黙ってる洋梨共が

162:デイケイド(偽)

>>>159

>>>160

すっこんでろ

163:シユル天アガイガイチグニール

あ?

164:デイケイド(ニツチ)

あ?

165:下衆大使

あのさあ読み飛ばし可です、礼儀つてものがわかってないんじゃないの?僕はさ、最初に落ち着かせようと思うんだよね。どうしてそうしようとしたかっていうと、それ

が人間関係を深める上で一番大事なことから。どんな関係であっても、まずは自分と互いを知ることから始めなきゃならないわけじゃない？で、僕はこれでも気遣いができる方だから、なるべく誰とでも友好的に接したいと常々思っているんだよ。それに相手が照れ屋の可能性だってあるわけじゃない。仲良くしたいと思っけていても、なかなか自分からは名前を名乗ることだって躊躇っけてしまうみたいだね。そういう人に配慮する意味もあって、僕はできるだけ自分から喋っけて、相手を安心させる土壌を作っけてあげたいと思っけて行動してゐるわけ。もちろん、恩着せがましいそんなことを最初から誰にでもずけずけと明かすわけじゃないさ。でも、そういうった意味合いがあっけて唐突に喋っけていゝるんだっけてことを、ある程度の年齢になるまで過ごっけてきたなら察してほしゝいんだよね。っけていゝるか察せるでしょ。それとも君、仲裁してくれる相手に対して怒鳴るのが当たり前の生活してきたの？だとしてたらそれっけてちよつと僕の常識感と文化が違ゝうよね。それなら互い of 感覚のすり合わせは必要だと思っけて、それならそれで誤解を生まなゝいように前もっけて断っけておくべきじゃないかな。そういゝつた心遣い of 一つもしないで当たり前みたい to 相手の優しさに甘えるのっけて、ちよつと違ゝくない？というより、それはもはや失礼に値するよね。失礼そのものだよ。礼を失するっけてことは、相手に対してその程度の価値しか見てないっけてことだよ。相手の価値を見損なうっけてことは、それはもはや相手の人生 of、生き方の侵害だ。他者の権利 of 侵害だ。無欲で理性的な僕に對

する、僕の権利の侵害だ！

166：動くただのEXP
!?

167：シユル天アガイガイチグニール
何だ何だ!?

168：タマトリグサ
よくよく見たらレグルス構文じゃねーか！
物量で押し潰すのやめろ

169：デイケイド（ロツチ）
急にビツクリしたわ

170：デイケイド（ニツチ）
黙れマジで

お前が騒ぐのとダクソニキが煩いので行けねーんだよ

171：デイケイド（ヨツチ）

ホンマいつまで続くんこれ

172：とある魔法の光線銃

ちくわ大明神

173：デイケイド（ゴツチ）

誰だ今の

174：名無しの魔法少女

あ、あの…喧嘩は…

175：下衆大使

オイビームネキ生きてんじゃん

176：とある魔法の光線銃

トラトラトラ！我生還に成功せり！
今北産業

177：タマトリグサ

ビームネキ危ない！助けに行こう！

いや俺が！

あ？やんのか？

178：とある魔法の光線銃

>>177

たすかる

ところで喧嘩してる馬鹿共。俺今何してると思う？

179：ダクソニキ

何してんの？

180：ディケイド（偽）

>>178

まさか大群引き連れてコッチ来てるとかじゃ無いだろうか

181：とある魔法の光線銃

海の上を飛行中です☆

h t t p : / / T E N S E I . N E X T . N E T . J P /

182：デイケイド(偽)

でっかいロボットだ!?

183：ダクソニキ

やってみせろよマフティー!

184：シユル天アガイガイチグニール

何とでもなる筈だ!

185：下衆大使

ガンダムだ!?

アーセナルだけど

186 : タマトリグサ

>>185

ほう、ここにも仲間が

187 : とある魔法の光線銃

>>185

おお、同志よ！

188 : デイケイド (ロツチ)

ところでほむほむ

189 : 名無しの魔法少女

>>188

その呼び名はやめなさい

何？

190：デイケイド（ロツチ）

さつきそこから物取り出してたけどさ
生き物つて入れられんの？

191：名無しの魔法少女

：試した事なかったわね

192：デイケイド（ヨツチ）

ちよつと俺らで試してみん？

193：名無しの魔法少女

そうね

194：下衆大使

というかミサイルの位置おかしくね？

何でぶつといの二本左肩にギチ詰めしてんだよ

195 : とある魔法の光線銃

>>194

あれ、やっぱおかしい？

違和感は感じてたんだよね

196 : タマトリグサ

>>195

その形状は両肩だったはず

にわかか？

197 : とある魔法の光線銃

今年は2011年、後は察して

198 : タマトリグサ

>>197

あつ……（察し）

199：下衆大使

デモンエクスマキナは2019年…あつ（察し）

200：ダクソニキ

転生者あるあるだあ…（戦慄）

201：デイケイド（ロツチ）

ごちやごちやだあ…

202：デイケイド（ヨツチ）

ちよつと整理しといてやるぜ

203：名無しの魔法少女

そう、ありがとう

204：タマトリグサ

さて、明日はいよいよだな

205：ダクソニキ

ああ…

206：シユル天アガイガイチグニール

運命の日だな、イツチ、気張れよ

207：名無しの魔法少女

ちよつと待って。バマミも救うつもり？

彼女、かなりややこしいわよ

208：ディケイド（偽）

知らねーな。

無理無茶無謀は必要経費！

リスク無しに得られる物はたかが知れてるってもんだ

209：動くただのEXP

よう言った！

それでこそ男や！

210：とある魔法の光線銃

もう言うことが仮面ライダーなんだよなあ：

211：デイケイド（偽）

あんな屑石怪人何かと一緒にしないでくれ

212：下衆大使

>>211

ならイツチは何の為に戦うんだ？

お前は何を思った？

213：シユル天アガイガイチグニール

特撮によくある質問キタコレー

214 : デイケイド (偽)

>>212

俺は気に入らない物を全て壊したい。

滅茶苦茶な理論振り翳す赤いのも、クソツタレな未来も、誰かが死ぬのが正しい世界なら全部ひつくるめて壊したい。それだけ。

215 : タマトリグサ

悪ぶってる所で言ってる事がもう正義の味方のそれなんだよなあ…

216 : デイケイド (偽)

>>215

うっせ

「どうあろうとも邪魔するつもりか…鎧武」

ファイナルタイム！

オールドラゴン！

カチドキアームズ！

いざ、出陣！エイ！エイ！オー！

「越えさせない！越えちゃならない！！」

「ウィザード！！」

「それがお前にとつての俺だっ！！！！」

第三話

開始。

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 4スレ目 P

a r t 2

ヘルヘイムの森の中で、今日も今日とてウィザードと鎧武が戦う。ウィザードが美樹さやかを狙い、鎧武がそれを阻止する。最早いつもの流れになってきている。

その時、ウィザードが鎧武に怒鳴りつけた。それは、かつて自分が言われた呪いの様な言葉。

「分かっているだろう！美樹さやかもデイケイドも、お前に感謝することも無ければ、お前を信用することも無いっ！」

『人間は、必ずお前を拒むっ!!そんな連中の為に、犠牲になる気かっ!!』

その言葉に、彼が返す言葉は変わらない。

「俺の味方かどうかなんて関係ないっ!!」

「護りたい物は変わらないっ！」

「俺は俺の為に戦う!!」

一、十、百、千、万、億、兆！

「俺の信じた希望の為に！」

無量大数！

「俺の望んだ結末の為にツ！！」

カチドキチャーヂ！！

TENNIGE

暴かれし本性

MAHOUSYOUZYOMADOKAMAGIKA

さやかは通学路を歩く。あの日は結局あのまま夜を過ごした。事の顛末も大体聞いた。「一週間ぐらいは大丈夫」と言われ、その一週間も経った。

294：ダクソニキ

にしてもやめとくべきだって

ガチで性格歪むぞ

295：デイケイド（ニツチ）

>>>294

さやかちゃんと俺らが話す時虚空に向かって話してる事になるけど大丈夫？

296：下衆大使

>>>295

そこなんだよな

透明化解除すれば一気にコスプレ野郎だし、切ったら切ったでコミュ取れなくなるぞ

297：タマトリグサ

>>294

さやかちゃん^が他のスレ見なければ良いだけ定期

298：名無し^の人間

他はどんな感じなの？

299：ダクソニキ

>>298

見ない事を強く勧める

中学生には刺激強すぎ

300：シユル天アガイガイチグニール

>>298

夜中^は見ない方が^が良い

ガチで寝る時間溶ける

「あの赤い奴は必ず美樹を狙いに来る」と言って夜中に駆けつけて以来、ずっと見守っている。まあ、透明化してなかったらとつくに不審者呼ばわりされていただろう。

305：名無しの人間

授業中の暇な時に他の見てみるかな

306：シウル天アガイガイチグニール

>>305

ボーツとしてる時に当てられる展開が見える見える

307：下衆大使

いや真面目に授業受けなさい

308：とある魔法の光線銃

ちよつと集中したのでROMる

「さやかちゃんおはよう。昨日は大丈夫だった？」

「おじさんが守ってくれたもん。なんか増えたままだけど」

おじさんの知り合いと話せるようになったし。と言葉を続けければ、まどかがずるーい！と言つて飛び掛かってきた。さやかはそのままおりゃー！と叫んで後ろに回り込んで抱きつく。そしてそれをほむらが後ろで見ている。

「あ、ほむらじゃん、おはよー。おじさんが三人くらいそっち行つてると聞いて聞いたけど」
「おはよう、さやか。アイツらなら私の盾の中で待機してるわ」

「へー、便利だね」

312：シウル天アガイガイチグニール

つーか透明化して美少女のケツ追い回してるってこれイッチ犯罪者では？

313：デイケイド（ロッチ）

>>>312

身辺の警護つつつてんだろ

314：名無しの魔法少女

…よくよく考えてみるとそうかもしれないわね

315：ダクソニキ

変態が出たぞー！（クソデカ大声）

316：ディケイド（偽）

マジでやめろ。お巡りさん来ちやうだろ

317：動くただのEXP

言うてウィザード相手に拳銃じゃ足りん

318：とある魔法の光線銃

対ウィザード用に武器を考えてるのと、後は奥の手を今作ってる

319：ダクソニキ

>>318

ほほう、例えば？

320：極み変わるメタモン

>>318

奥の手は？

321：とある魔法の光線銃

・弾丸の一粒一粒が追尾するショットガン

・そのショットガンの弾を飛ばすサブマシンガン

・速射ヤシマガン

奥の手は見てからのお楽しみ

322：ダクソニキ

えぐ

323：シユル天アガイガイチグニール

普通に強いな

324：とある魔法の光線銃

今思ったけど初号機にして走った方が早く着きそうだな

325 : 名無しの魔法少女

…次は何？

326 : とある魔法の光線銃

簡単に言うとうと高さ40〜200メートル級の巨大ロボット

そんなくらい歩幅デカければ早いと思つて

327 : 名無しの魔法少女

それだけ大きければ動かすだけでも魔力を浪費するでしょう。グリーンフシードは持つのか？

328 : とある魔法の光線銃

>>>327

その事なんだけど、俺グリーンフシード要らんよ

329 : 名無しの魔法少女

は？

光線銃とやらの爆弾発言に耳を傾けながら通学を再開する。話を聞いてみれば、どうやらまどかの方は無事だったらしい。ほむらともちよつとは仲良くなれたようだという事をさやかは知った。まあ初対面が少々アレだったから仲良くもクソもないとは思うが。

334：シウル天アガイガイチグニール

まあ何ださやかちゃん

暇になったら暇つぶしスレでも見ればいいよ

335：タマトリグサ

吹き出しても問題ない様にマスク持ったとき

336：名無しの間

はーい

そうして通学中に三人で話し、たまに分身とコミュニケーションを取る。分身達がい

そんな場所に手を振れば、分身がいると思わしき場所でも木の枝が振り回されていた。その後、何かを殴打する音が響いたが、きつと気のせいだろう。

「イツテエツ!？」

「本っ当にコイツマジでっ…!」

「縛れ!縛つとけ!」

358：下衆大使

お前らは勉強どこまで出来た？

359：タマトリグサ

赤点は無かったと言っておこう

360：シユル天アガイガイチグニール

まったくわかんね

361：名無しの人間
数学終わったー！

362：下衆大使

次は？

363：名無しの人間

英語！次で最後！！

364：ダクソニキ

ジャイアン「やあのび太、また0点取ったんだって？お前は墮落と怠慢の寵児だ」

「やあ瑠璃！早く魔女になってくれないかな！」

「…くたばれ」

元気良く言い放つインキュベーターに気怠そうにそう言い捨てる瑠璃。「そっかー」と言つて帰ろうとするインキュベーターを引き止める。

「何だい？」

「なあ、ワルプルギスって何なんだ？」

「…？ 魔女だよ？ 君も理解しているだろう。何を今更」

「俺が聞いてんのはその正体だよ。たかが数匹魔女を集めた程度で伝説になんざなる訳ねえだろうが」

「…流石の洞察力だね、瑠璃。いいだろう、教えてあげよう」

そうして、インキュベーターは語り始めた。

「ワルプルギスの夜は強い。君のいう通り、その力は魔女数匹で説明はつかないだろうね。」

とある国、今で言うヨーロッパだったかな？そこで三人の姉妹達が生まれたんだ。いつも通りに、その三姉妹と僕は契約した。

知つての通り、魔法少女の末路は破滅以外に有り得ない。

そうして魔法少女になった三姉妹は、縋るように抱き合いながら魔女になったよ。

その三体の魔女が生まれ、またエントロピーの凌駕に一步近づいた、そう思われたん

だ。

何と驚くことに、三重に重なった魔女の結界は、僕達の干渉を跳ね除けたんだ。

だが、それを観測して次に繋げることは出来る。そう思つて観測を始めた時、僕達は
何を見たと思う？

結界の中に張り詰めた絶望と希望の相転移の際に生じるエネルギー。その全てを吸
収し始めたんだ。

そうして、ワルプルギスと言う都合のいい道具存在が作られた、と言う訳さ！」

「…成程、相転移のエネルギーを取り込んだ魔女…」

それを聞いて、少しの間顎に手を当て、考える仕草をした後、瑠璃は津軽海峡にキユ
ウベえを投げ捨てた。

【超絶】俺たちの暇つぶしスレ 【怒涛】 Part 195498

271：暇人転生者

語尾に↘↑これつけると柔らかくなる気がする↘

272：暇人転生者

な訳ねーだろカス

273：暇人転生者

暇を潰すしかやる事のないゴミどもの集まりはここか？w

274：暇人転生者

あ？

275：暇人転生者

なんだ初見か？

肩の力抜けよ

276：暇人転生者

あークツサw w w w w w w

噛みつき方が小学生だよお前らw w w w w w w

そんなだから童貞なんだろw w w w w

277：暇人転生者

童貞か？！欲しけりやくれてやる

さがせえ

!!!!!!

278：暇人転生者

世はまさに大後悔時代！！

青春の時間をネットに置いて来た
!!!!

279：暇人転生者

女たちは童貞を探すために海にでた！

280：暇人転生者

ありつただけの、妄想く、かき集めく

オカズをく探しにく行くのさく

281：暇人転生者

1P!

282 : 暇人転生者

>>>281

結局オ○ニーかよwwwwww

【なんとか】俺氏の魔法少女襲来記【する】 5スレ目

231 : デイケイド (偽)

【悲報】キルバスさん、強すぎる【無理ぽよ】

【照れ臭そうに笑う赤い制服姿の男の画像】

232 : 名無しの転生者

キルバスがちやんとした服着てるし見たことない表情してる…

233 : 名無しの転生者

ええ…？

234：名無しの転生者

流石に一発は入れたよな？

235：デイケイド（偽）

>>234

いや全然

なんなら変身しないでボコボコだったわ

236：名無しの転生者

ええ…（困惑）

237：デイケイド（偽）

けど優しかったからヨシ！

怪我の手当もしてくれたしな

238 : 名無しの転生者

キルバスが怪我人の手当…？

239 : 名無しの転生者

あれ？耳腐ったかな？

240 : 名無しの転生者

ちよつと心療内科行ってくるわ

241 : 名無しの転生者

自分は眼科に…

242 : 名無しの転生者

明日歯医者なんだよね

嫌すぎる…！

243 : 名無しの転生者

>>242

わかる

244：名無しの転生者

>>242

つらい

245：名無しの転生者

>>242

明日が歯医者

明日は月曜日

このフリーズの不快感は異常

【特典が】俺氏のウマ娘世界探訪記【無駄無駄】

12スレ目

198：無駄な破壊者

このオグリとか言う女マジ調子乗ってつからよーww

足改造してやったわwwwwwwwwww

泣いてやんのwwwwwwwwww

マジテラワロリツシユwwwwwwwwww

【幼いオグリキャップがウマ耳の生えた少年に抱きつく画像】

199：ダクソニキ

は？

200：名無しの転生者

ちよーwwwwwwww

なんて事すんだよーwwwwwwwwww

泣いてんじやんかよーwwwwwwww

201：名無しの転生者

世界で家出してる奴いっぱいいるのに何でコイツこんな幸せそうなんだよ

202：名無しの転生者

裏山

431：名無しの人間

たっだいまぁ…

432：シユル天アガイガイチグニール

おかえりー

433：下衆大使

俺達の世界はどうだった？

434：名無しの人間

なんか、ヤバいの多すぎない…？

435：とある魔法の光線銃

>>434

そりや何より（脳死）

それと、この後はどうするの？

436：動かただのEXP

この後は…あつ

437：名無しの人間

この後は恭介って人のお見舞い行くの？

438：下衆大使

成程！

イツチーズ、スタンバイしとけ

439：デイケイド（ニツチ）

へーい

440：デイケイド（ロツチ）

イツチーズって呼び方なんやねん

441：名無しの人間

なになに、なんかあるの？

442：動くただのEXP

>>441

今宵、金髪のお姉さんが死にます

443：シユル天アガイガイチグニール

えっ

444：名無しの人間

えっ

445：タマトリグサ

>>443

何でお前も驚くねん

446：シユル天アガイガイチグニール

>>445

まどマジ知らないんだもん…

447：下衆大使

金髪ティロファイナーレさん「もう何も怖くない！」

448：とある魔法の光線銃

やめろ

449：ダクソニキ

マジで頼む、辞めてくれ

450：名無しの魔法少女

貴方達の間でも有名なのね。

451：デイケイド（偽）

誰か説明してクレメンス：

452：下衆大使

元々の流れだと：

← さやかちゃんお見舞い行く。まどかちゃんはお留守番

← 魔女结界発生、さやかちゃん閉じ込められる

← まどかちゃん、ママさんに連絡

← マミさん、まどかちゃんに過去を暴露

← まどかちゃんが「もうひとりぼっちじゃない」と励ます、マジで天使かこの娘

← ほむほむが止めに入るも、あつさりと捕縛、そして放置

← さやかちゃんと合流

← マミさん、張り切って蹂躞

← もう何も怖くない！

← マミさん、まどかちゃん&さやかちゃんにファンサービス

← 隙をついた魔女に首を食い千切られる

首を食い千切られる

453：デイケイド（偽）

うわあ…

454：シユル天アガイガイチグニール

無様で草

455：動くただのEXP

助けてチェンソーマン！

456：下衆大使

アカンそれはワイらも死ぬウ！

457：ダクソニキ

まあ今のイツチは前より着実に強くなってるし、
一瞬で足元掬われるぞ、
だけど油断はすんなよ

458 : デイケイド (偽)

>>457

おう

459 : デイケイド (ゴツチ)

死にゲー在住は説得力が違うな

460 : ダクソニキ

>>459

うるさ

461 : 名無しの間人

…え？あの人死んじゃうの？

462 : 下衆大使

それをイツチが阻止しに行く

463 : ダクソニキ

チーズとか持つてくといいかもしれん

464 : 下衆大使

>>463

名案

465 : デイケイド (偽)

>>463

金無い……

466 : タマトリグサ

あー……

467 : デイケイド (ゴツチ)

しかも七徹ウ……

468 : ダクソニキ

オイオイオイ、死ぬわコイツ

469 : タマトリグサ

甘いな、43 徹した末に過労死した俺を見習え

470 : 動くただのEXP

>>469

ええ…?

471 : 下衆大使

>>469

法律の敗北

472 : ダクソニキ

>>469

お前どないなつとんねん…

473 : シュル天アガイガイチグニール

>>469

さては貴様グランプラーだな？

474：名無しの人間

…え？社会ってこんな事あんの？

475：デイケイド（ロツチ）

>>474

あつてたまるか

476：名無しの人間

なんか落ちてたけど何これ？

【お菓子の魔女のグリーンフシードの画像】

477：ダクソニキ

あつ

478：下衆大使

始まったか

「…ねえ、フィリップさん」

「…何かな？」

お菓子の魔法の結界の中、バママが不安げな顔でフィリップに問いかける。

「ウィザードの事なんだけど…その、何があつたのかな、って」

「彼について検索してはみたものの、全ての本に鍵が掛かっている状態だった。彼が僕たちに何か隠していることは間違いないね」

「…そう、よね。私、ウィザードと話してみる」

「…正気かい？得策とは思えないよ？」

「ええ、そうよね。でも、ちゃんと話してみる事が大事だと思うの。ちゃんと話し合つて、お互いの事をよく理解して、その上で次を決めていく。それが、仲間つて事でしよう？」

「…まったく、君も翔太郎も人が良すぎるね」

「…ちよつといいかしら」

その時、凜とした声がその場に響いた。ママとフィリップが声のした方へと視線を向ける。そこには黒髪の魔法少女、ほむらがいたのだ。

「やあ、暁美ほむら、だね？」

「…何故、私の事を知っているのかしら」

「君の事は既に検索済みさ。ただひたすら友の為にひた走る健気な少女。僕は君を好意的に捉えているよ」

「…そう、検索。アイツらも貴方と同じ手法で知識を得ているのかしら」

「…何をしに来たのかしら？世間話をする様な間柄じゃないわよね」

「悪い事は言わないわ。今回の魔女から手を引きなさい。今回の魔女はこれまでの奴らとはわけが違うの」

「それを見ず知らずの貴方に言われて、はいそうですかと言う私じゃないわ。それとも、たった一人で私達を止められるとでも思っていたの？」

余裕を見せるママミの発言に、ほむらは心底滑稽そうにその口を三日月に歪め、嗤った。

「…いつから、勘違いしていたのかしら？」

「…？」

『暁美だけじゃねーぞ！』

『ヒヤハハハハハハハハ!!殺せ殺せエ！』

『不思議な黄色い棒で元氣100倍イ!!』

「一人なんかじゃないわ」

一方その頃、魔法の結界最深部では、

「うめ、うめ」

『うめ、うめ』

『うめ、うめ』

「…」

極彩色の結界を作った張本人であるお菓子の魔法。その使い魔達が集めてきた大量のお菓子をもっさもっさと頬張るディケイドとその分身達。その様子を見たさやかはほむらに強い武器融通してもらおっかな。などと考えたのだとか。

それにしても、お菓子を貪っている彼らは変身した顎部の装甲へお菓子をねじ込んでいる訳だが、一体どうなっているのか。

483：名無しの魔法少女

ほむらちゃんがんばれ

484：タマトリグサ

いけほむほむ！そこでアツパーカットツツ！！

485：シウル天アガイガイチグニール

>>484

あ、おい待てい、アツパーカットが届く間合いじゃないゾ
ここは弾幕張るべきそうすべき

486：名無しの魔法少女

集中出来ないから黙ってなさい！

487：ダクソニキ

さやかちゃんの方は今どうなってる？

488：名無しの人間

おじさん達が野晒しに置いてあるお菓子ムシャムシャ食べてる

489：下衆大使

ごめんなんて？

テレポート！プリーズ！

「ハアアアアアアアアアアアアアアアアッ!!」

「ん。っ」

『ビックリした！何だ何だ!?!』

『大丈夫か本体ーっ!!』

鎧武の一瞬の隙を突き、地球へと帰還したウイザードが雄叫びを上げながらさやかに奇襲を仕掛ける。デイケイドはそれに驚き、喉にドーナツを詰まらせながらもオーロラカーテンを通じて器用に顔を蹴り飛ばした。

「ゲホッゲホ…来やがったなクソルビーー!今度こそ叩きのめしたらあよオー!」

「…それはコツチの台詞だ、デイケイド。今度こそ貴様諸共美樹さやかを葬り、世界を有るべき姿へと戻すっ!」

「やってみろやハゲ!」

そう啖呵を切ったディケイドにウィザードの放った無数の銃弾が殺到するが、ディケイドはその全てを切り伏せ、ウィザードの胴に跳び膝蹴りを叩き込み、そのままマウン
トを取る。

『ヨシ！俺達も行くぞ！』

『応ッ!!』

「いや、お前らは美樹の側で待機だ。コイツが他に何隠してやがんのかもわかんねーか
らな」

『アツハイ』

499：ディケイド（偽）

こつちも来たから中継開くぞ

http://TENSEI.NEXT.NET.JP

500：下衆大使

出たわね

501：ダクソニキ

待て、コレどっち見りゃ良いんだ？

502 : 動かただのEXP

>>501

知らね

『クソツ、何だこのクワガタアツ!』

『オアーツ!?クモはやめ、オアーツ!?』

『だあつ!!このコウモリクソうぜーんじや!!』

513 : ダクソニキ

グダグダで草

514 : とある魔法の光線銃

おけ、シヨットガン出来上がり
ん?

515：下衆大使

>>514

どうした？

516：とある魔法の光線銃

新手だな

【海上を浮遊するスーパークライス要塞の画像】

517：ディケイド（偽）

えっ

518：ディケイド（ニツチ）

えっ

「貴女は確かに速いわ。でも、同じ条件で私に勝てる？」

「ツ!!」

飛び回りながらMG42でマミを狙うほむら。対するマミはリボンでほむらを捕縛

しようとする。明らかな手加減と力の差に、ほむらは不機嫌そうに眉を顰めた。

「フィリップさん！ちよつとこつち手伝つてもらえる!？」

「ああ、僕は彼女を傷つけるつもりはないよ」

「え
」

「今っ!!」

フィリップの発言に気を取られたマミ。その隙を突き、ほむらが時間を止めた。その勢いのままに分身達に触れ、停止した時間の中に招き入れる。

「此処で時間を無駄にする訳にはいかないわ。先を急ぎましょう」

『『…うす』』

「ハアツ!!」

「ごうっ!?!…効かねーなアツ!!」

ディケイドの斬撃を躲したウィザード。カウンターのドラゴヘルクローをディケイドの腹部に叩き込む。しかしディケイドはその一撃に怯む事なくウィザードの顔面に拳を叩き込んだ。

仰け反ったウイザードに追撃を叩き込まんとデイケイドが肉迫。しかしウイザードはドラゴウイングで上昇しながら急速回転、後方に飛び、尚且つデイケイドの顔面に遠心力を乗せたドラゴテイルを叩きつける。

「うおっ!?!…良いのかあ? そんなに距離開けちまってよお!?!」

その一撃もまるで効かないデイケイドはウイザードに向けてライドブツカーをガンモードに変形、乱射する。当然、ウイザードはそれを回避するが、エネルギー弾丸がまるで意志を持ったようにその場で急速旋回、ウイザードの翼を貫いたのだ。

ドラゴタイマー!

セツト アップツ!

スタートツ!

フレイムドラゴン!

ウオータードラゴンツ!

ハリケーンドラゴンツ!

ランドドラゴンツ！

直後。爪、尻尾、翼が、勢い良く外され、ウィザードが四人に増殖。さやか目掛けて突撃を仕掛ける。

デイクイドはまずライドブッカーで翼を持つウィザードを撃墜、そのままフルスイングで爪を持つウィザードを殴り付け、返しの刃で青いウィザードを斬り裂く。

チヨーイイネ！スペシャル！

サイコー！！

自分の一瞬の隙を、赤いウィザードが魔法陣を展開するのをデイクイドのディメンションヴィジョンが捉えた。恐らくは、分身ごと焼き払うつもりだ。

どうする？デイクイドは心の中で思考する。

先に本体を叩く？駄目だ、その前に撃たれる。よしんば阻止したとしても、分身達を抑えられない。

なら、答えは

「お前らツ!!」

『分かつてる!!』

デイケイドが指示するより先に動いた分身達が、さやかを突き飛ばした。直後、劫火にデイケイド達が飲み込まれる。

「おじさんっ!!」

ウイザードは自身の脳が齎す愉悦に、ぐしやりとマスクの中の口を歪める。二秒、三秒と時間をかけて、魔法を解いた。其処には、焼け焦げた自分の分身、そして、腕を交差させ、防御の体制をとったデイケイドの、無傷の姿。

「…は？」

「なんか効かねエぞおおおっ!!」

そう吠えたデイケイドは黄色いウイザードを掴んで赤いウイザードに投げつけ、更に青いウイザードの尻尾を掴み、緑色のウイザードの頭を思い切りカチ上げる。分身達は塵となって呆気なく砕けた。

539：名無しの間人

…おじさんが火だるまになってもピンピンしてるのは何で？

540：下衆大使

>>539

デイヴァインスーツ

宇宙空間のような絶対零度—273.15℃や超高温下6000℃のマグマの中でも耐え忍ぶことが出来る。

また電子や陽子から成る高エネルギーの荷電粒子や、紫外線・X線などの電磁波からも体を守ることが出来る。

伸縮自在でアクティビティな行動を可能にする全身を覆うスーツ。

541：ダクソニキ

>>540

何でそんなポンと出んねん…

542：シユル天アガイガイチグニール

>>540

有能

543：名無しの転生者

>>540

ワザマエ！

分身達は対処した。もう一回増やされない限りは一对一のタイマン勝負。仮に自分が負けても、分身達がいるので問題はない。

そう括った高が、隙を生み出す。

ライドブツカーを高く構えたデイケイドの真横から、一つの影が突貫する。

飴玉の様な頭を持ち、生を感じさせぬ光の無い目を持ったお菓子魔女、

シャルロット^{シャルロット}。

546：デイケイド（偽）

ファツ!? 何だこいつ!?

547：ダクソニキ

出たあああああああ!!!

548：タマトリグサ

イツチ

絶対に逃すな確実に滅殺しろ

549：下衆大使

うわでた

550：とある魔法の光線銃

トラウマ量産機

551：動かただのEXP

首が…あつあつあつあつ

552：名無しの転生者

地獄絵図で草

「でえーい!!」

事情は知らないが、少なくとも良いものでは無いとスレ民の反応から判断したディケイドはCharlottesの頭をサッカーボールの要領で勢い良く蹴り飛ばす。

その隙にウィザードは、デイケイドから距離を取り、指輪をベルトに当てて、魔法を発動する。

チヨーイイネ！キツクストライク！

サイコー！

上空より飛来するウィザードのライダーキツク、それを察知したデイケイドは身構える、その時だった。

「セイツハアツ!!!」

更に上空から仮面ライダー鎧武が飛来。カチドキ旗でウィザードを叩き落とした。

560：ダクソニキ

キタ———（。△。）———!!

561：極み変わるメタモン

ウオオオオオオオオオオオオオ（。∩。）オオオオオオオオオオオオオ

562：下衆大使

勝ったな（確信）

563：ディケイド（ニツチ）

アイツ図体デカいのに早くね!?

564：シユル天アガイガイチグニール

なんか倍速みたいな動きしてて草

565：タマトリグサ

あー、アれてっ確かレデュエ戦でやってたヤツか

「漸く見つけたぞ、ウイザードオツ!!」

「悪いけど」

「!？」

「ソイツだけじゃ無いわよ」

『どーゆー状況!?!』

『知るか！撃て撃て!!』

『死ねオラツ!!』

更に加勢に来たほむらと分身達が放った銃弾はウィザードのみを的確に射抜き、ほむらが鎧武の隣に、分身達はさやかかの元へ向かう。

「事情はよく知らないけれど、共通の敵が居る以上、大人しく協力した方が良いと思うのだけど」

「…ああ、行ツくぜえええツ!!」

マズイ、率直にウィザードはそう思った。

デイケイドとの戦闘によるダメージ。想像以上に強くなっているデイケイドへの対処方法の模索。

そして何より、ここ一週間での鎧武との連戦による魔力不足。これが一番響く。

鎧武は禁断の果实の力で無尽蔵の体力を得ているが、ウィザードは違う。その魔力も戦うだけで浪費してしまう関係上、一週間も戦えば、残った魔力は残りカスもいところである。

だが、今日は、今日だけは。何としてでも戦わねばならない。

ここにはデイケイドがいて、鎧武がいて、暁美ほむらがいて、巴マミとダブルももうじき来る。

ここは、絶対に負けられない。

ドラゴタイマー！

セット アップツ！

スタートツ！

フレイムドラゴン！

ウオータードラゴンツ！

ハリケーンドラゴンツ！

ランドドラゴンツ！

「オオオオオオオオオオオオオオオオオオオツツツ
!!!!!!」

ファイナルタイム!!

オールドラゴン!!

「ニツチ！行くぞっ!!」

『ウオオオオオオオオッ!!』

デイケイドと分身、そして鎧武がウイザードに突撃。その間はほむらがMini miをウイザードに向けて乱射。ウイザードが怯み、その隙に分身が顔面にドロップキック。デイケイドがライドブツカーで首を斬りつけ、鎧武が火縄大橙DJ銃・大剣モードで思い切り吹き飛ばす。

ウイザードは翼で体勢を整え、すぐさま飛翔。鎧武が後を追いつ、デイケイド達がウイザードに向けて銃弾を放つが、魔法の風により弾かれてしまう。

その風をカチドキアームズ特有の重厚さで突き抜けた鎧武が大剣をウイザードに振りかぶり、黄色のリボンに絡め取られた。

「ウイザードツ!!」

「急いで来てみれば、中々面白い状況だね」

ここで、バマミとフィリップの加勢。バマミはウイザードに駆け寄り、フィリップはデイケイド達とウイザードの間に立った。

「大丈夫？ウイザード？」

「…バマミ？そうか…よく来てくれた。助かったぞ」

巴マミがウィザードの傷を癒やし、同時に自分の魔力を分け与える。そうして回復し、立ち上がったウィザードがフィリップに話しかける。

「…さあ、第二ラウンドだ。ダブル、巴マミ。共にデイケイドと美樹さやかを殺し、正義を果たすぞ!!」

「…っ、ええ」

「了承した」

マミはデイケイド達の上空に跳躍。マスケットを広範囲に乱射。そしてフィリップは複数のメモリガジェットで一同を攪乱を担当する。

その戦いを俯瞰するウィザードは、一瞬の間を見つめ、デイケイド達の陣形を突破。胸部のドラゴンの口から火炎放射。分身達は先程と同じくさやかを突き飛ばす事で対処しようとするが、展開した魔法陣から炎が放たれる事はなかった。

同じ行動を見せて、同じ対処をさせて、油断した所で標的を殺す。

つまりは、騙し討ち。

さやかは眼前に迫る明確な死に反応しきれず、其処で固まってしまった。その無防備な少女に、ウィザードは容赦無くその刃を振り下ろし

銀色の小さな恐竜を模したガイアメモリに弾かれた。

「なっ」

「すまないね、ウイザード。少々嵌めさせて貰った」

そう言つて、フィリップが笑う。その様子を見て、ウイザードが怒鳴った。

「ダブル…自分が何をしているのか、わかっているのか!? この女を殺さなければ世界が

滅ぶんだぞ!!」

「ああ、よく理解わかつているとも」

「ならば何故っ!!」

その言葉を聞いた瞬間、フィリップの瞳に強い光が灯った。

「僕達には、風都の探偵としての意地がある」

FANG! JOKER!

『ソイツが何であろうと、誰であろうと、俺達が守らなきゃなんねえ、この街の人間なんだ。死なせる訳にはいかねえんだよっ!!』

「そして彼女についても検索は完了している。いずれの情報から照らし合わせても君の行いに正当性は微塵もない。真っ黒だ」

「さあ、お前の罪を数えろ！」

「貴ツ様ア…!!」

「何だかわからねえが、これで9対2だな。まだやるか？この戦力差でも」

「…ああ、やるさ。ここが正念場なんだ」

595：ダクソニキ

!!!
うおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお

596：極み変わるメタモン

アツイ!!まじでアツイぞこの展開!!

597：シユル天アガイガイチグニール

9対2とか絶望的で草

君もう帰っていいよ！

598：下衆大使

いいゾ〜これ

599：タマトリグサ

勝ったな、風呂食って来る

600：とある魔法の光線銃

うおおおおおおおおおおおおおおおおお090—3***7—6***9

601：動くただのEXP

おま罪キターー！

「巴マミ、コツチへ」

「は、はいっ」

「よし、行くぞオラアアアアアア!!」

全員が突撃しようとしたその時、長い首が伸びて行き、目の前の地面を抉った。その正体は、先程蹴飛ばされたChar^ルl^ルo^ルt^ルe^テ。

大蛇のような黒く長い体とカラフルな目、パーティ帽のような鼻、頭部付近についた赤と青の羽。口元からは青い舌が飛び出していて、いわばペコちゃんのような可愛らしさを感じさせつつも、相手を一口にしてしまう大きな口を持っており、そのポップな外

見には不似合いな攻撃的で鋭い牙を持つ。

直後、Charlotte^{シャルロット}がその場で急旋回。遠心力を活かした尻尾で大きく薙ぎ払う。それを回避する為に全員が真上へ跳躍。その執着心を糧に上空へと体を伸ばし、狙われたのはマミ。

マミは自分と地面のお菓子をリボンで結び地面へと急降下、攻撃を回避する。

地面へと着地したマミはマスケットを精製し、上空のCharlotte^{シャルロット}へと照準を向け

バインド！プリーズ！

銀色の鎖に捕縛された。

「……え？」

「お前の下らないごっこ遊びに付き合わされるのもこれで最後だ」

そう言ったウィザードはバマミを大口を開けて迫るCharlotte^{シャルロット}の方へ蹴飛ばした。

「ウ、ウィザ

」

「死ね、バママミ」

チヨーイイネ！スペシャル！

サイコー！！

625：シウル天アガイガイチグニール
なんかイツチ達の視点荒ぶってない？
すごいグルグルしてる

626：極み変わるメタモン
ウイザードが下衆過ぎて草もはえない

627：タマトリグサ

>>625

本当だ、主観視点クソ酔うわ

628：下衆大使

>>625

三半規管壊れちゃ〜う

629：名無しの魔法少女

駄目、間に合わない

！

ウィザードに蹴り飛ばされ、宙を舞う巴マミの眼前にCharlotteの鋭い牙が迫る。ギロチンの様に開かれる様を映したその瞳とは別に、彼女の生涯がどこか他人事の様子に頭を過る、所謂走馬灯を体験していた。

『僕と契約して、魔法少女になってよ!』

死に物狂いで「死にたくない」と願ったあの日。両親が死に、自分も死にかけていた時のことは忘れようもない。

『さあ、お前の罪を数えろ!』

突如として現れた仮面ライダーダブル。変身者の一人である左翔太郎と趣味が合い、明け方まで必殺技について語り合っていたのをよく覚えている。

『今日から君達と一緒に戦う、仮面ライダー鎧武、葛葉紘汰だ。よろしく!』
『同じく、ウィザードだ』

その後二人の仮面ライダーと仲間になった。気さくに話しかけてくれる紘汰さんに、ウィザード。二人ともとつても強くて、日々戦い方を教えて貰っていた。

嗚呼、あの子は

佐倉さんは、今は何をしているんだろう？

自分の首を食い千切らんと迫る牙を見ながら、マミはそんな事を考えて、やがて

『「あああああああああああああ!?!」』

物凄い勢いで飛来した二人のデイケイドが、マミに迫るCharl^{シャ}lotte^{ロッテ}と、魔法陣を構えたウィザードを弾き飛ばした。

咄嗟の出来事に驚愕し、目を見開くマミ。ウィザードが飛来した方を見やると、其処にはまるで何かを蹴り飛ばしたかの様に片足を振り上げたデイケイドとダブルの姿。

『ナイスシュート』

「お互いにね」

ATTACK RIDE

BLAST

SHOULDER

FANG

ダブルとグータッチを交わした分身はライドブツカーで、ダブルは肩から生成したブーメランでウィザードに追撃を加える。

一方、マミを抱えたデイケイドは自分と相対するCharlotteに目を向ける。執着心に身を任せ、マミを狙った突貫、空中で身動きの取れないデイケイドは格好の餌食、かに思えた。

「そおい!!」

「■■■■■■■■!?!」

「グエツ!?!」

「きやあつ!?!」

空中で体を捻り、遠心力を利用した踵落としがCharlotteの眼球に炸裂。悲鳴をあげて悶えるCharlotteの尻尾がマミごとデイケイドを叩き落とす。

650 : デイケイド (偽)

ヤバイヤバイヤバイヤバイ!!

ちよつ助けて！

651：シユル天アガイガイチグニール
オイオイオイ!!

652：極み変わるメタモン
アカン！このままじゃマミさんごとグチャリやぞ！

653：デイケイド（ロツチ）
ヤバい俺届かん!!

654：デイケイド（ヨツチ）
うおおおおおおお飛ばせバイクううううう

655：下衆大使
イツチ、手開いて下に向けて力入れてみて！

656：デイケイド（偽）

>>655

この期に及んで何言つてんだオメー！

657：下衆大使

いいから早く！

658：デイケイド（偽）

これでどうにもならなかつたら恨むからなお前！！

「クツソ！！どうにかなれええええっ！！」

その自棄の一言と共に地面に掌を向けるデイケイド、直後に驚愕する。なんと徐々に落下速度が落ちていくではないか。

662：下衆大使

手足に付いたそれぞれのバンドはテスラバンドと言い、手からマイクロ波を飛ばし、

共振を利用することによって浮遊する能力を得ることが出来る。

さて、何か言うことは？ イッチ君？

「…恨むとか言つてスンマセンでした」

664：下衆大使

よろしい

一息吐く余裕は無い。オーロラカーテンで分身達諸共さやかかの元へ移動する。鎧武もそれに追従する。

「俺、ニツチ、サツチでクソルビーを殺る。フルーツはヨツチ、ゴツチ、ロツチで美樹と金髪守りつつ芋虫をぶつ殺せ!!」

「分かった!!」

『任せとけ!!行くぞでテメーら!!』

Charlotte^{シャルロット}に飛びつく分身達を尻目に、デイケイド達はオーロラカーテンでウィザードの元へ移動する。

の爪で応戦。爪と爪の応酬、制したのはダブル。ウィザードの爪を弾き、自重を活かして腹部を蹴り上げ、身体を思い切り捻り、遠心力を最大限利用した拳を顔面に叩き込む。『うわ、よつと、ちよ、どうした急に!?!』

「冷静さを欠いているようだね。チャンスだ、つと」

ウィザードのドラゴスカルから乱射される火炎弾を素早い動きで回避。その直後、オーロラカーテンでウィザードの真横から出現したデイケイドが脇腹にドロップキックをお見舞いする。

「ぐうあつ!?!」

『そおいつ!?!』

「くっ!?!」

意識外からの衝撃でよろけるウィザードの胸を分身が追い討ちとばかりに蹴り上げ、115kgあるウィザードの身体が僅かに浮き上がる。

「一気に決めるぞ!!」

「了解した」

FINAL ATTACK RIDE

FANG

MAXIMUM DRIVE!

「ま、マズ

ATTACK RIDE

BLAST

ATTACK RIDE

SLASH

飛び上がるディケイドとダブルより更に上空へ行かんとウィザードは翼を広げる。しかし、そうはさせせじとばかりに分身の一人が放った弾幕がウィザードの翼を蜂の巣と化し、空中へと霧散した。

続き、もう片方の分身が追撃にライドブッカーの刃を振り下ろす。ウィザードは両手の爪でそれを防ごうとするが、マゼンタ色に発光した二つの刃がウィザードの爪と胸部の龍頭を破壊、本体の刃による左肩から右腰にかけての袈裟斬りが炸裂、血飛沫の様に

火花が飛び散る。

「ぐ、あああああつ!!」

『つしやあ! やつたれイツチ!!』

『デカいの決めたれー!!』

怯むウイザード。上空にはずらりと並ぶ黄金のカードを突き抜けてウイザードに迫るデイケイドと、青白い炎を纏って回転しながら飛来するダブルの姿。

DE DE DE DECADE

「死イねえええええええつ!!」

「フアングストライザー!!」

黄金のエネルギーを蓄えた右足が顔面に、青白い炎を纏ったマキシマムセイバーの斬撃が胸部に叩き込まれ、ピンボールの如く大きく吹き飛ばされ、軌道上にあった食べかけの巨大ドーナツが砕け散る。

「ゲ

吹き飛ばされたウィザードは、全身がゆっくりと罅割れて行き、やがて

「あああああああああああああああああああああああつ!!」

爆散、爆炎が辺り一帯を包み込んだ。

「よっしやーっ!初めての大金星イ!!」

『『イエーイ!!』』

「魔女も倒してないのに、呑気なものね」

ピョンピョンと飛び跳ねながら分身達とハイタッチを交わすデイケイド。それを冷ややかに見つめるほむら。

「…あっちも終わったようね、行きましょう」

『『は〜い!!』』

「了解した」

ほむらに追従して歩くデイケイドと分身達。隣を歩くダブルに、ほむらは話しかける。

「そういえば」

「何かな？」

「貴方、私のことを知っている様だけれど、何処まで知ってるの？」

「…勝手に言われたら困る様な秘密まで、ね」

「…そう、なら勝手に言いふらさないようにね」

「わかっているとも」

そうして歩くこと10分。漸くさやか達の姿が見えてきた。いつの間にやら気を失った巴マミと、それを抱えるさやか。変身を解除し、人間時代の姿をした葛葉紘汰。恐らく透明化したのか、姿の見えない分身達。マミを心配そうに見つめるまどか。

「全員無事そうではかったわ」

「おう、そつちも無事そうではかった」

変身を解除し、まどかに駆け寄るほむら。

「まどか、貴女はどうして此処に？」

「さやかちゃんが上条君のお見舞いに行くついでに、私も一緒に来たんだ」

笑顔でそう答えるまどかに毒を抜かれたほむらは、そう、と一言だけ答えると黙って

しまった。

「あ？そーいや分身達は？」

『『透明化なう』』

「いよーっし！んじや取り敢えず

メギッ

突然、デイケイドの真横から斧が飛んできた。金剛石の輝きを湛えたその斧の名は煌輝斧剣アツクスカリバー。その赤い刃は、デイケイドの装甲を砕かずとも、デイケイドの腕の骨を確かに押し折った。

「ー、ー、ー、ー、ー、ー、ッ!!」

「おじさん!?!」

「だ、大丈夫!?!」

「今の斧……っ！」

『な、んだ、あれ』

「これは予想外だったな

まさか彼自身が怪人だったとは」

「……………っ」

その姿に、その凶相に、誰もが息を呑んだ。誰もが目を疑った。誰もが慄いた。

首から下は確かに操魔晴人の、指輪の魔法使いのそれだ。それだけは間違いない。だが、問題は首から上なのだ。

そのの頭は、人の頭ではなかった。形容するなら、人間の脳髓を血走った目玉のみで形を取った、見るも悍ましい、怪物のそれ。そして目玉の間から突き出た肉々しい触手もまた、醜悪さに拍車を掛ける。

「…あ、ぐ。うっ、ふ、ぐうっ」

『イツチ大丈夫か!?今メキツていったぞ!』

『テメー…まさか端ツから怪人だったとはな』

「変身」

インフィニティー！プリーズツ！！

「ツ！！変身！！」

カチドキ！！

フルーツバスケット！！

「その子達は頼んだツ！！」

そう言い残して、怪人諸共クラックに飛び込む絃汰。分身がオーロラカーテンを用いて、全員を転送する。転移した先は、何処かの建物の屋上。

「……何処？」

『金髪の家の真上』

「へー……ん？ちよつと待って、何でそれ知ってるの？」

『……一週間で尾行して突き止めちゃった☆』

「ふ、普通にストーカーしてる……」